



社会貢献活動の仕舞
NPO・市民組織・社会事業
プロボノ
2011

報告書 2011年度夏

1. 本事業の目的

近年、若者の社会活動への関心が高まっています。NPO の先進地であるアメリカでは、学生の「就職したい企業ランキング」で Google やアップル等の人気企業を抑えて「Teach For America」という NPO が一位になりました。日本でも就職活動で志望先を選ぶ際に、その企業がどのような社会活動、CSR 活動に取り組んでいるかを基準にするという学生が増えてきました。また、メディアでも取り上げられることが多くなってきた「社会企業家」に憧れて、NPO 設立の相談に来る若者も増えてきました。

このように、NPO や社会起業家についての認識が高まっている昨今ですが、実際に岡山でその活動を知ったり、参加したりする機会は未だに少ないのが現状です。NPO 側にとっても団体を担う若手のスタッフが増えなかったり、ボランティアが少なかったりといった課題があります。若者の働く場や社会参加の場として NPO がさらに発展するには、NPO に関心を抱く若者と NPO を緩やかにつなぐマッチングの仕組みを整え、同世代を活動に巻き込む力をもつ若いリーダーを育成することが重要です。

本事業は、大学生・若手社会人に対して、NPO の現場で実際の事業運営（スタッフとしての業務）を、責任を持って果たす経験から成長機会を提供し、団体の活性化とともに、NPO や社会起業を起こす、働く人材を増やし、NPO 全体の活性化や地域の活性化につなげていくことを目的とします。

2. 事業実施者

本事業は、岡山県「新しい公共の担い手育成事業・活動基盤整備事業」として、特定非営利活動法人（NPO 法人）岡山 NPO センターが実施しました。

●特定非営利活動法人 岡山 NPO センター

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階

TEL: 086-224-0995 FAX: 086-233-1732

E-mail: npokayama@gmail.com URL: <http://www.npokayama.org/>

3. 実施期間

本事業では、平成 23 年 9 月～10 月を中心としてインターンシップを実施しました。

4. NPO インターンシップ受入団体

本事業では、岡山県内で活動する以下の 10 団体を受入団体として事業を実施しました。

- NPO 法人岡山市子どもセンター
- NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ
- NPO 法人吉備野工房ちみち
- NPO 法人元気交流クラブたけのこの家
- NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか
- NPO 法人子ども劇場笠岡センター
- NPO 法人てっちりこ
- NPO 法人ふれあいサポートちやていず
- エリア・イノベーション
- NPO 法人岡山 NPO センター
(岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」を含む)

5. NPO インターンシップの参加者

本事業では、大学・短期大学・専修学校の学生、若手社会人（おおむね 18 歳～35 歳）を対象として参加者を募集し、学生、若手社会人を含む計 16 名の方がインターンシップ生として参加されました。

- 大学・短期大学の学生：12 名
- 若手社会人：4 名

6. なぜ NPO インターンシップなのか？

NPO という言葉は知られるようになったが、「NPO とは何か？」ということやその実態については、若い世代を含めてなかなか知られていないというのが実情ではないでしょうか。現在、「新しい公共」や社会起業家と注目を集める NPO で、学生や若手社会人がインターンシップをし、スタッフの一員として活動することで、NPO への理解は元より、NPO が抱える社会や地域課題について理解を深め、社会の課題解決の担い手を育てる事につながります。

7. なぜ長期インターンシップなのか？

まず、主体的で「当事者意識」をもった人材育成をする上で有効であるからです。学生・若手社会人が長期で団体に関わることにより、その団体において責任をもって仕事に携わる機会を得る事ができるからです。「任される」ことで、本気で仕事に向き合い、自分の限界について知ることもできます。例えば、「任された仕事が自分だけではできない」と気づき、何とかしようと行動します。任された仕事への期待を超える結果を出そうという中で、成長していくのです。また、任されることで、「失敗する」という経験をすることができま

す。自らの課題を知ることができるのです。次に、受入 NPO と学生、若手社会人が win-win の関係を築くことができるからです。長期で関わることで、NPO は仕事を任せる事ができます。マンパワーが不足していることが多い NPO にとっては、学生、若手社会人が戦力となるのです。戦力として活用できるからこそ、NPO 側も学生、若手社会人を「本気で」人材育成をすることにつながってきます。

最後に、今後、NPO や新しい公共を担う人材にとって重要な「共感力」を育む上で、重要であるからです。NPO がどのような社会を目指して、活動を行っているかは、長期で関わり、共に活動をする中でしか、伝わってきません。長期で関わり、NPO が社会にどのような価値を出しているかを肌で感じてもらうことが、参画する学生、若手社会人の「共感性」を高めていきます。

8. その他

本報告書は、事業終了後に受入団体およびインターンシップ生に提出頂いた報告書・アンケート、インターンシップ生の業務報告をもとに作成しました。

●目次

I. 事業日程および行事の概要

1. 事業日程	8
2. 各行事の概要	
・ NPO インターンシップ 2011 説明会	8
・ 第一回 NPO インターンシップ研修会	9
・ 第二回 NPO インターンシップ研修会	9
・ 第三回 NPO インターンシップ研修会	10
・ NPO インターンシップ 2011 中間報告会	11
・ プレゼンテーション講座	11
・ NPO インターンシップ 2011 報告会	12

II. NPO インターンシップ 2011 報告

1. NPO 法人岡山市子どもセンター	
・ 法人概要	14
・ 受入団体報告	15
・ インターンシップ生報告 小原裕紀	16
2. NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ	
・ 法人概要	22
・ 受入団体報告	23
・ インターンシップ生報告① 田代大輝	24
・ インターンシップ生報告② 丸屋加奈	37
3. NPO 法人吉備野工房ちみち	
・ 法人概要	43
・ 受入団体報告	44
・ インターンシップ生報告 浅野理美	45
4. NPO 法人元気交流クラブたけのこの家	
・ 法人概要	52
・ 受入団体報告	53
・ インターンシップ生報告 熊田雄介	54

5. NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか	
・法人概要	6 0
・受入団体報告	6 1
・インターンシップ生報告 石川菜緒	6 2
6. NPO 法人子ども劇場笠岡センター	
・法人概要	6 6
・受入団体報告	6 7
・インターンシップ生報告 最所順子	6 8
7. NPO 法人てっちりこ	
・法人概要	8 0
・受入団体報告	8 1
・インターンシップ生報告① 中村隼人	8 2
・インターンシップ生報告② 森安倫子	8 5
8. NPO 法人ふれあいサポートちゃていず	
・法人概要	8 9
・受入団体報告	9 0
・インターンシップ生報告① 佐藤守	9 1
・インターンシップ生報告② 三宅貴裕	9 6
9. エリア・イノベーション	
・団体概要	1 0 0
・受入団体報告	1 0 1
・インターンシップ生報告 上岡紀美子	1 0 2
1 0. 岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」	
・施設概要	1 0 5
・受入施設報告	1 0 6
・インターンシップ生報告 森田英之	1 0 7
1 1. NPO 法人岡山 NPO センター	
・法人概要	1 1 1
・受入団体報告	1 1 2
・インターンシップ生報告① 槇本由加里	1 1 3
・インターンシップ生報告② 森彩加	1 1 7

Ⅲ. 参加者アンケート集計結果

1. 参加者アンケートの概要	1 2 8
2. NPO インターンシップへの参加動機	1 2 8
3. 「仕事」に対する意識の変化	1 2 9
4. 「NPO」に対する意識の変化	1 3 2
5. NPO インターンシップの満足度	1 3 3

参考資料

1. 実施要項	1 3 5
2. インターンシップ生報告書様式	1 4 1
3. 受入団体報告書様式	1 4 3
4. 参加者アンケート様式	1 4 4

I

事業日程および行事の概要

1. 事業日程
2. 各行事の概要

1. 事業日程

本事業は以下の日程で行った。それぞれの行事内容については、次節を参照されたい。

日付	行事名	場所	概要
平成23年8月10日(水) 18:45~20:45	NPOインターンシップ2011説明会	岡山国際交流センター 3階 研修室	NPOインターンシップ2011参加希望者を対象とした説明会。
平成23年8月18日(木) 18:45~20:45	第一回NPOインターンシップ研修会	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 「ゆうあいセンター」 研修室①	NPOインターンシップ生を対象とした研修会。自己理解・自己開示の研修。
平成23年8月27日(土) 13:00~16:00	第二回NPOインターンシップ研修会	岡山県生涯学習センター パソコン教室①	NPOインターンシップ生を対象とした研修会。働く上で的心構えやマナー、情報開示・情報発信の研修。
平成23年8月31日(水) 18:45~20:45	第三回NPOインターンシップ研修会	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 「ゆうあいセンター」 研修室①	NPOインターンシップ生を対象とした研修会。受入先NPOの目的や概要、インターンシップにおける自分の役割などについて発表。
平成23年9~10月	インターンシップ期間		受入先NPOの業務内容による
平成23年10月11日(火) 18:45~20:45	NPOインターンシップ2011中間報告会	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 「ゆうあいセンター」 研修室①	それぞれのインターンシップ生が、実際に行った業務内容についての報告。
平成23年10月30日(日) 13:00~15:00	プレゼンテーション講座	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 「きらめきプラザ」7階 小会議室701	インターンシップ生を対象とした、報告会に向けたプレゼンテーション技術の向上を目的とした講座。
平成23年12月10日(日) 13:00~17:00	NPOインターンシップ2011報告会	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 「きらめきプラザ」7階 705会議室	インターンシップ生による、受入NPOや業務内容、インターンシップで学んだ気づき等のプレゼンテーション。

2. 各行事の概要

●NPO インターンシップ 2011 説明会

日時：平成23年8月10日(水) 18:45~20:45

場所：岡山国際交流センター 3F 研修室

参加人数：40名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/179>

講師等：NPO 法人てっちりこ 岡本勝光さま

NPO 法人 0-99 おかやまおしえてネット 洲脇美智子さま

NPO 法人吉備野工房ちみち 河原新さま

NPO 法人岡山 NPO センター 石原達也

プログラム：

- ・開会、あいさつ、企画説明
- ・受入先 NPO 紹介
- ・NPO インターンシップ 2010 体験談
- ・講師等への質疑応答
- ・スケジュール説明



概要：当日は多くの学生・若手社会人に参加して頂いた。あいさつ、企画説明では岡山 NPO センターの石原から、NPO や NPO インターンシップ事業について説明した。受入先 NPO 紹介では、てっちりこの岡本さま、0-99 おかやまおしえてネットの洲脇さまからお話を頂いた。岡本さまからは、県北の中山間地域・限界集落において、市町村合併等の影響で公共サービス（郵便・ゴミ収集等）が行き届いていないこと、「てっちりこ」さまが代わりに公共サービスを請け負っていること、姫とうがらしの事業収益で公共サービスの赤字分を

補っていることなどを講演して頂いた。洲脇さまからは、乳幼児と親を対象に活動をされており、子どもの体と心の発達段階を親が理解することが重要であること、おしえてネットの2つの拠点「ふぁみりえん」、「キンダーレーベン」の概要について講演して頂いた。また、インターンシップ体験談では、吉備野工房ちみちの河原さまにみちくさ小道の企画運営などのお話や、インターンシップにおけるやりがい・悩みについて話して頂いた。参加者との年齢も近いせいか、体験談に共感している姿が多数見られた。

●第一回 NPO インターンシップ研修会

日時：平成23年8月18日（木） 18:45～20:45

場所：岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」 研修室①

参加人数：11名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/182>

講師等：エリア・イノベーション 藤井智晴さま

プログラム：

- ・開会、あいさつ
- ・ワークショップ説明
- ・キャリアシート記入
- ・プレゼンテーション、討議
- ・現在のプログラム一覧、今後のスケジュール
- ・質疑応答
- ・閉会



概要：皆様にインターンシップに行っていたく前段階として、本研修会では次の2点を目的にワークショップを行った。①自己理解、②自己開示。①の自己理解では、過去自分が頑張ったこと、現在取り組んでいること、将来の夢、なぜ自分がインターンシップに申し込んだのか等、自分自身について向き合ってもらった。②の自己開示では、①自己理解で向き合った自分について、ほかの参加者の方に発表して頂いた。また、発表者に対して疑問に思ったことをその都度質問して頂いた。様々な活動をされているインターンシップ先の団体では、多様な価値観を持つ方が働いている。そのような方と一緒に気持ち良く勤務を行って頂くには、まず、自分自身について発信し、他の人に理解してもらうことが大切であり、今回のワークショップでは、自己開示の方法・大切さについても学んで頂いた。

●第二回 NPO インターンシップ研修会

日時：平成23年8月27日（土） 13:00～16:00

場所：岡山県生涯学習センター パソコン教室①

参加人数：10名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/185>

講師等：エリア・イノベーション 藤井智晴さま

プログラム：

- ・開会、あいさつ
- ・情報開示・情報発信
- ・心構え・マナー
- ・質疑応答
- ・閉会



概要：情報開示では、NPO 団体がどのような事業を行っており、その事業にどれだけお金をかけ、どれだけの収入を得ているかについて、WEB 上に公開する方法を説明した。情報開示のメリットとしては、NPO 側にとっては団体の活動を広く理解して頂くことで寄付金や会員の募集が得やすくなる、市民・一般企業にとっては寄付先や NPO 活動の参考になることを説明した。なお、情報公開先ページとして想定したのは日本財団が運営している公益コミュニティサイト「Canpan」である。情報発信では、facebook を利用した広報の仕方について説明した。インターンシップ中の業務も facebook による業務報告をお願いした。

心構えでは、受け身の姿勢ではなく、「正社員・NPO の一員」という高い意識を持ってインターンシップに望むことの大切さについて説明した。高い意識で積極的に NPO の業務に関わることによって、人間力・社会力を養い、一人の人として大きく成長できることをお伝えした。マナーでは、時間厳守や身だしなみ、名刺の受け渡し等、社会人としての基本的なマナーについて説明した。また、実際に、学生に名刺の受渡しを実践して頂いた。

●**第三回 NPO インターンシップ研修会**

日時：平成 23 年 8 月 31 日（水） 18:45～20:45

場所：岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」 研修室①

参加人数：14 名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/191>

講師等：エリア・イノベーション 藤井智晴さま

プログラム：

- ・趣旨説明
- ・ミッションシート記入、プレゼン、質疑
- ・閉会

概要：受入先 NPO、およびインターンシップにおける自分の役割について、インターンシップ生にプレゼンテーションをして頂いた。

具体的には、①団体のミッション、②団体の顧客、③団体が提供している商品・サービス、④団体がインターン期間中に取り組んでいること、⑤団体の今後のビジョン、⑥団体の現在の課題、⑦団体の中で期待される役割および成果、について発表して頂いた。その後、各々の発表に対して質疑応答をし、上記項目について自分なり



の考えを吟味して頂いた。

●NPO インターンシップ 2011 中間報告会

日時：平成 23 年 10 月 11 日（火） 18:45～20:45

場所：岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」 研修室①

参加人数：10 名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/189>

講師等：エリア・イノベーション 藤井智晴さま

プログラム：

- ・開会、あいさつ
- ・趣旨、本日のスケジュール
- ・ワークシート記入
- ・発表、質疑&意見公開&講評
- ・アンケート、懇親会案内



概要：インターンシップ生、および受入団体の皆様にこれまでの活動内容を振り返って頂いた。インターンシップ参加者の方には、自分への反省として、自分の成長目標や発見した自分の強み等について話して頂くとともに、受入先で期待されたことや、自分で気づいた団体の強みや弱みについて振り返って頂いた。また、インターンシップ期間中のモチベーションや考え方の変化についても発表して頂いた。

受入団体の方にも、受入先から見たインターンシップの目的やインターンシップ生に期待していたこと、具体的な成果、受入先としての反省点や課題についてお話し頂いた。これらの発表に対して、質疑応答をして頂き、それぞれの想いや成果、効率的な作業方法などを共有して頂いた。

●プレゼンテーション講座

日時：平成 23 年 10 月 30 日（日） 13:00～15:00

場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館「きらめきプラザ」7 階 小会議室 701

参加人数：9 名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/196>

講師等：ナレッジネットワーク株式会社 森戸裕一さま

プログラム：

- ・開会、あいさつ
- ・プレゼンテーション講座
- ・質疑応答
- ・閉会、あいさつ



概要：今回のプレゼンテーション講座は、12 月 10 日

(土)に開催する、NPO インターンシップ 2011 報告会に向けて、インターンシップ生のプレゼンテーション技術を向上して頂くことを目的とした講座である。

講師のナレッジネットワーク株式会社代表取締役社長森戸裕一さまから、スピーチとプレゼンテーションの違いや、事前準備を完璧にすれば、本番のプレゼンテーションは必ず上手くいく、など、大変貴重なお話しを頂いた。

参加者の皆様からも、「プレゼンテーションの考えがかなり変わった。」「今までプレゼンテーションをする意味と目的の意識ががらりと変わった。」などの声を頂き、非常に内容の濃い講座であった。

●NPO インターンシップ 2011 報告会

日時：平成 23 年 12 月 10 日（日） 13:00～17:00

場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館「きらめきプラザ」7 階 705 会議室

参加人数：42 名

ブログ報告 URL：<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/197>

講師等：エリア・イノベーション 藤井智晴さま

NPO 法人岡山 NPO センター 石原達也

プログラム：

- ・開会、あいさつ
- ・報告会概要
- ・NPO インターンシップ報告（計 12 名）
- ・閉会



概要：インターンシップ生 12 名の方に、それぞれのインターンシップの活動報告を行って頂いた。子育て支援 NPO で将来設計ができたインターンシップ生や、高齢者や子どもの統合型ケア NPO で地域広報誌第一号を発刊したインターンシップ生、地域資源活用型まちづくり NPO で facebook 広報を担当したインターンシップ生など、どの報告も魅力あふれる内容であった。また、インターンシップ生の発表後に受入側の担当者さまからコメントを頂き、「改めて活動を見直すきっかけになった」、「手をつけられなかった業務を終わらせることができた」など、受入側 NPO にとって有益だったというコメントを頂くとともに、「子どもとのコミュニケーションの取り方が上手だった」など、インターンシップ生にとって自分の強みを客観的に評価してもらえる良い機会となった。

II

NPO インターンシップ 2011 報告

1. NPO 法人岡山市子どもセンター
2. NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ
3. NPO 法人吉備野工房ちみち
4. NPO 法人元気交流クラブたけのこの家
5. NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか
6. NPO 法人子ども劇場笠岡センター
7. NPO 法人てっちりこ
8. NPO 法人ふれあいサポートちゃていず
9. エリアイノベーション
10. 岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」
11. NPO 法人岡山 NPO センター

1. NPO 法人岡山市子どもセンター

法人概要

代表者名	美咲美佐子
代表ブログ	-
住所	701-0144 岡山市北区久米 348 旧白石幼稚園
電話	086-242-1810
FAX	086-242-1830
Eメール	kodomo-npo@mx91.tiki.ne.jp
URL	http://www.kodomo-npo.jp/
目的	この法人は、子どもに対して、子どもの社会参画の機会の拡充を図るとともに子ども劇場をはじめとする子どもに関する諸団体に対して、連絡、交流、支援等の事業を行い、よって、子どもの豊かな成長に寄与することを目的とする。
活動・業務	<ol style="list-style-type: none">1. 子どもの諸活動に関する事業の企画運営及び支援 ・夏休みフリー塾 ・高学年キャンプ・プレーパーク・キッズフェスティバル2. 子どもの文化芸術に関する事業の企画運営及び支援 子どもの年齢に応じた優れた舞台芸術作品の鑑賞の機会の提供（年間10作品）3. 子育て支援事業 子どもの育ちとメディア4. 子どもに関する団体の支援とネットワーク作り5. 広報
現在特に力を入れていること	<p>岡山市子どもセンターの6年間は子どもが豊かに育つ生活文化環境づくりを目指し、様々な事業を通してNPO法人としての社会的役割を果たしてきました。第7年度は、6年間継続してきた事業を子どもの状況や社会変化にあわせて検証するとともに、子どもが豊かに育つ生活文化環境づくりをより一層すすめていきます。また子どもが豊かに育つための活動や子どもや大人の居場所作りなど子ども劇場をはじめとする地域の諸団体とすすめていきます。</p> <p>プレーパーク事業では、こどもの森で週5日（水～日）、プレーリーダーを常駐させ、継続的に開催しています。1年を通し、学習会の実施や市民への広報啓発など常設のプレーパークに向け大きく事業を展開するために力を入れています。</p> <p>子どもの心の発達に重要な役割を果たす「文化芸術体験」をすすめていくために、「森は生きている」をはじめ鑑賞会も多様な取り組みとともに充実させ、多くの子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供しています。また、昨年引き続き企画検討委員会を開催し、子どもにとっての「文化芸術体験」の必要性についても学習しています。</p> <p>広報事業としては、広報誌やホームページの迅速な更新などより充実発展させ、NPO法人として、引き続き社会的役割を果たしていきます。</p> <p>子どもの実体験の場の提供：2008年4月9日からプレーパーク（冒険遊び場）の開催を週5日（水～日）に増やし活動しています。遊び場にはプレーリーダーを常駐し、子どもたちが行きたい時に行くことのできる、自分の手でやってみることに挑戦できる、人と人のふれあいを大切にしています。</p>
今後の方向性・ビジョン	<p>現在行なっている体験活動事業、子どもの居場所づくり事業、プレーパーク事業、舞台芸術鑑賞事業、表現活動事業、子育て推進ネットワーク事業、広報事業を継続して実施するとともに内容をさらに充実させていきます。</p> <p>また、現在社会問題にもなっているネットやケータイについても学習をすすめ、子どもたちを取り巻く社会環境問題にも取り組んでいきます。</p>

NPO 法人岡山市子どもセンター

受入団体報告 美咲美佐子

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・夏休みフリー塾全体会の準備・おかやまプレーパークの運営スタッフ・事業報告のデータ入力業務・オレンジリボンバッチの袋入れ作業・OKAYAMA Share project における岡山市子どもセンターの広報活動
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・夏休みフリー塾全体会の参加者に気持ちよい対応ができた。・おかやまプレーパークでの子どもの関わり方や距離のとり方が良かった。子どもの安全や危険について考えることができた。・事務職員やボランティアスタッフともコミュニケーションをとりながらスムーズに仕事をした。・OKAYAMA Share project の表町において岡山市子どもセンターの PR 方法を考え、実際にやってみてよりよい方法を考えることができた。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション能力が高い。・自分で考えて動くことができる。・自分から仕事を見つけてみんなと動くことができた。・積極的に広報活動ができた。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・事務所やプレーパークの現場にインターンシップ生が入ることによって、いつもと違う活気ある雰囲気になった。・広報リーフなどの配布時にインターン生の積極性にスタッフが感心し学んだ。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
<ul style="list-style-type: none">・95%・受け入れ側の問題だが、最初に課題設定をし、解決していける内容があればよかった。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
初めはぎこちない感じでしたが、本人のコミュニケーション能力の高さとやる気と持ち前の明るさで当団体にとっても、良い刺激になった。

NPO 法人岡山市子どもセンター
インターンシップ生報告 小原裕紀
インターンシップ日数：8日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
一番初めは大学の案内を見て何かインターンシップをしようと考えていました。いくつかの案内の中でNPO インターンシップを紹介され、子どもと関われる内容だったので応募しました。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
100% / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・プレーパーク・事務作業（パソコン記入や袋づめ）・フリー塾の全体会
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・子どもの発想の豊かさを知った・子どもを遊ばせる上で自由と制限の度合いを考えた・会議の雰囲気を味わえた・その他様々な情報を知れた
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
プレーパークのモットーが「子どもを自由に遊ばせる」ことで、それが印象的でした。自由に遊ぶことで得るものがあります。しかし、遊びに関して今日の社会ではルールや環境が厳しくなっていると思われれます。社会だけでなく、その中で生きている人間、親も厳しくなっているのかもしれない。自由にさせすぎたら危険を伴い、制限を設けすぎたら学びに支障をきたす、どちらも正しく間違っていないのでかなり難しい問題だと考えました。自由と制限のどのあたりで線引きをすればいいのか考えていました。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・NPO・子ども
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
チラシを配る時、誰にでも気軽に行けているのでそれは就職活動にもきっと役立つと言われたので強みだと思います。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
世の中にはたくさんの仕事があり、働くことは大変だと思いました。外部からは見えない裏の作業など苦勞が絶えないものと思いました。一応インターンシップ終了後の話しですが、街角でチラシを配る時、よく見かけるチラシ配りの人のイメージと違い、声をかけるのも配るのも説明するのも全部難しかったです。どんなものでも覚悟が必要だと考えました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
色々大変だと思いました。仕事内容や事情など決して楽なものではないでしょう。ただ、同じような理念のもとに集った仲間なので、意見が食い違うことはあるかもしれないけど同じような方向性を持ち、皆やる気がある働きがいがあるところだと思いました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
いい経験になると思います。まあ気を張りすぎず参加してみてください。

日常業務報告 小原裕紀

9月2日（金）業務報告

業務内容

午前は中央公民館でフリー塾の全体報告会に参加しました。岡山県各地で夏休みに行われたフリー塾の代表者が集まり、問題点などを報告しました。ここでは聞くことが課せられていましたので、その他には荷物を運んだ程度です。午後はセンターに帰りアンケート結果の収集、記入を行いました。

具体的な成果

担当者の方からのお話でいくつか知識を得ました。プレーリーダーの事など。

自己採点

60点

学び・気づき・課題等

子どもたちと遊ぶ時もう少し全員に目を配るような形にすべきだったと思います。一人と遊んでいると他の子どもに対して注意がいていないように思いました。今回はごく少人数であったのにこれではいけないと思いました。似たようなことで、あまり遊ばなかった子どももいたのでみんな同じくらい遊べるように心がけようと思いました。また、初めに溶け込むのに少し時間がかかりすぎました。完璧に溶け込めていたかも怪しいですが、ただすごく楽しかったです。帰り際に笑顔でバイバイと言ってくれるのがすごく嬉しかったです。次回は少し日が空きますが、自分なりに考えた問題点を意識しながら望みたいと思います。

9月13日（火）業務報告

業務内容

子どもの森に行き、プレーパークの準備、子どもと遊ぶ、あと片付け等を行いました。まず、おもちゃなどを出ししばらくすると子どもたちがやってきました。今回は台風の影響で少数でしたが、楽しく遊べたと思います。お昼前には皆さま帰られたので昼食をとり、その後片付けと台風対策を行い解散しました。

自己採点

80点

感想

フリー塾の報告会では、まずフリー塾の実態をよく知らなかったのでかなり勉強になりました。また、参加者のほとんどがボランティアの方で、これほどの人が無償で協力していて子どものことを考えていることに驚きました。担当の方もおっしゃっていましたが、一つ一つの議題で自分なりに考えることはたくさんあったので良い経験になったと思います。アンケートのときも様々な意見を目にし、子どもセンターの実態をさらに把握できたと思います。皆さま本当にすごく考えておられ、自分も見習うべきだと感じました。

9月14日（水）業務報告**業務内容**

プレーパークの準備、片付け、その他雑務、子どもと遊ぶ。

自己採点

65点

学び・気づき・課題等

今日はなぜだか子どもが少なく、ゆったりとした時間の流れでした。子どもと遊ぶ時間よりも他の事をしている時間のほうが多かったと思います。前回遊んだ子が覚えていてくれたことがすごく嬉しかったです。今日は子どもとの関わりではなく、ボランティアの方々との関わりでもっともっとコミュニケーションをとるべきだったのかな、と思います。やはりよく喋った方とほとんど喋らなかった方といたので反省点です。しかしながら、様々な人のお話を聞くのはとてもタメになると改めて実感しました。だから明日は保護者のお話もたくさん聞きたいと思います。

9月18日（日）業務報告**業務内容**

子どもの森、プレーパーク。準備、片付け、子どもと遊ぶ、など。

自己採点

75点

学び・気づき・課題等

今日は初めての休日業務でした。休日だと子どもたちの人数も多く、小学生の子たちも多く参加してくれて一言で楽しい一日でした。一日中走り回っていて今までで一番疲れました。なんだか自分の体の衰えを感じ、むなしいような悲しいような気持ちに帰宅してからなりました。インターンシップに関係ないことですが、いくらか体を動かして鍛えようかなと思ってます。小学生くらいの子になるとかなり活発的で、見ているこちらがひやひやするような遊びも実践していました。しかし、特に大きな事故や怪我もなく、案外自分で危険予測みたいなのをしているんだなと実感しました。初日にお借りして少しだけ読んだ本にもそのことが書かれており、大人はもっと子どもを信用してもいいのかもしれないと思います。子どもは本当に危険と感じたら無理に挑戦はしない、そんな場面も幾度と見ました。課題は子ども達の名前をしっかりと覚える（いいわけですが人数が多かったので全員はむりでした・・・）、ブランコなどの順番をいかに不快を与えず譲ってあげるように諭すか、（今日は他のもので遊ぶように誘ってみました。他にいい手があるかもしれません。）子ども達の要求に全ては応じないようにすることです。ブランコやハンモックは人気が高く、居心地もよいので独占したがる傾向が強かったです。友達同士でもやりたい子はいたし、他の子も遠くからやりたそうに見ていたのが気にかかり、順番で遊ぶようにできるだけ呼び掛けたつもりです。ですが、なかなかうまくいかなかったかなと思います。もし何かいい案やヒントになるようなことを思いついた方は教えていただければ幸いです。最後に、他のスタッフさんに言わずにプレーパーク外にでてしまったことは今後注意すべき点でした。

9月21日（水）業務報告**業務内容**

いつもと変わりなく準備、片付け、子どもと遊ぶなど。

自己採点

70点

感想

なぜだか子どもがとても少ない日でした。子どもと少しは遊びましたが、プレーリーダーやボランティアの方の話を聞くことが多かったように思います。プレーリーダーの現状や他のところのプレーパークの様子など様々なことを聞きました。プレーリーダーというものにかなり興味を持てたと思います。こんな仕事もしてみたいと強く思いました。

9月22日（木）業務報告**業務内容**

準備、片付け、遊びなど。

自己採点

65点

感想

今日はある小学校が休みだったらしく、最初から小学生がいました。ボランティアの方の子どもさんとたくさん遊びました。前日砂山の砂を盛り直してかなり高く積んでいたのですが、気がつくとなんとなく低くされてました。子どものパワーはすごいなと思いました。今度は負けないように積み上げたいと思います。また、様々な子どもが来るので、新しく友達になれたり、顔を覚えていてくれたりすると嬉しいなともおもいました。

9月23日（金）業務報告**業務内容**

準備、片付け、遊びなど。

自己採点

80点

感想

祝日なのでたくさん子どもたちが来てくれました。ブランコがあるのですが、それを押して押してと何回も頼んでくるので大変疲れました。けっこう強く押しているのでよくゆれるのですが、まったく怖気づくような素振りを見せない事には驚きました。逆に自分が怖いぐらいでした。ただ、いつもは生意気言ってくるような子も苦手なもの時は可愛らしくおねだりするような感じなので、そこは子どもなんだなと思いました。その子は虫を触れないらしく、なのに虫とりをして捕まえた時に「とって」と頼まれました。まあその後はすぐにいつもの調子に戻りましたが。子どもの色々な顔を見れるのもいい勉強になると思いました。

9月25日（日）業務報告

業務内容

準備、片付け、遊び。

自己採点

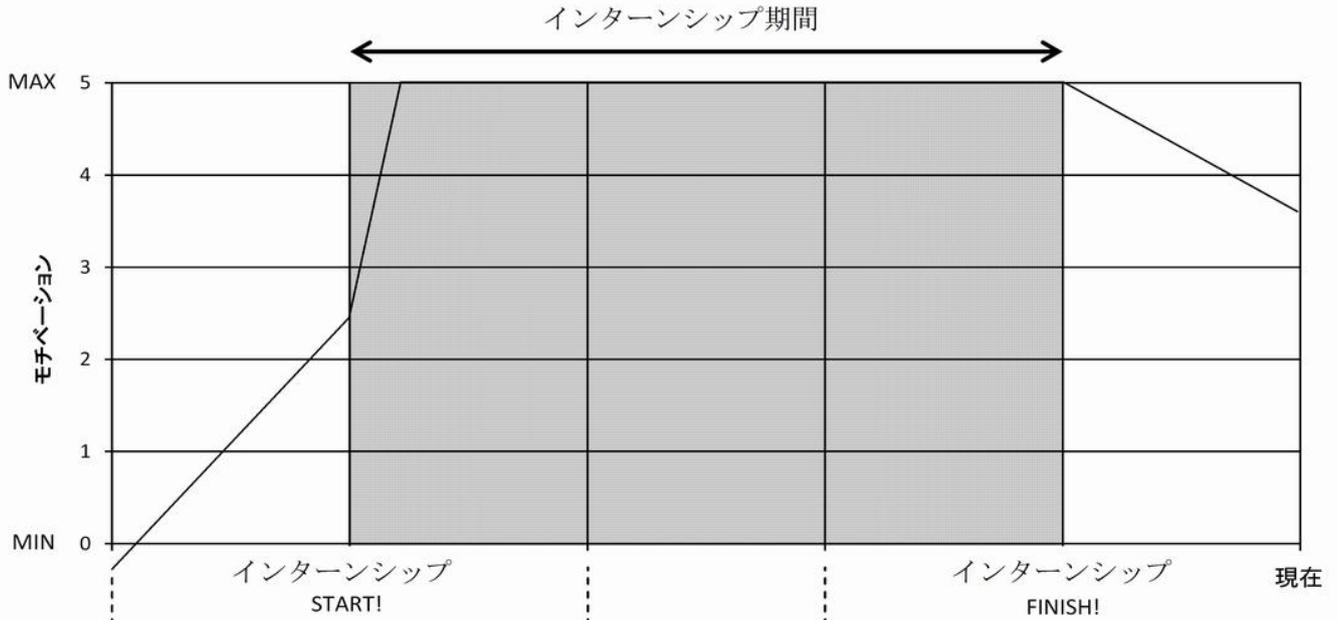
80点

感想

とりあえず今日でインターンシップとしてのプレーパークは終了となります。今後は日程が合えば手伝いに行く予定でいます。今日は今年最後のウォータースライダーをしました。流石に少し寒かったです。が、とても面白かったです。子どもはあまり寒がってなかったのでびっくりしました。その他はいつもと変わりなく、よく来る子と遊んだり、あるいは始めてみる子と仲良くなったり、など。ただ、今日は写真を撮らせてもらい、その時に保護者とお話することが多かったです。様々な方がいらして、境遇が違う人の話を聞くのもおもしろいと思いました。今日だけでなく、保護者の中にも顔を覚えていてくださる方が何人かいらっやってそれも嬉しかったです。親とお話するのもプレーリーダーの仕事の一つ、プレーリーダーの方のお話を思い出しました。

出だしに書いたとおり、本日でプレーパークは終わりとなります。まとめたの感想を言うと、自分も子どもの頃こんなことしたなあ懐かしくなったり、子どもの発想は豊かだなと感心したり、遊ぶと楽しいと思ったり、疲れも溜まりやすくなったなと感慨深くなってみたり、と色々思い当たる節があります。一番強く思ったことはやはり「楽しい」です。正直勉強になったと思うことよりも楽しかったことのほうがダントツで多いような気がします。それと同時にプレーパーク、プレーリーダーに興味がわいてきました。その存在すら知らなかったのが、今回参加できて、色々知ることができて本当によかったと思います。まだインターンシップは終わってはいないので、最後まで精一杯頑張りたいと思います。

モチベーションシート 小原裕紀



自分のモチベーション・考え方が変化するきっかけ	子どもと関われるので楽しそう。	実際に行ってみて、想像以上に楽しかった。	子どもだけでなく、親御さんとお話も楽しかった。	インターンシップもそろそろ終わり、最後まで楽しくやろう。	終わって寂しいけど、たまに行けるのでおもしろい。
上記の前後関係、得たこと 心の変化、克服・持続方法		とにかく楽しかった。事務仕事もはかどった	フリー塾の存在を知れてよかった。会議みたいな雰囲気を味わえた	子どもたちの名前などよく覚えてきた。	これからも関わっていきたいな
業務内容		プレーパーク 事務仕事	フリー塾の全体会	プレーパーク	スライド

2. NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ

法人概要

代表者名	川崎政宏
代表ブログ	http://www.facebook.com/npo.okayama.families?v=wall#!/masahiro.kawasaki
住所	700-0816 岡山市北区富田町1-6-10 東光第一ビル2階
電話	086-226-7744
FAX	086-226-6161
Eメール	m-kawasaki@poem.ocn.ne.jp
URL	http://www17.ocn.ne.jp/~families/
目的	犯罪被害者等に対して、各種の支援事業を行うとともに社会全体が被害者の視点を大切にして被害者等を総合的にサポートできる環境づくりに寄与すること。
活動・業務	犯罪被害者支援活動業務 (1) 被害者等に対する電話相談事業 086-245-7831 毎週土曜日10時～16時 (2) 臨床心理士、弁護士等に対する専門家相談への橋渡し (3) 被害者等に対する情報の提供、病院・警察等への付添などの危機介入 (4) 被害者等に対する裁判傍聴時などの付添い (5) 被害者等の自助グループ活動の運営及び立上げに対する支援 (6) 被害者等支援ボランティアの養成、研修 (7) 被害者等の現状と被害者支援の必要性を社会に訴える広報・啓発 特に、「犯罪被害者のための連続講座」毎年8回程度。犯罪被害者週間シンポジウム (8) 行政との連携による犯罪被害者等の地域支援モデルづくり 備前県民局、美作県民局
現在特に力を入れていること	行政との協働事業。犯罪被害者遺族による小中高校に出向いての「命の授業」、大切な人を亡くした方のためのグリーフワーク。岡山県内の全市町村が犯罪被害者支援条例制定に向けて動く気運のなか、犯罪被害者施策に血を通わせるべく政策提言をおこなっていくこと。
今後の方向性・ビジョン	「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」をテーマに「命の授業」に出向くとともに、地域での顔の見える連携を構築し、グリーフワークを学びつつ、被害者が事件後をいかに生きるかをともに考えていきたい。現在、岡山県内の全市町村で犯罪被害者支援条例の制定に向けて動く気運があるなか、犯罪被害者施策に血がかようよう、当事者団体として政策提言をきちんと行っていきたい。

NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ

受入団体報告 川崎政宏

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">① 中学校等で被害者遺族が行う「命の授業」の伴走ボランティア体験を通して生の声を聴き考える② 法廷（刑事裁判、民事裁判）傍聴、裁判員裁判傍聴を通して被害者の置かれた立場を体験し考える③ 街頭広報啓発活動への協力、講演会案内チラシのレイアウト、制作を通して情報発信を考える④ 助成金申請書作成。犯罪被害者白書コラム原稿作成を介してNPOのミッションを共有する
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">① 12月開催の研修会の案内チラシの原案を完成させた。② 共生・地域文化大賞への申請書原案を完成させ、その過程でNPOの活動実績が丁寧に分析された。③ 傍観者から理解者へのプロセスそのものを学生インターンシップが体験しつつ語ることで形にできた。④ 何よりもNPOが直面する日々の課題を一緒に考え、一緒に活動する若い仲間が増えたこと。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">① 先入観にとらわれず、真摯にインターンシップに取り組んでくれたことがNPOをエンパワーしてくれた。② 初めての体験や戸惑いに率直に向かい合い、ごまかさず真剣に悩んでいる姿が、活動の原点を再確認させてくれた。③ 理事会と一緒に入って場を共有してくれたことを機に、内面的変化が生じていることを感じた。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">① 外部からの視点を提供してもらえ、NPOのミッションを再確認することができた。② 若い理解者が増えたことが嬉しかったが、多くの人との出会いを体験してインターンシップ生に内面的変化が生じたことを感じられ、受け入れてよかったと思えた。③ 作成協力してもらった助成金申請書はとてもよくできた内容であり、NPOにとっても力となった。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
90% 学生インターンシップ生の二人は本当によくがんばっていた。ふだん目をそむけたい社会的課題に真摯に向かいあおうとする姿勢にNPOの方が勇気づけられた。あと不足だったのは受入側のプログラムの未熟な部分。時間配分や体験できる現場をもう少し体系的に準備できればよかったと思う。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
2週間と2か月、特別のプログラムを準備できないまま、インターンシップ生受入れとなり不安でしたが、二人のやる気に救われた感じでした。やる気が伝わってくると、提供できる現場も増え、思い切っているような現場を体験してもらえたと思います。それにも増して、多くの人と出会えたことは、きっと何かの役に立つことだと思います。形としての成果物よりも、内面的な深化があったことは貴重な体験だったことだと思います。その場に居合わせることができてよかったと思っています。

NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ

インターンシップ生報告① 田代大輝

インターンシップ日数：17日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
NPO の活動と、ボランティア・企業の社会貢献活動等との違いを知るため。NPO に出来て、その他の活動団体には出来ないことなどについて詳しく知ること、NPO が社会で必要とされている理由を認識したかった。また、NPO の存在意義や活動内容について詳しく知ること、今後自分が関わるとしたらどういう形が適切かについて、自分なりに理解したかった。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
90%/100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">● 犯罪被害者の講演活動への伴走ボランティア体験● 裁判所見学（付き添い支援を知ることの一環）● 理事会へ出席● 電話相談室見学● 研修会のチラシ作成● 助成金申請書の作成● 行政機関、関連団体との会議・話し合いへの出席● ブース出展の手伝い● 理事会向けのインターン報告書作成● NPO 独自の犯罪被害者白書向け原稿作成
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">● 自分自身が、犯罪被害者を苦しめる「偏見を持った世間」の一人だと分かった。● 犯罪被害を受けるという、自分が全く知らない世界があることを知った。● 相手の立場に立って考えることの本当の意味を知った。● コミュニケーションをとることの難しさを知った。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
「犯罪被害について、その人が自分の問題として真剣に考えてくれているかどうかは、長く社会人として生きてみると、人に聞かなくても暗黙知で分かる。」という受入団体の川崎政宏弁護士の言葉。犯罪被害について、表面上だけを見て綺麗事を言っているだけで、この問題の本質を理解しようとしてくれない人は、暗黙知なるものですぐに分かるそうです。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
人権課題。今まで自分には全く関係ないし、この課題を抱える人達に対して悪いこともしていないと思っていたが、無関心であることが最も悪いことだと分かった。また、人権課題は、今は自分にとって無関係だと思っていた、ある日突然、その課題を抱える当事者になる可能性があることと知ったので、今後も関心を持ち続けることが大事だと思う。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
発見した強みはない。自分の認識の甘さを痛感させられ続けた日々だった。学びは、相手の立場に立って、コミュニケーションをとることの難しさを知った。とっくの昔に「相手の立場に立って考える・他者を気遣う」ことは出来るようになったと思っていたが、それが全く通用しない世界に触れて、自分が出来ていなかったことを知った。どのように声をかけていいのか、どのような感想を持ったらいいのかさえ分からなかったのは初めての経験だった。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

今回のインターンシップを「仕事」と意識したことはないので、変化はない。ファミリーズでのインターンシップで経験した業務は、仕事というよりも、「一人の人間として、犯罪被害者の抱える人権課題とどう向き合うか」という視点でこなしてきたし、受入団体側から求められたのもそこだった。なぜなら、そこが理解できないと、犯罪被害者と真剣に向き合うことなんて出来ないし、そもそもファミリーズの一員にはなれないと犯罪被害者の方々から教えられた気がしたから。民間のようなインターンシップを経験したいのならば、ファミリーズは適切ではないと思う。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

NPO が社会で必要とされている理由が明確に理解できた。人権問題で苦しんでいる人達を周囲の人間が支えるという活動は、短期間だったり、利潤の獲得活動の一部としての認識では絶対に出来ず、長期間の関わり合いによって、相互に強い信頼関係を築くことが最も大事であり、そのような活動はNPOでしかできないと思った。理事会において、犯罪被害者の方々と理事の方々が会話をされている様子を見て、そう思った。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

ファミリーズでのインターンシップは、人権課題で苦しんでいる犯罪被害者の方の近くに入って行って、そこから何を感じるか、一人の人間としてどう思うか、何ができるのか、自分自身に問い続けるインターンシップです。このインターンシップを経験したことで、社会を見る視野が明らかに広がりましたし、ニュースの見え方も変わりました。また今後、いろんな人生を歩んできた多くの人々と出会うと思いますが、その時にその人とどのように接するか、コミュニケーションをとるかを考えるときに、ファミリーズでの経験が活けると確信しています。本当に貴重な経験をさせてもらいました。ぜひ、ファミリーズへのインターンシップをよろしくをお願いします。

日常業務報告 田代大輝

9月6日（火）業務報告

業務内容

報告書を全国郵送するための準備作業と、県が公募している広報啓発補助事業に関するアイデアを出す。

具体的な成果

封筒に報告書を入れて郵送先のラベルを貼りました。アイデア出しでは具体的な成果はありません。

自己採点

35点

学び・気づき・課題等

広報啓発補助事業に関するアイデア出しの議論の中で主たる論点となったのが、ファミリーズの活動、即ち犯罪被害者の方々の思いを自分達と同世代の若者にいかに知ってもらうか、という点でした。犯罪被害者の方々の思いを蔑ろにすることはあってはならないという大前提のもと、どのようにして若者の関心を引き寄せるか、川崎弁護士と私と丸屋さんの3人で、午前・午後合わせて約3時間程真剣に議論しました。

いろんな意見が出て、川崎さんは「貴重な意見です」とおっしゃられてましたが、自分としては全く駄目でした。イベントの要素を強くすると、犯罪被害者の方々の思いとは違うところに行くのではないかなど、いろんな懸念事項が頭に浮かんできて、「これだ」という案は最後まで出せませんでした。その原因は、自分自身の社会経験が圧倒的に不足していることに尽きると思います。経験がないために、頭が固くて柔軟な発想ができませんでした。

今日も様々な資料を見て、川崎さんのお話を聞いて、犯罪被害者の方々が人生をかけて講演活動をされていることを再認識しました。それとともに、中途半端な議論をし、中途半端な答えを出すようなことはしてはならないとも強く思いました。

8日には、実際に犯罪被害者の方の講演を聞く予定です。その講演を聞いてから、もう一度自分の考えを整理したいと思います。

あと、今日初めて同じインターン生の丸屋さんとお会いしましたが、気兼ねなく話せたと思います（たぶん）。

9月8日（木）業務報告

業務内容

警察学校で犯罪被害者遺族の方の講演を聞く。

具体的な成果

ファミリーズ中心メンバーの犯罪被害者遺族の市原さんと実際にお会いし、講演後にわずかながら会話をすることができた。

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

今日の講演を聞いて思ったこと・学んだことを整理すると、講演を聞いての純粋な感想は、語弊があるかも知れませんが疲れました。この「疲れた」というのは、話が長かったとかつまらなかったという意味ではなく、講演中にいろんな思いが浮かんできて、講演が終わった時に精神的に疲れを感じたという意味です。亡くなった方のことを考えたり、市原さんのことを考えたり、自分の悩みと重なる部分があったり。「疲れた」という感想に行きつく過程を、ここで正確に皆さんにお伝えするのは無理なので、別の機会があったときにとします。

で、今日の講演をこれからのインターンシップにどう活かすか、という点ですが、インターンシップ生として変に気負う必要はないのではないか、と思いました。というのも今日の講演を聞くまで、自分は講演を聞いて被害者遺族の方の思いを「正確に」理解し、それを踏まえたうえで若者の視点で何かできることはないか考えようと思っていました。つまり、被害者遺族の方の思いを「正確に」伝えることと若者視点で新たな提案をすることをデメリットを生じさせずに両立させようと思っていた訳です。でも、それは無理だとわかりました。今日の講演と一緒にいったファミリーズの理事の方がおっしゃられていたのですが、「市原さんの講演には事前に準備した原稿みたいなものではなくて、あるのは亡くした息子さんの写真だけ。写真を持っていかれるのは、その写真から感じるものがあると思うから。あとは市原さんが事件当時の記憶・気持ちになって話をされるので、一度として同じ講演はない。聴衆の雰囲気や市原さん自身の感情などに講演内容は左右される。だから、何回聞いてもそのたびに心に訴えてくるものが違うし、何回聞いても涙が出てくる」だそうです。実際に今日も涙ぐまれました。要するに、インターンシップ期間中に数回の講演を聞いただけで、被害者遺族の方の思いを「正確に」理解するなんてできないと私は思いました。では、インターンシップ生として何ができるのかというと、第三者の若者からの視点でファミリーズに意見することが最も大事なのではないかと。被害者遺族の方々の真意とは違うかも知れないけど、純粋に自分が思ったことを口にするのが大事なのではないかなと思いました。それくらい気持ちを割り切らないと、若者目線でアイデアを出すなんてできないと思いました。この辺の話をまた明日、川崎さんと丸屋さんと3人でできたらと思います。

9月9日（金）業務報告

業務内容

報告書を全国発送するための準備作業と裁判所見学、広報啓発事業についての話し合い

具体的な成果

報告書を全国発送するための作業が終わった。裁判所という普段行かないところを見学できた。

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

今日はファミリーズが行っている裁判所への付き添い支援を知るということで、岡山地裁に行ってきました。弁護士である川崎さんがガイドして下さり、どの部屋でどんなことをするのか丁寧に教えていただきました。実際に裁判も傍聴しました。報告書を封筒に入れる事務作業と話し合いについてはいつもどおり集中してできたと思います。

今日一番思ったことは川崎さんに感謝しなきゃなということです。今日も弁護士の仕事の合間を縫って自分達インターンシップ生にかまって下さり、本当に忙しそうでした。実際、裁判所の待合室で川崎さんの用事が終わるのを待ったりしました。でも、いつも嫌な顔ひとつせず自分達に接してくれますし、「インターンシップ生の2人にいろんなことを経験してもらいたい」という川崎さんの思いが強く伝わってきます。本当にありがたいです。10日も川崎さんと電話相談室の見学に行ってきます。貴重な体験をさせていただいているという思いを忘れずに、明日もいろんな方の話を聞いてきたいと思います。

9月10日（土）業務報告

業務内容

大切な人を亡くした方の相談の電話を受け付けている電話相談室を見学する。

具体的な成果

電話相談室について理解を深めることができた。

自己採点

75点

学び・気づき・課題等

今日はボランティアで相談員をされている方々の話を聞くことができ、とても勉強になりました。きっかけは本当にちょっとしたことで、気がつく相談員にまでなっていたというニュアンスの話をされる方が多かったです。ただ皆さんに共通していたのは、（1）ちょっとしたきっかけを実際に行動に移せる（2）活動に対して周囲の理解がある（3）性格が明るい、又は以前は暗かったがカウンセリングを始めてから性格が変わった、という点です。今日も電話を受けるときは真剣そのものですが、それ以外の時はとてもなごやかな雰囲気でした。今日のような素敵なボランティア仲間が近くにいることで悩みを共有でき、精神的負担が軽減できるので相談員を続ける意欲につながるそうです。自分に対してもたくさんの激励の言葉を頂き（たまにいじられましたけど）、「このきっかけを大事にしてください。若い方が関心を持ってくれてうれしいです。」という言葉が特に印象に残りました。自分もがんばります。

9月13日（火）業務報告

業務内容

12月にあるファミリーズの交流会のチラシ作りと10月にあるnpoのイベントの企画を考える。

具体的な成果

チラシ案は出来たが、完璧ではありません。企画はまだまだです。

自己採点

40点

学び・気づき・課題等

チラシ作りで説明文を考えていたのですが、5行くらいの文章を考えるのがこんなに大変だとは思いませんでした。犯罪被害者遺族の方のインタビュー記事を読んだりして考えていたのですが、全くまとまらなくて苦勞しました。できたものもあまり自信がないので、また川崎さんに感想を聞いてみたいと思います。あと、パソコンに入力する作業は丸屋さん任せで、口だけ出すという最低なことをしてしまいました（丸屋さんすみません）。ワードを使えるように独学で勉強します。企画については、イメージが湧いてこなくて苦勞しました。どのくらいの予算をかけて、どのような意図でブース展示をするのか、ファミリーズとして必須のものはないかなど、仕事で忙しい川崎さんと綿密なコミュニケーションがとれなかったもので、一体何を若者目線で考えればいいのかいまいち分かりませんでした。川崎さんとお会いできるわずかな時間で、どのようにして綿密なコミュニケーションをとるかが自分の次回の課題です。これについて考えるうえで最所さんの気づきは勉強になりますし、あとは熊田君の広報誌を作る才能が欲しいです。

9月16日（金）業務報告

業務内容

中学校で犯罪被害者遺族の市原さんの講演「命の授業」を聞く

具体的な成果

市原さんとたくさん会話をする事ができた。

自己採点

60点

学び・気づき・課題等

今日は中学校で市原さんの講演を聞いてきました。前に警察学校で聞いた講演とは違って、中学生に命の大切さを訴える内容で、こちらが受け取るメッセージも以前のものとは違っていました。何人かの中学生は泣いていました。自分は以前感情的にならずに冷静に、講演内容に注意して聞けたかなと思います。講演の後、一緒に食事をさせてもらい、そのあと市原さんが関わっておられる古民家に行ってきましたのですが、市原さんの行動力はすごいです。講演後はものすごく精神的に消耗されているのがこちらからでもはっきり分かるくらいなのに、古民家に行ったときには、「ここに子どもたちを呼んで、日本古来の暮らしの体験を通して生きる力を学んでほしい」といった夢を語っておられて、息子さんの死を無駄にしないために「子どもたちに何かしてあげられるはず」という市原さんの強い思いが伝わってきました。

改めて思うのですが、ファミリーズにインターンに来て、人との出会って貴重なんだなということを再認識させられています。川崎さんやボランティアの方も大変個性的で面白い方ばかりで、いつも勉強させてもらっています。自分は22歳で大学卒業・就職という通常のストレートコースから外れている人間なので、それについての悩みみたいなのもあったんですけど、今日の市原さんの講演や笑顔で夢を語っておられる姿を見ると、自分が情けなくなりました。なんかいい子ぶった文章になってしまってすみません。ただ、ファミリーズにインターンシップに来て本当に良かったです。ありがとうございます。しかしながら、自分はまだファミリーズに貢献できていないということも自覚しています。ファミリーズさんの雰囲気として、「若者がこの問題について一緒に考えてくれているだけでうれしい」という感じで、それ以上はあまりインターンシップ生に厳しく要求していない、または遠慮されている、という印象を今のところ受けています。でも、このインターンシップの目的が「npoの情報発信力の強化」というのは分かっていて、「話を聞いて感想を書いてきました」ではnpoセンターの方に怒られると思うので、もう少し自分から積極的にいきたいと思います。インターンシップ生に要求したいことは要求してもらって、自分も真剣に取り組み、自らファミリーズの課題を見つけるような視点を持って今後とも頑張りたいと思います。

9月17日（土）業務報告**業務内容**

理事会に出席する

具体的な成果

ファミリーズ中心メンバーの方々と顔を合わせることができた。

自己採点

50点

学び・気づき・課題等

理事会に出席し、初めてお会いする方々に自己紹介をしました。そのあと、これまでのインターンシップを通しての感想を求められたのですが、犯罪被害者遺族の方々に前にしてだったので、とても緊張しました。でも、ありのままの感想を言ったら、それを受け止めて下さって、さらに思いを語って下さったので、大変有意義な意見交換をすることができたと思います。理事会の雰囲気は阿吽の呼吸で話し合いが進み、まさに「ファミリーズ」といった感じでした。自分も意見を言おうと思ったのですが、雰囲気に圧倒されてなかなか難しかったです。これが今日の反省点だと思います。今日で丸屋さんのインターンシップが終了でした。丸屋さんお疲れさまでした。

9月20日（火）業務報告**業務内容**

資料の発送作業、岡山市との会議に同席、助成金申請のための資料集め。

具体的な成果

具体的な成果はありませんが、今日も一日集中して業務をこなせたと思う。

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

今日は岡山市とファミリーズ（川崎さん）の会議に同席させてもらい、ことの詳細を決めていく過程を見学することができた。また、助成金申請書の作成に必要な資料を集めるため、ファミリーズ関係の過去の新聞記事をひたすら読み込んだ。2005年くらいから現在までのものだったと思うが、ファミリーズの歴史を感じることができた。この助成金申請書の案を作成してくれることが次回までの宿題として出された。今日も自分なりの案を考えて川崎さんと話し合ったが、後日私の案と川崎さんの案のすり合わせを行うことになった。今日も多忙な川崎さんとわずかな時間しか会えず、一人での作業が中心となったが、集中していたのであつという間だった。

9月27日（火）業務報告

業務内容

申請書案の作成

具体的な成果

申請書案を完成させた

自己採点

65点

学び・気づき・課題等

今日も川崎さんが一日出張だったので、一人で朝から夕方までファミリーズの資料と向き合った。集中して業務をこなすことができたと思う。他のインターンシップ生の方々とは違い、デスクワークのような業務が続いているが、私のモチベーションはとても高い。なぜなら、今の業務は市原さんや高橋さんといった被害者遺族の方と会うための予習のように位置づけられているから。私は、被害者遺族の方と接するうえで、実際に接することによって直観的に感じるもの（言葉では表現できない）と、被害者遺族の方々の背景を知り、理解を深めることが大事だと思っている。今の業務は背景を知る作業の一部である。そもそも、国や県、各地方公共団体の施策や周囲の人々が被害者遺族の方々をしっかりとケアできているのであれば、被害者遺族の方々がNPOを作って声をあげる必要などないのである。しかしながら、現に声をあげる必要があるからファミリーズは活動している。今日も、ファミリーズ関連の新聞記事を読み込み、どこに問題があるのか注意深く読み進めた。他にも、内閣府の犯罪被害者白書や関連法規、検察庁の被害者支援、岡山県・岡山市の被害者支援について学びを深めているが、ここで過去の市原さんや高橋さんの発言を思い出して、問題点を見出す・理解できるように努力している。それが、被害者遺族の方々の背景を知ることにつながり、理解を深めることになると思う。市原さんの言葉で印象的なものがある。「被害者遺族への声かけに正解なんてありません。でも、あなたのことを心配している、寄り添おうと思っているという気持ちが伝われば、それが正解だと思います。」この寄り添うことを実際に体現しているのがファミリーズ、特に理事会。私の最大の目標は、インターンシップが終了するまでに市原さんたちと壁を感じることなく会話ができるような関係に近づくこと。理事会のメンバーの方たちのようにになりたい。そのためには、市原さんたちを理解しようと努力している姿勢を示す必要がある。今日の業務も努力の一部。今後も意欲的に取り組む。

9月28(水)、29日(木)業務報告

業務内容

遺児支援をされている尾角さんと保健師さん、川崎さんのミーティングに同席、申請書の最終確認

具体的な成果

特になし

自己採点

60点

学び・気づき・課題等

28日は遺児支援をされている尾角さんと保健師さん、川崎さんのミーティングに同席させていただきました。藤井さんと上岡さんも同席して下さいました。私はファミリーズにインターンシップに来て以来、「出会いが貴重だ」と書いてきましたが、なぜ貴重だと思うのか今まで漠然として言葉にできなかったのですが、昨日尾角さんとお会いしたことでなんとなく分かった気がするので、少し長くなると思いますが書いてみたいと思います。昨日初めて尾角さんとお会いしての感想は、笑顔が素敵でしっかりされている方だなと思うとともに、「我がファミリーズの川崎さんと似ている」と思いました。初対面なのに全然そんな気がなくて、人を引き付けるオーラ・雰囲気があるというか。私もつい相談などをしてしまいました。昨日は初めて川崎さんの事務所にインターンに行った日のことを思い出しました。弁護士事務所ということでとても緊張していたのですが、川崎さんの醸し出す雰囲気、すぐに緊張が解けて初日からしっかりと会話をすることができました。尾角さんと川崎さんのどこに共通点を感じたかという、目標に向かってまっしぐらなところと、そこに人間の欲みたいなものを全く感じなかった点です。尾角さんは遺児支援に尽くす、川崎さんは犯罪被害者支援に尽くす。共に人の命に関わる難しい問題ですけど、二人とも物凄く覚悟でこの問題に取り組まれている、そこには「自分の身を立たい」とか「ビジネスチャンスにしたい」といった視点はなくて、純粋に活動されていると強く感じました。明確な目的意識とバイタリティを持って。以前から川崎さんは、「ファミリーズとして活動する上で、弁護士という肩書がむしろ邪魔だと思ふことが多々ある」とおっしゃっていたのですが、その意味がわかった気がしました。川崎さんはあくまで一人の人間として被害者遺族の方々と向き合っておられるなど。そういう姿勢が市原さんや高橋さんといった、それまで周囲から孤立していた犯罪被害者遺族の方々の心を開き、絶大な信頼を寄せられている最大の理由だなど。ちなみに、事務所で弁護士業務をされている川崎さんはファミリーズの時の川崎さんより、表情・声質ともに厳しいです。たまにですが、「こわい」と感じる時もあります(怒られるかな)。でも、ファミリーズの川崎さんをこわいと思う人は誰一人いないと思います。柔和で、私のような学生の話にも真摯に耳を傾けて下さいます。昨日尾角さんの話を聞いていて、だんだん理事会の時の川崎さんの雰囲気と似たものを感じるようになり、「この二人似ているな」と思うようになって、途中からおもしろくなり、にやにやしながら話を聞いていました。尾角さんも「川崎さんと会うと元気がもらえる」とおっしゃっていて、川崎さんも昨日尾角さんと会う前に、私に「彼女とは同じ思いで活動していると感じる」という話をされていたので、私は「そりゃそうだ」と思いました。このように私が感じるのは、ファミリーズが人の命に関わるNPOということで、ボランティア含め中途半端な覚悟で関わっている人が誰一人いないという点が大きいかも知れません。なんとなくボランティア・社会貢献に興味があるというくらいの志望動機の方はファミリーズのようなNPOには接触してこないと思いますので。その分ファミリーズのメンバー個々の強い意欲・バイタリティが私に伝わり、「今までの人たちと何かが違う」と感じたのかなと思います。私は昨日のお二人のような人を引き付ける雰囲気・オーラを持つ人間には絶対なれないです。あんな魅力をどうやったら備え付けることができるのか、全く見当もつきません。これまで偉そうなことを書いてきましたが、私も普通の人と同じように私利私欲で動く人間であり、なにをするにも「これは自分にとってメリットはあるのか」とつい考えてしまいます。今回のインターンシップも「夏休み暇だから」という不純な動機で参加していますので。でも、昨日のお二人から学んだことは、これから社会人になってボランティアをする機会があるなら、その時だけは「他のことは考えず、純粋に」ボランティアをすれば、その姿勢は外の人にも伝わるのかなということです。今週末、某スポーツチームでボランティアをするのですが、これまで以上に「チームのために」という思いを持てば、お客様にも伝わるのかなと思います。今度実践してみます。昨日のお二人とは当然ですがいろいろと大きな差を感じました。今思えば、先々週までもともにインターンシップ生だった丸屋さんも「初対面の人と話すのが苦手なんです」とおっしゃっていましたが、川崎さんとは初日から普通に話していました。私とは2週間経っても距離を感じましたけど。私には人を引き付ける魅力はないということです。しかし、くじけることなく、今後とも川崎さんから学べる場所は学びたいと思います。改めてファミリーズにインターンシップ生として来て幸せだと思った昨日でした。で、今日は川崎さんと30分ほど申請書の最終打ち合わせをしてきました。私の案をかなりの割合で採用して頂き、この前の3連休で必死に考えた甲斐がありました。昨年、社会人インターンシップの方が関わられたパナソニック教育財団のものは中国四国ブロック大賞を受賞しているので、今回私が考えたものも受賞は無理かも知れませんが、せめて書類審査を通過して最終プレゼンまでいければうれしいです。以上、長くなりました。申し訳ありませんでした。

9月30日（金）、10月4日（火）業務報告**業務内容**

犯罪被害者白書作り

具体的な成果

特になし。

自己採点

50点

学び・気づき・課題等

30日にこれまでの1カ月について川崎さんの方からお話がありました。この前作成した申請書の内容やこれまでの私との会話を通して、私がファミリーズについて、言葉だけでなく感覚的にも理解できてきていると感じる、ということでした。で、これからの1カ月でしてほしいこととして、犯罪被害者白書の作成を指示されました。この白書はファミリーズ独自のものです。岡山県内各市町村で犯罪被害者支援条例が出来てきている中、ただ条例を作って終わるのではなく、ちゃんと被害者のためになるようにしてほしいというファミリーズ側の意見を行政側に伝えるためのものだそうです。そこで、私のこれまでの、ファミリーズに対して偏見を持っていたところから現在のような認識に至るまでの過程にヒントがあるはずだから、そこを意識して案を作成してほしいとのこと。で、30日、4日ともにその案の作成に向けて、知識の集約、これまでの経験、第三者の目線を意識して現在作業を進めています。早くも行き詰ってきていますが、がんばります。

10月8日（土）業務報告**業務内容**

表町のイベントに参加

具体的な成果

特になし。

自己採点

50点

学び・気づき・課題等

2日間に渡って行われた表町でのイベントに参加し、無事終了することができました。ファミリーズに対する世間の印象をもろに感じる事ができたので、いい勉強になりました。今後の業務に生かします。個人的には前日の睡眠不足のせいか、2日目のラスト2時間くらいは完全に集中力が切れました。反省します。

10月11日（火）業務報告
業務内容
今後の日程についての整理・文章を書くための資料収集
具体的な成果
インターンシップ終了までの方針を川崎さんと意思疎通できた。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
<p>今日は川崎さんと今後の方針について話し合いを行いました。私の方からもっと他にもいろいろとした方がいいのではないか、という要望を出したところ、川崎さんから次のような答えが返ってきました。「私達のような人権系のNPO（いじめ、自殺 etc）の共通の課題として、そもそも周囲の人々に聞く耳を持ってもらえないということがある。そこには偏見・誤解・先入観があって、それらを取り去って真剣に話を聞いてくれる場をいかに作り出すかが一番の問題。特に、大学生年代との交流はこれまでほとんどなかった。今回、インターンシップを受け入れて、私が知りたかったのは学生がファミリーズと接してどのような感想を持つのか、特にそのような思いに至るプロセスを知りたかった。そのプロセスの中に、今後学生のような若い世代と接点をもつうえで、重要なものが含まれているから。そこを体験してもらったのが田代君であり、丸屋さんであり、二人にファミリーズについて文章だけでなく感覚でも理解してもらうために、ある程度の時間をかけているんな人に会ってもらった。その体験談の意見交換を通して、私もそのプロセスについていろいろと学ばせてもらった。私が今後田代君にしてもらいたいことは、これまでの体験を文章の形でファミリーズに残してくれること。それが、今後ファミリーズがインターンのプログラムを組んだり、交流を持つうえで、貴重な財産になるし、ファミリーズにとっての情報発信の強化につながる。今から新しいことをやろうとして、これまでの体験の整理をおろそかにしてしまったら、これまでの日々が無駄になる。特別な成果なんて一切期待していない。新たなことをしようとして格闘するくらいなら、これまで通り、文章を書くなかで、ゆっくり時間をかけて心で格闘してほしい。そっちの方がファミリーズにとってはありがたい。」だそうです。なので、インターン終了までの方針として、私のこれまでの体験を通して学んだこと、特に「プロセス」を整理してレポートとして仕上げ、ファミリーズ理事会に提出することと、犯罪被害者白書の中に、「インターンシップを体験して」というコーナーを作るので、執筆するということになりました。他には、白書作りの中で、川崎さんと意見を出し合うこと、などを確認しました。で、そのあと中間報告会に参加しました。皆さんいろいろと学ばれていていい刺激になりました。特に、熊田君の「子ども一人と話をし過ぎると、その他の子どもへの注意が疎かになる」という話は興味深かったです。私の場合は、ひたすら犯罪被害者の方と向き合っている日々なので、逆に周囲からの目線には鈍感になっているような気がするのです。他にも、一人の方のために頑張りたいという方もいて、素晴らしかったです。私も残りの日々頑張ろうと思いました。</p>

10月14日（金）業務報告
業務内容
文書の作成・資料閲覧等
具体的な成果
特になし。
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
<p>まず、木曜に行われたフェンドレイザー養成講座に代理出席したので、そのレポートをまとめたことを川崎さんに伝えました。この日は報告する時間が取れなかったので、後日報告します。あとは、ひたすらレポート・白書用の文章を構想を練っていました。これまでの体験を記したノートを見ながら考えを整理したり、生徒さん達の感想文を読んだりして、どのように書いたら他の人に伝わりやすいか、考えていました。個人的には、レポートと白書は読む人の対象が違うので、その点を意識して書きたいと思います。文章の使い回しはしません。まだ若干整理しきれていないのですが、焦らずやりたいと思います。土曜日は、自身2度目の理事会です。前回初めて出席した時は、聞かれたことしか話せず、後は沈黙してしまったのですが、今回どうなるか、不安でもあり楽しみでもあります。1カ月でどれだけ成長したか、どれだけファミリーズに溶け込めたかを感じるいい機会なので、気合いをいれて挑みたいと思います。</p>

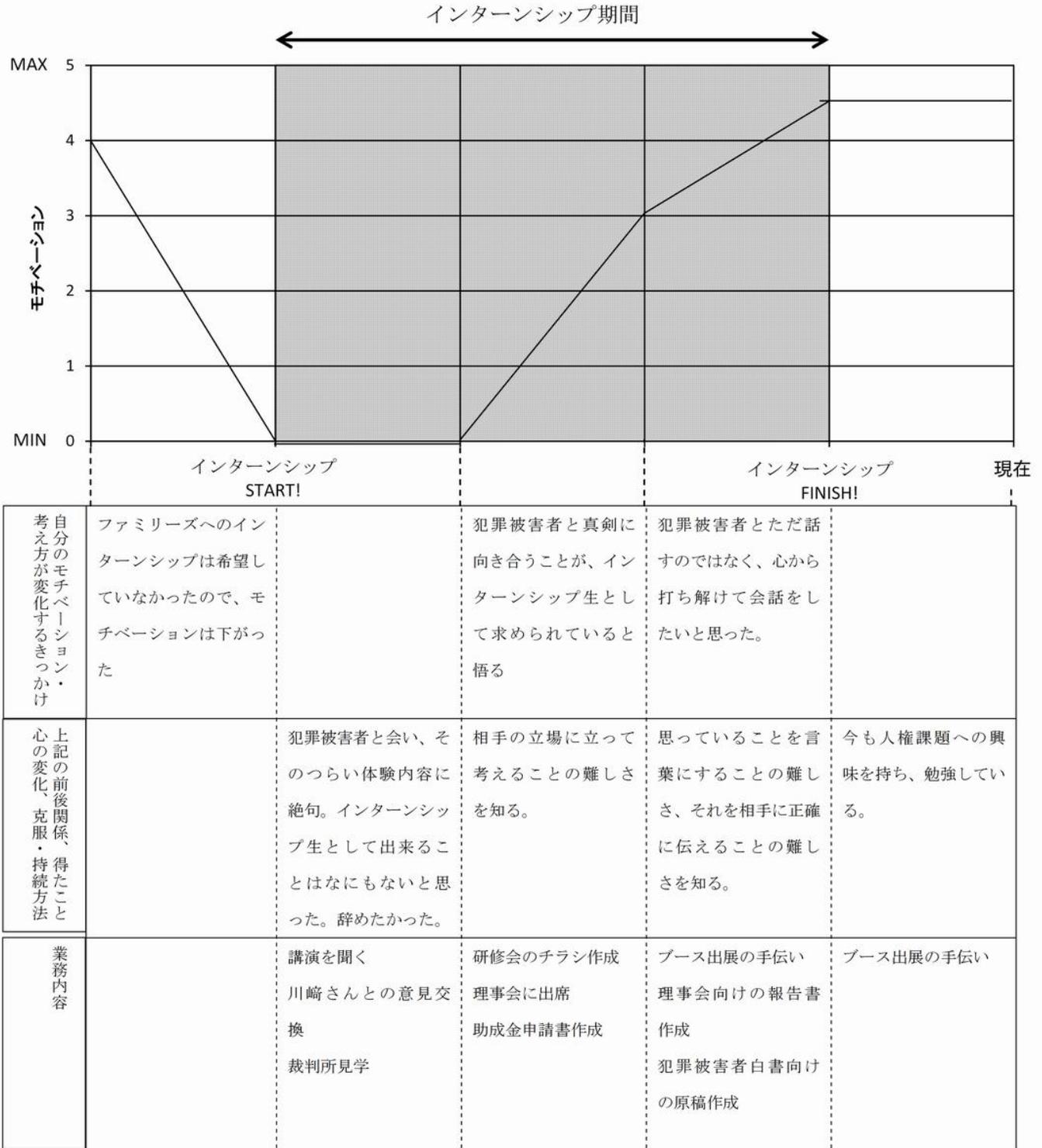
10月28日（金）インターンシップ最終日業務報告

業務内容

2週間に渡り業務報告を行わず、すみませんでした。この2週間何をやっていたかという、ファミリーズに提出するレポートと犯罪被害者白書用の文章を作成するため、新たに資料等（感想文約1500人分など）を読んだり、これまでの体験や得た知識を整理することで、自分なりの見解を導き、川崎さんにぶつける、という作業をしていました。しかし、全くうまくいかずイライラが頂点に達していて、フェイスブックで報告する精神的余裕がありませんでした。いい訳になりますけど。しかし、インターンシップ最終日の今日までに、レポート（約13000字・ファミリーズ関係者以外には非公開）と犯罪被害者白書用の文章（約1500字）をなんとか完成させることができました。これらの文書を作成する過程で、これまで皆さんに伝えたくても、頭の中で漠然としか分かっていなかったため、伝えることができなかつたファミリーズでの学び、特に人の死にかかわるNPO独特の考え方、難しさ、課題等を言葉で表現できるようになったので、それを明日にかけて一気に書きたいと思います。ちょっと説教くさい文章になってしまうかもしれませんが、ご容赦をいただければと思います。あと、賛否両論あると思いますので、いろんなご意見をお待ちしています。

テーマ1 ファミリーズは組織としてどうあるべきか、もっとも大切にすべきものは何か。ファミリーズは犯罪被害者の方が生きやすい社会を実現するために活動しているわけですが、では、よりファミリーズを理解者を増やすために積極的に事業展開をしていくべきなのでしょうか。前に、尾角さんという自死遺児（親を自殺で亡くした子ども）の支援をされている社会企業家の方とお会いしたのですが、この方は社会企業家として全国各地で活動されている方です。もちろん、ファミリーズより活動範囲は広いです。では、ファミリーズは尾角さんに劣るのでしょうか。尾角さんはファミリーズより優れているのでしょうか。もっと言うと、個人的に年1、2回の講演しかされない犯罪被害者の方は、ファミリーズより劣るのでしょうか。私は絶対に違うと思います。自分の問題に置き換えて皆さんに考えて頂きたいのですが、仮に皆さんが、すでに亡くなった大切な人との思い出を人前で語る活動をされていたとして、そこに私が近づいてきて、「あなたは今のままでいいんですか。私がインターンシップに行っているNPOの方は、行政と連携して年間数十回の講演をされています。その方から学ぶことができるのではないですか。」と声をかけたとしたら、皆さんはどう反応されるのでしょうか。「そうですね。私もその方から学ばなければいけませんね。」と返答する人はほとんどいないと思います。「故人に対する私の思いも知らないくせに、聴衆に伝えたい思いも知らないくせに、軽々しくよそから学べ、講演範囲を広げろなんて言うな。くそ田代あっちいけ」と思われるのが普通だと思います。私が何を言いたいのかというと、ファミリーズのような活動主体の思い・心が重要な活動は、民間企業や商品販売を扱うようなNPOと違って、積極的によそから学ぶ、事業展開をするという考え方はなじまないということです。その人なりの故人への思いがあって、伝えたい思いがあって、それらは千差万別。それぞれの場所で、それぞれのペースで活動することが大事なのであって、そこに上も下もない。優れている、劣っているということでもない。前の報告で尾角さんとの出会いは貴重だったと書きましたが、尾角さんは社会企業家という自身の職業について、「自分がやりたい活動をするうえで、どのようなスタイルがいいか色々検討した結果、それがたまたま社会企業家だっただけで、社会企業家という職業になりたいと思ったことはない」という趣旨のお話をされて、当時なぜか不思議と納得していた自分がいたんですけど、今考えてみると、「私達のような人の思い・気持ちを大切にすべき活動をしているものは、それぞれが最も適切・相応しいと思う活動形態で活動するべき。」という尾角さんの裏の思いを感じたから納得したのではないかなと。川崎さんも「その解釈は間違っていない」と言って下さいましたし。もちろん、ファミリーズも活動の範囲を広げるという視点は常に持ち続けなければいけないのですが、最も尊重すべきは、犯罪被害者の市原さん、高橋さんの思い・意思であって、「活動を広げることこそ正しい」という視点とは距離を置くべきであって、現に距離を置いています。

モチベーションシート 田代大輝



NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ

インターンシップ生報告② 丸屋加奈

インターンシップ日数：6日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。

私が NPO インターンシップに参加しようと思った理由は、NPO が一体どのようなものなのか、という疑問からもありましたが、一番の理由は自分自身の視野を広げ、成長したいという思いからでした。私は積極的な性格ではないので学校外の活動もしたことがなく、このまま何の行動もせず学生生活が終わってしまうのはあまりに勿体なく、社会に出たあとに後悔するのではないかと思い、自分を変えるきっかけとして参加を希望しました。

2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？

85/100 %

3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。

- ・チラシ製作
- ・犯罪被害者支援広報啓発事業話し合い
- ・講演会の伴走
- ・封入作業
- ・裁判傍聴
- ・NPO イベントの話し合い
- ・理事会参加

4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。

- ・(初対面の) 人と話すことに少し慣れた。
- ・挨拶の大切さを改めて認識した。
- ・自分の考えをまとめられるようになった。
- ・広い視野を持って物事を考えられるようになった。
- ・犯罪ニュースなどを他人事だと思って流さず、意識し考えるようになった。
- ・ファミリーズが今どのような活動をしているか意識するようになった。

5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

警察学校や中学校の講演会の伴走として行かせて頂いた際に、後ろの方から講演会の様子を拝見していましたが、みなさん講演を真剣な顔で聴いていたのが印象に残っています。中には泣いている方もいらっしゃって、それを見たときにファミリーズからの伴走で一緒した近藤さんの言葉を思い出しました。「市原さん(講演をされている方)はこの講演会をすることで辛いことを思い出しているからこうやってただ講演に付いて行って、終わった後に(講演とはまったく関係ない) 楽しく会話をするだけでも全然違うんだよ。」と仰っていました。誰もが真剣に聞き入って、中には涙する人もいるぐらい辛い体験をなさっている方とどうお話しすればいいのか正直戸惑っていたのですが、そのようなことはむしろ失礼であり、そしていらぬ気遣いでもあり、ありのまま、普段通りの自分で気軽に話せばいいのだとこの言葉で気付くことが出来ました。犯罪被害者の方は世間から疎外されがちだとインターンシップ中に耳にしていたのですが、まさしくそうなのだと思身を感じました。

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。

インターンを通して犯罪被害者の方に関心があるという言い方をすると失礼なのですが、犯罪被害者の方々の立場や現状についてもっと知りたいと思いました。私はインターン期間が短かったので、ファミリーズのインターンシップ計画の導入部分しか経験していないのだと思います。だから、また機会や時間があればファミリーズのみなさんの活動に関わっていきたいです。

7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。

自分自身には一歩踏み出す勇気というものがないと思っていました。しかし、このインターンシップに参加したこと自体も一歩踏み出す勇気ですし、インターンシップ最終日の理事会で10月に行われたNPOイベントに参加させて下さい、と自ら言い出すことが出来たというのも一歩踏み出す勇気でした。それを発見することが出来て、自分に自信が持てた気がします。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

インターン中は開始15分前には席に座ってられるようにと意識して行動していたのですが、講演会の伴走の際、一度だけ10分前ぐらいに事務所に到着し、既に田代さんが川崎さんからその日の日程表をもらい待っていたことがありました。講演会に伴走として同行させて頂く立場なのだから気を緩めず、もっと時間に余裕をもって行動すべきだと反省しました。日常的なこともそうなのですが、特に「仕事」は、時間厳守なのだという意識を改めて感じました。ぎりぎりに行動するのではなく早すぎるとしても、何かあるのかわからないのだから余裕を持って行動することが大切だと思いました。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

NPO インターンシップに参加したからといってNPOのすべてを理解出来た訳ではないのですが、私の中でNPOというものは損得勘定から行動を起こすのではなく、ただ自分たちがやりたいことだから行動を起こす、というイメージが出来ました。川崎さんや市原さんとお話した際の言葉に感じましたが、お二人共この活動を通して相手に何か反応を返してもらうつもりはまったくなく、“ただ心の片隅に（自分たちの存在が）残っていればいい。自分が困ったときに、こういう団体があったなと思い出してもらえれば幸いだ。それ以外のときはむしろ忘れてくれてもいい。”くらいの心持ちで活動なさっているからです。これにはファミリーズの活動内容が複雑で、誰しもから賛同を得られるものではない、という考えからもあると思うのですが、それを差し引いて考えても、同じなのではないかと私は思いました。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

このインターンシップは本当に貴重な機会です。参加することで、得るものはあっても失うものはそうそうありません。そして、外界に触れることで新たな視点や広い視野をもって“今”を見つめ直すことが出来ると思います。インターンシップ前後の自分の考え方や価値観を比較し、これからの未来の自分に繋げていくことも出来ます。一歩踏み出す勇気があるかないか、これが何事においても大切なことだと思います。参加に迷っている方がいるのなら、私のように一歩踏み出してみてもはどうでしょう。

日常業務報告 丸屋加奈

9月6日（火）業務報告

業務内容

犯罪被害者支援広報啓発事業の話し合い、封入作業。

自己採点

55点

学び・気づき・課題等

午前中と最後の1時間30分（計3時間ほど）は県・補助事業である犯罪被害者支援広報啓発事業のアイデアを考えました。封入作業は封筒に冊子を入れたり宛名ラベルを貼ったりと単純な作業で、効率良く出来たと思います。

話し合いでは初めは自分の意見を言うタイミングが掴めず、ただ田代くんや川崎さんのお話に頷くだけでしたが、時間が経つにつれその場の空気に慣れてきたため、自分自身の考えやアイデアを述べる事が出来ました。ただ、自分自身の考えが完全に固まっていない中で言ってしまったので、発言が中途半端になってしまった気がします。

8日にある講演を聞いた上で次回の話し合いまでに自分自身の考えを固め、また自分自身の中で深く追求して新たな考えも見つけていきたいと思います。

あと、挨拶はもっと元気に！を心掛けたいです。

9月8日（木）業務報告

業務内容

犯罪被害者の方の講演を聞く

自己採点

65点

学び・気づき・課題等

今日はファミリーズの一員である市原さんの講演をお聞きしに警察学校の方へ行ってきました。正直、この講演をお聞きして思うことは色々ありました。そして、それをきちんと言葉に出来るかは今の私には自信がありません。しかし、一方でファミリーズの繋がりというものも聞けたように思います。市原さんのお話の中で、以前、警察の方に講演をした際に「犯人逮捕だけが被害者の方の為に出来ることだと思っていたが、市原さんのお話を聞いて被害者の方と関わっていくことも私達に出来ることだと気付きました。（ニュアンス）」という感想があったとお聞きしました。市原さんの講演を通して、一人の警察官の方の気持ちが変わり、そして被害者の方に寄り添う一人となったのです。このお話を聞いて、ファミリーズの繋がりというものを今までで一番感じました。

市原さんのお話は確かに楽に聞ける話ではありません。そして、若者にファミリーズのことを知ってもらうのは難しく、様々な問題が積み重なっています。しかし、私が市原さんの講演をお聞きして感じるものがあつたように、若者の中に、私と同じように感じる人がいるのではないかと思います。そう信じて、明日から私に出来ることを頑張りたいと思いました。

9月9日（金）業務報告
業務内容
裁判傍聴、封入作業、犯罪被害者支援広報啓発事業の話し合い
自己採点
65点
学び・気づき・課題等
<p>今日は初めての裁判傍聴を体験しました。裁判所というあまり縁のなかった場所に足を踏み入れたためか一日中緊張が解けなかったように思いました。今日の私の緊張を考えると、突然被害者という立場に置かれ、裁判所に向かわなければならなくなる被害者の方の不安はどれほどになるのか、考えるだけでも胸が苦しくなります。そういったことを少しでも考えることが出来たので、良い経験になったと思います。ただ、緊張が解けなかったとはいえ、口数が少なくなってしまったことが残念です。</p> <p>封入作業は慣れたのか、初日より手際よく出来たと思います。宛名ラベルを貼りながら、送り先住所を見ていると全国様々な場所に冊子が送られることに気が付き、自分が行っている作業がとても有意義に感じました。封入作業の次は初日にも行った犯罪被害者支援広報啓発事業のアイデアを出すため田代さんと話し合いました。最初はなかなかアイデアが思いつかなかったのですが、田代さんがベースとなるアイデアを出してくれたので着々と進んでいったように思います。今日は川崎さんにご報告出来なかったのですが、次回したいと思います。</p>

9月13日（火）業務報告
業務内容
講演会のチラシ作り、10月7日に開催されるNPOのイベントのアイデアを出す。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
<p>川崎さんから過去にあったイベントのチラシをお借りして、講演会のチラシを作ったのですが、そのチラシを参考にしすぎて、オリジナルテイのないチラシになってしまいました。あと、自分自身の word 技術のなさを改めて実感したように思います。やり方やアイデア次第ではもっと工夫出来たように思うので悔しいです。NPO イベントでの出展ブースに関するアイデアも期待されている“若者視点からの意見”というものが出せず、自分の中で消化不良となっています。17日の理事会までまだ時間があるので、もう一度改めて自分の中で“若者視点”というものを見直したいと思います。</p> <p>そして、今日の業務を通して、自分自身の word 技術のなさが明らかになったので、今後の課題にしたいと思います。</p>

9月16日（金）業務報告
業務内容
中学校で犯罪被害者の遺族の市原さんの講演を聞く
自己採点
45点
学び・気づき・課題等
<p>昨日は中学校で市原さんの講演をお聞きしました。前は警察学校の方で聞かせて頂いたのですが、今回は中学生対象ということで命の大切さを訴える「命の授業」をお聞きしました。前回とは心に響いてくるものが違っており、“生きる”ということを変えて考え、実感させられるものでした。後ろから聞かせて頂いていたのですが、泣いている生徒さんもいらっちゃって、それがさらに私自身の心に響きました。1対大勢でお話されているのにまるで1人1人と対話しているようで、本当に何度聞いても心に何かを残していかれるのだなと実感しました。講演後は市原さんと少しお話しする時間を頂き、市原さんという方を身近に感じる事が出来ました。市原さんが今後やってみたいことから、日常的な雑談までお話をお聞きして、良い意味で本当に普通の方なのだと思いました。市原さんのお話は聞き出来たのですが、私の感じたことなどはあまり話せなくて少し残念でした。改めて自分の語彙力のなさや、言葉にする能力のなさを実感しました。言葉を頂いてばかりで私自身は何も伝えられていないのが悔しいです。</p>

9月17日（土）業務報告

業務内容

理事会出席

自己採点

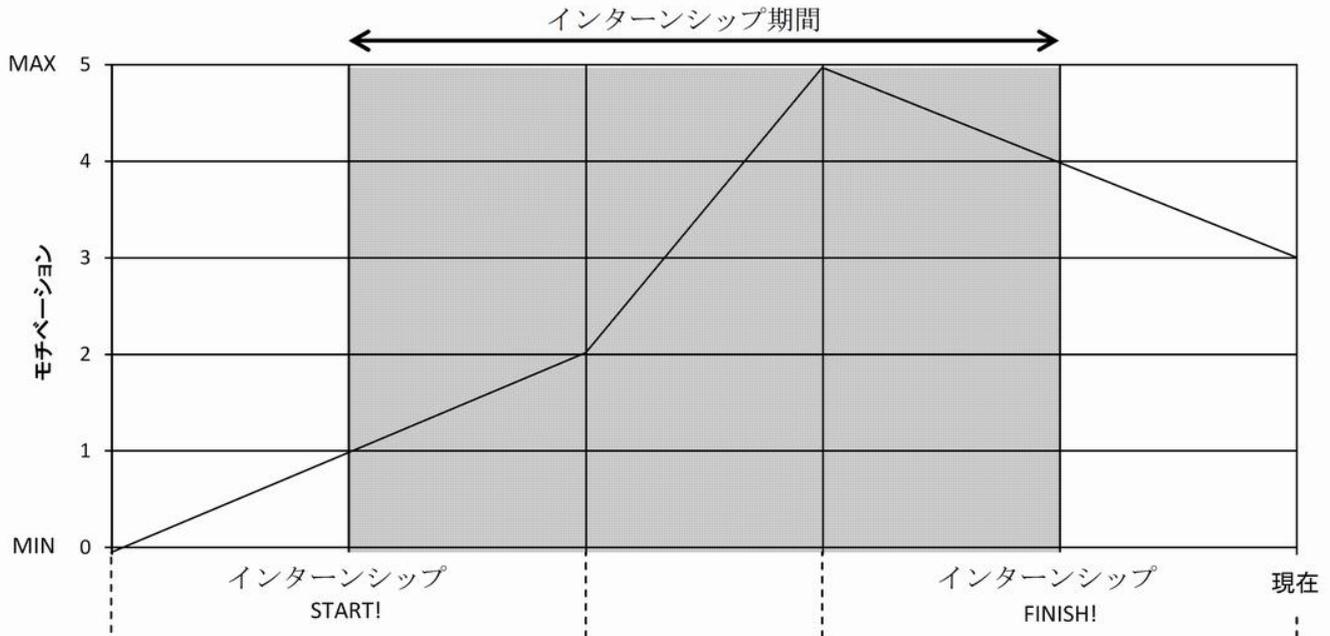
55点

学び・気づき・課題等

今日は理事会に出席しました。川崎さんが和やかな雰囲気だと仰っていた通り、とても和やかでした。しかし、和やかな雰囲気の中でも話すべきことはきちんと話していてすごいなと思いました。本当にテンポよくすべてが進んでいき、あっという間でした。自己紹介や2週間を通しての感じたことなどを求められたのですが、うまく言葉に出来ていなかったように思います。それでも、黙って聞いて下さって嬉しかったです。しかし、私自身の伝えなかったことは伝えられていないように感じたので（言葉が不十分すぎて）、これから自分自身で鍛えていきたいと思います。

私のインターンシップは今日で終わりです。2週間という短い期間でしたが、本当にお世話になりました。初めての経験がばかりでとても勉強になりました。この短い期間の中でもファミリーズという繋がりが様々な場面で垣間見えたように思います。その繋がりは初めからあった訳ではなくファミリーズの皆様が長年かけて築き上げていったのだと思うと、2週間なんて短い期間のインターンシップ希望を出した自分は、なんて失礼なことをしたのだと今更ながら恥ずかしいです。それに、もっとファミリーズの皆様のお役に立ちたかったです。私のインターンシップは今日で終わりですが、ここで終わるのではなく、これからもファミリーズの皆様のお力になれるのならば何でもいいのでしたいと思っています。ご迷惑ばかりおかけしてしまったと思いますが、本当にありがとうございました。

モチベーションシート 丸屋加奈



自分の考え方が変化するきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップという未知なる経験に不安を感じる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで自分が聞いたことのなかったお話をお聞きし、自分の中でより真剣にインターンシップに取り組まなければならないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会など緊張する業務から事務所でチラシ作りとなり少し緊張が解ける。 	
上記の前後関係、得心・持続方法	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの事前説明で自分なりにイメージを膨らませ、緊張を和らげていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見があれば臆することなくはっきり述べることを学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会に伴走として参加し、貴重なお話をたくさんお聞きし、もっとファミリーズについて知りたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会で多くの貴重なお話を聞きし、その影響で私にも出来ることはないかと考えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成に向けて頭の中を整理。
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーズの広報方法を考え、意見を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会に伴走として参加し、貴重なお話を聞かせて頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成や裁判の傍聴。 	

3. NPO 法人吉備野工房ちみち

法人概要

代表者名	加藤せい子
代表ブログ	http://blog.canpan.info/kibino/
住所	719-1124 総社市三須7 9 6 番地
電話	080-5231-6092
FAX	0866-94-0331
Eメール	kibinokoubou@gmail.com
URL	http://www.chimichi.org/
目的	この法人は、吉備野の持つ歴史や文化や自然などを生かしたまちづくり及び、まちづくりに関連するその他の市民活動を行うと共に、それらを支援することを通じて吉備野の魅力を高め、まちづくりの推進と文化の振興に寄与することを目的とする。
活動・業務	(1)まちづくりのプロデュース事業 (2)まちづくりに関するイベント、セミナー事業 (3)まちづくりに関する情報発信事業 (4)まちづくりを推進する商品開発事業 (5)その他この法人の目的を達するために必要な事業
現在特に力を入れていること	地域の歴史的特性を踏まえた上で、吉備野に古くから残る地域資源の発掘と人的資源の活用、そして、それらの資源が地域の中で交流しあう仕組みと、地域外の人とつながっていく仕組みづくりを行うことで社会的課題を解決していきたい。 そのために人・モノ・コト・場所の「つながり」をキーワードに、参加者と「達人」（講師やガイドのことを私たちはそう呼んでいます）、吉備野工房ちみちの三者が協働して体験交流プログラム「みちくさ小道」を毎年2回開催している。これを毎年継続的に開催する仕組みを作ることを通し、そこにしかない資源を活用した個性と魅力のあるまちづくりを、女性の視点を生かしながら進めていきたい。
今後の方向性・ビジョン	始めた当初、「吉備野」は総社市とその周辺地域だけのものでした。しかし3年経ち7回目を実施した現在、「吉備野」の範囲は、倉敷市、岡山市はもちろん、吉備中央町や美作市、真庭市などへと大きく広がっています。今後、ソーシャルビジネスとして今までの活動実績を踏まえ、この変革の時代に自分自身を地域資源としブランディングしていける生き方へと発展させるため、子供から高齢者まで幅広い年齢層やジャンルの人々が吉備野の魅力を提供・体験することで、自身の存在の原点を見つけてもらいたい。そのためにエージェントと組んで、より効果的な着地型歴史体験学習プログラムの開発に取り組んでいきたいと思っています。

NPO 法人吉備野工房ちみち

受入団体報告 河原新

1. インターンシップの内容を教えてください。

- ・ミーティングに参画して、事業プランの策定に立ち会う。
 - ・みちくさ小道事業の各プログラム内容などのHPへの入力及びフェイスブックを用いた告知活動をした。
 - ・みちくさ小道プログラム実施においてアテンドとなり、円滑なプログラム実施の支援をした。
- 企画→広報→実施を経験し、みちくさ小道の一連の流れを理解していただいた。

2. 学生による具体的な成果を教えてください。

- ・当初は自信がなさそうな立ち居振る舞いであったが、何度か人と話すことで物怖じせず話をするようになった。
- ・子供が参加したプログラムでは子どもが楽しく遊べるようにコミュニケーションをとるなど努力することができ、円滑なプログラム実施に貢献できた。
- ・指示をしないと動けなかったが、終盤では自ら指示を請うようになり、積極性が高まった。

3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。

- ・以前は自分の話がメインになり、「自らが楽しむ」ような気持ちで参加していたが、スタッフからの注意を素直に受け入れ「参加者に楽しんでもらう」というスタイルに変化した。自己の考え方を変化させ、柔軟に他者の意見を受け入れる能力の高さを感じた。
- ・勉強というフィールドでは体験できない「仕事」を体験することに新鮮さを感じ、スタッフ以上のモチベーションで業務に参加したことは学生ならではの強みであると感じた。

4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。

- インターンシップ生への指導や指示の仕方を知った。
EX・明確に一つずつ教えること。一度に全部やったら混乱する。
 - ・間違えてもあきらめずに何度も反復して指導することなど。
 - ・次にやるべきことを理解しているか?など業務の道筋を作り業務に取り組んでもらう。
- 指示を出す練習になった。
- インターンシップ生の楽しく業務に取り組む姿を見て、自己も見習わなければと感じた。

5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか?その理由もご記入ください。

- 70%
- プラス評価
- ・HPの入力作業などの単調な作業もミスが少なくかつ、わからないところは担当者に相談するなど問題なく業務が遂行できた。
- アテンドでも参加者の気持ちを考えながら行動できた。
- マイナス評価
- ・プログラム実施におけるアテンドの回数が少なかったため、アテンド経験を通してのインターンシップ生の成長を感じることができなかった。

6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。

- ・HPの入力作業などコンピュータ関連の業務で、ソフトの使い方を特に指導しなくても作業できる点などは学生ならではの感じた。
- ・教え方が大切だと改めて認識した。複数のことを指示すると混乱することがあったため、一つずつ教え、一つ出来ると次を指導するというようなスタイルでインターンシップ期間は指導した。

NPO 法人吉備野工房ちみち
インターンシップ生報告 浅野理美
インターンシップ日数：15日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
理事長の加藤せいこさんがボランティアで広報誌を作っていたところに父親と知り合い、その後、みちくさ小道のまち歩きの人達で協力するようになりました。私自身も父親について一緒に歩くなどしていました。高校生になったあたりから「地域振興」「地域活性」に興味があり、人とのつながりを大事にするちみちの活動にますます興味を持ちました。学校の薦めでちみちにインターンシップができるということでいい機会だと思い参加しました。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
100% / 100%
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">● 封書詰め● 判押し● Facebook 入力● ホームページ入力● エクセル確認
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">● やり遂げる充実感を得た● 自分のよいところが発見できた● 進路（人生）について改めて考えた● 人との出会いでさまざまな考え方に触れた
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
地域を変える女性のチカラというイベントに行かせていただいたときに参加者さんと一緒に「地域を変えるチカラ宣言」を考えることになりました。「笑顔でいること」「自分を好きになること」など当たり前のことから振り返りました。「地域を変える」というと大仰に聞こえますが身近なところから始められるだと改めて感じる機会になりました。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
「地域を盛り上げる活動」に今までよりも大きく関心を持つようになりました。まちおこし事業は自治体ごとに有名・無名を問わず多くあり、近隣地域同士が連携することで、さらに大きな効果が得られると知りました。そのなかでも最近女性の力が大きく、活躍が目覚ましいことも関心を引いています。男性と女性の輝けるフィールドの違いを感じています。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
イベントスタッフを通して、人と交わる仕事が好きだということ、入力作業で正確性を大事にすることが自分の持っている強みなのだと感じました。自分の存在を認めてくれる現場は必ずどこかにあり、必要とされることでやる気が起こる要因にもなると感じています。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
ワークショップの企画実行を想定していたため入力作業ばかりのギャップは重く、「楽しみだけで仕事はできない」ということもよくわかりました。しかし、単純作業の中に楽しみを見つけることで仕事を早く正確に進め、やり抜くことで充実感が得られるのだと感じました。人に認められてはじめて「仕事」ができるのだと感じました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
NPO はより地域に密着しています。今まで NPO という名前を聞いたことがあってもそれがなんなのかどんなものがあるのかを知ることなく頭を通過させていたと思います。NPO は地域のそばで活動している、しかも NPO を支える NPO もあるというのが大きな発見でした。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
いろいろな人との出会いがあって、毎日が刺激的でした。ちみちは特に人の出入りが多いので「今日は誰が来るかな？」って、それだけでも楽しみになるんです。NPO に興味がなくても「働く現場ってどんな感じかな？」とか「これやってみたいなー」程度の動機でも構わないと思うんです。続ける意欲さえあれば必ず成果は出ますし、残る成果は今後のやる気にもつながります。少しでも気があればやってみて損はないはずですよ！

日常業務報告 浅野理美

9月1日（木）業務報告

業務内容

- ①ホームページデザインの話し合いに参加…あまり参加はできずうなづくばかり。
- ②チラシの折り込み（2種類）…1種類は4つ折、もう1種類は折り方の難易度アップ。

具体的な成果

「春のみちくさ小道」資料の完成。

自己採点

70点

課題等

- ・作業に時間がかかる→効率の上げ方を考える。
- ・敬語が崩れる→意識する。

9月5日（月）業務報告

業務内容

- ①パンフレットの折り込み…コツをつかむ。
- ②封筒に判押し…判押しにも上手なやりかたがあることに気づく。
- ③ホームページにプログラム内容を入力…ハプニングが続出。書いたものがネットにあがらない。住所を入れたのにグーグルマップがアフリカの海の上を指している・・・など。

具体的な成果

入力のやり方を憶える。

自己採点

40点

課題等

- ・タイピングが遅い→練習。
- ・言いたいことはいう。
- ・持ってきたものを持って帰る。
- ・うまくいかないからってあからさまに萎えない。

9月6日（火）業務報告

業務内容

- ①プログラムの入力…昨日の不具合の理由が発覚。カテゴリー別に置かれたページを探す。 備前一宮駅の地図が出ない。

具体的な成果

半分ほど打てた。

自己採点

60点

課題等

夜更かしの対応をしっかりとる。

9月8日（木）業務報告
業務内容
①プログラムの入力…誰もいない事務所で作業を始めようとするやと突如パソコンが落ちる。延長コードにプラグは刺さっていたが延長コードのプラグが刺さっていなかった。昼からは別のインターンシップ生とプログラム入力。担当者がいないためときどき助けに入る。
②小冊子袋詰め…先に入っている資料がしわにならないよう工夫する。時間を忘れて没頭した。
具体的な成果
プログラム入力完了。
自己採点
75点
課題等
うっかりミスをなくす。落ち着いて考える。

9月9日（金）業務報告
業務内容
①小冊子袋詰め…「今日中に出す（郵送する）」というので急ピッチで作業。多く残っていたため時間の大半を使う。
②パンフレットの折り
具体的な成果
袋詰め完了。
自己採点
85点
課題等
ツメが甘い。→最後まで気を抜かない。

9月12日（月）業務報告
業務内容
①ホームページに追加・変更をする…ようやくホームページが公開に向かう。
②facebook「みちくさ小道」ページにプログラムを入力…やり方はすぐ覚えるが作業が遅くなかなか進まない。
具体的な成果
特になし。
自己採点
60点
課題等
次の出勤は遊びに行ってからなので気持ちを早く切り替えてすべきことをがんばる。

9月14日（水）業務報告
業務内容
①facebook「みちくさ小道」ページにプログラムを入力…時系列で入れていく。昨日よりスピードが上がっている。朝から興奮気味でご飯をまともに食べていないせいか鳴りまくる腹をひたすら無視して作業。
具体的な成果
明日には終わる予定。
自己採点
70点
課題等
①自己管理。 ②思わず出てしまう独り言の解消。

9月15日（木）業務報告
業務内容
facebook「みちくさ小道」ページにプログラムを入力…はじまりが遅れたのを思わず人のせいにしてしまった（口に出してから研修会を思い出した）。背後でやっていたテレビの撮影が気になって仕方なかった。終わらなかった。
具体的な成果
特になし。
自己採点
60点
課題等
余裕ぶらない。改めて気を引き締める。

9月16日（金）業務報告
業務内容
①夜の達人会議に向けて資料を制作…6種類10枚をひとセットに。途中で印刷機が動かなくなる。時間をかけて印刷を終え、ホッチキスでとめる。ぎりぎりまでかかってしまった。 ②Facebook「みちくさ小道」ページにプログラムを入力…40部を印刷している間に終わらせた。 ③達人会議の運営手伝い…準備・片づけを手伝う。無駄話の声が大きすぎた。会議中、唯一話す自己紹介で嘯む。（自称・芸人なだけにちょっとショックが・・・）
自己採点
80点
課題等
声が大きすぎる＝興奮するとつい声が大きくなる。

9月20（火）業務報告
業務内容
①雑誌「osera」記事の文章チェック…日本語が間違っていないかなどを確認。 ②電話受付の打ち込み…紙にメモされた情報を正確に予約画面に入力する。Tab キーの使い方ははじめて知った。 ③エクセルで表製作…「吉備野あそび方図鑑」配布場所と冊数の表を作る。住所が書かれていないところはネットで調べる。
自己採点
75点
課題等
入力が遅い。気にしすぎ。

9月22日（木） 業務報告
業務内容
①郵送用の冊子袋詰め作業…宛名・差出人・ゆうメールのシールを貼る。位置が難しい。 ②エクセルで表製作（続き）…「吉備野あそび方図鑑」配布場所と冊数の表を作る。住所が書かれていないところはネットで調べる。 ③常設プログラムの入力…facebook となないろ組、両方に常設プログラムを入力。前置きをいれるはずが時間切れ。
自己採点
80点
課題等
手持ち無沙汰な場面が多々。指示待ち。

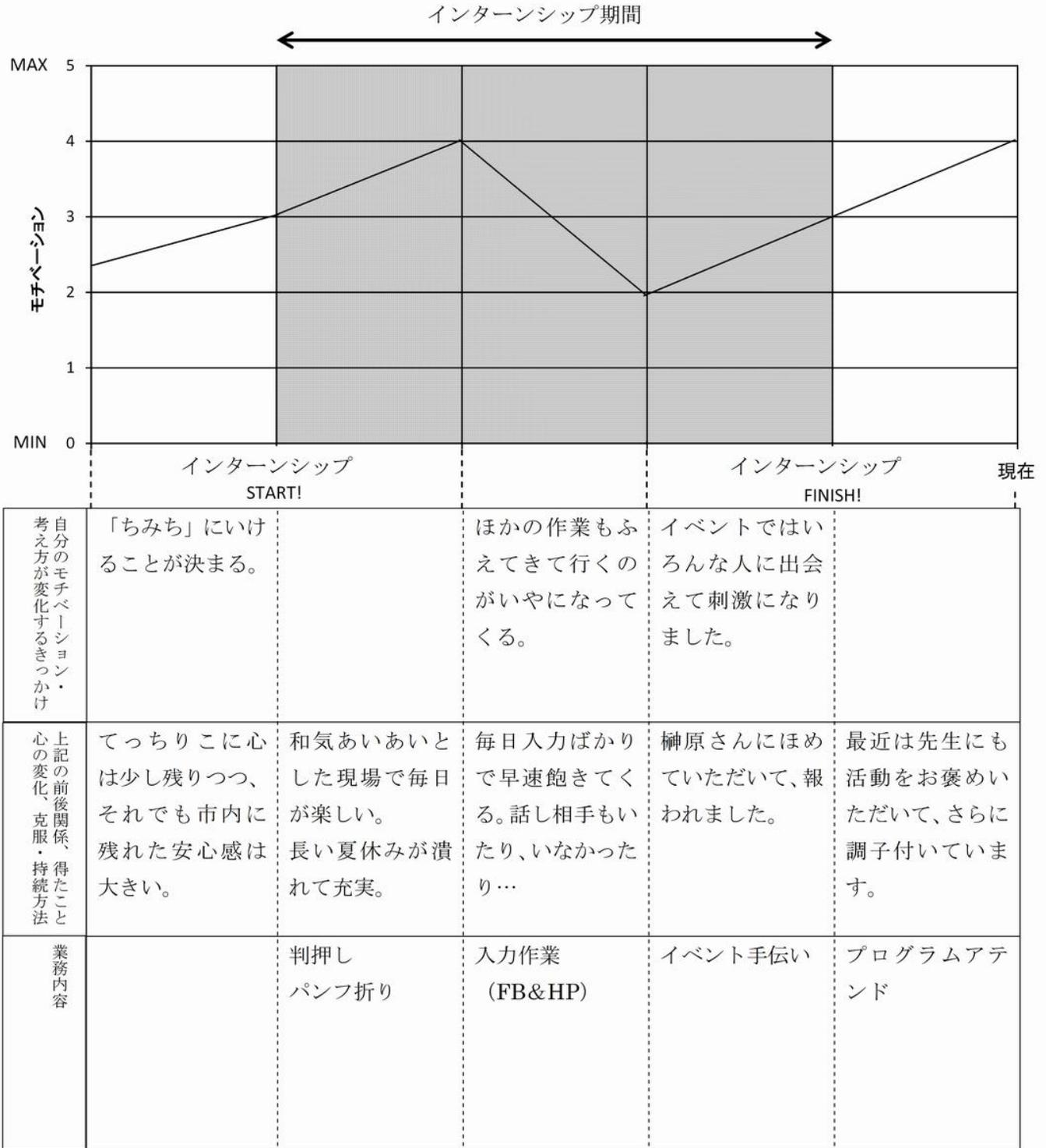
9月26日（月）業務報告
業務内容
①巨大カレンダーに記入…壁に貼ってある大きなカレンダーをはがしプログラムごとに定員人数と申し込み人数を書き込み。誤りなども発見し、直す。かなりの時間を要した。 ②封筒に判押し…机がいっぱいのため引き続き床で。前回、押し方のコツをつかんだのにもう忘れてる。 ③ビニール封筒にシールを貼る
具体的な成果
イラストつきの名前シールをほめてもらい、「私もまねしよ」と言われた。うれしかった。
自己採点
80点
課題等
仕事を探す、創る。（一応の）最終日ががんばります！

9月27日（火）業務報告
業務内容
①なないろ組&フェイスブックの確認…改行がおかしくないか、定員が書かれているか確認。 ②アンケートファイルの確認…ファンクラブに入っている人数を数える。 ③エクセル…名簿の中に市内・県内・県外の人がどれくらいいるか数える。住所をあいうえお順にしたらわかりやすかった。 ④番外＝皿を洗う&コーヒーを淹れる…担当者の笑顔が逆に怖い。今までで一番難しかったかもしれない。
自己採点
60点
課題等
最終日にまさかの遅刻。これからはプログラムの手伝いがあるので遅れないように、できることを精一杯がんばります。

10月10日（月）業務報告
業務内容
イベント「地域を変える女性のチカラ」の手伝い ①受付用紙回収…敬語を間違える。 ②きび団子の仕上げ…せっかくのカジュアルスーツがバルサミコ酢ときなこで汚れる。「早くして」ができません。 ③ディスカッションに参加…やっとな活躍。様々な職種の人が同じ目標で話し合うので、とても刺激的だった。 ④片付け…朝は遅くなったので最後はきっちりやり遂げた。
具体的な成果
イベントの成功に貢献。
自己採点
70点

10月15日（土）プログラム報告
業務内容
「古代の数式！古墳づくり」
具体的な成果
「創山（つくりやま）古墳」シンデレラ農園に行けば見ることができます。
自己採点
65点
概要
土を掘り、盛り固めて古墳を作りました。「半分手伝い、半分参加」と言われていたので昼食の配膳と片づけを手伝いました。
反省点
前半は何をしていいかわからず、邪魔にならないようなところにたっていました。
改善策
できることを探す。聞いてみる。

モチベーションシート 浅野理美



4. NPO 法人元気交流クラブたけのこの家

法人概要

代表者名	澤健
代表ブログ	—
住所	709-0721 岡山県赤磐市桜ヶ丘東 4-4-467
電話	086-995-9678
FAX	086-995-9677
Eメール	kenzi-s@ms3.megaegg.ne.jp
URL	http://www.takenokonoie.com/
目的	子どもからお年寄りまでの統合ケアを行い、子育て支援を行うこと。 子育て支援が充実し、一人でも暮らし続けるまちづくりを行うこと。
活動・業務	高齢者デイサービスセンターと親子デイサービスの運営。 学校支援地域本部事業を中心に行う。 ふれあいの居場所を地域に作る事。 お母さんを中心とし、お母さんが人間的に成長するためのマンデーママクラブを実施している。
現在特に力を入れていること	学校支援地域本部事業を桜が丘地区の全体の学校に普及させること。 桜が丘地区に世代間が交流できるふれあいの居場所を作る事。
今後の方向性・ビジョン	統合ケアのまちづくりを行なうために、学校支援地域本部を山陽東小学校で立ち上げました。シニアが小学校に入って、次世代育成支援を行なう仕組みです。桜が丘地区の学校全体が本事業に加わるように働きかけをしていきたいと思ひます。 子育て支援が充実し、また、お年寄りが一人になっても暮らし続けるまちを目指して「ふれあいの居場所」を立ち上げようとしています。

NPO 法人元気交流クラブたけのこの家

受入団体報告 澤健

1. インターンシップの内容を教えてください。
インターネットやブログまたは新聞・テレビなどでは、たけのこの家の広報がされているが、紙媒体で地域に広報をすることが行われていなかった。今回、この「たけのこの家の広報誌 NO1」を作成する事をインターンシップ生の方にお願ひした。
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
1. インターンシップ生に A4 で裏表で 1 枚の広報誌を作成いただいた。 2. 今後のたけのこの家の広報誌の雛形ができた。 3. インターンシップ生に一部配布もしていただいた。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
1. 子どもとお年寄りの統合ケアをたけのこの家は運営している。最初は、世代の違うお年寄りや子どもとコミュニケーションを行うことに戸惑った面も見れたが、最後は、すごく自然にふれあうことができるようになった。 2. 広報誌は大変よくできていた。スタッフも地域の方からも高い評価を得ている。現状も配らせてもらっている。やはり知的なレベルが非常に高いと思った。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
1. やはり紙媒体での草の根の広報が不足していたので、その弱い部分を補強できたのが大きかった。 2. いつも私が散歩のときにポスティングしているが、お陰で散歩が楽しくなった。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
達成度は 200%。正直、短い間でたけのこの家の活動を理解して、ここまで文章力や表現力があるとは考えていなかった。すばらしい広報誌ができた。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
5と同じ。インターンシップ生に大変感謝しています。過去にある町内会長から、地域の NPO といっても紙媒体で広報していないことを指摘されたこともあり、今回、その弱点が補強できた事は大きかったです。

NPO 法人元気交流クラブたけのこの家

インターンシップ生報告 熊田雄介

インターンシップ日数：7日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
大学から NPO インターンシップに参加者募集メールが届いて、参加しようか迷っていると、友達が参加すると聞いて、それで私も参加しようと思いました。自分自身の強みって何だろうなと思い、それを探しに参加したと言っても過言ではないです。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
100% /100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
具体的に子どもと遊ぶ、お年寄りとの交流、澤さんに付いていって話を聞く等。 地域向けの広報誌を作成。お年寄りとのレクレーション等。
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
広報誌を作成して、澤さんやスタッフの方に褒められて、私には文才があるのかなと思った。つまり、私には文才があるということが発見した。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
施設長の石井さんに、「就活や卒論で忙しくても残りの大学生活を楽しんで！」という言葉が印象に残っています。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
福祉系の職種に興味を持ちました。
7. インターンシップに参加したことで見つけた自分の強み、学びを教えてください。
強みは、文章力があること。学びは、コミュニケーションで大事なものは、相手に自分を知ってもらうことが大事だなと思いました。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
働くうえで辛いことはたくさんあると思う。だが、たけのこの家で業務に参加して思ったのは、家族的な雰囲気大切にしている。職種によってはピリピリとして居心地が悪かったりするけど、たけのこの家は暖かく、居心地がよかった。私も就職したらこのような雰囲気に行きたいと思っています。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
NPO に参加するまでは、私の中では NPO という言葉は知っていましたが、それはあくまで言葉・単語でしかありませんでした。ですが、今回 NPO インターンシップに参加して NPO という団体・各施設は明確な目標・役割を持って活動している。NPO はボランティア団体かと思っていましたがボランティアとは違うことがわかりました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
インターンシップに行って損する事なんか何もありません！ 是非、インターンシップに参加してください！

日常業務報告 熊田雄介

9月2日（金）業務報告
業務内容
①子どもと遊ぶ ②お年寄りとの触れ合い
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
①について、自分から積極的に子どもに話しかけていく事ができなかった。大学では入園前の子どもと触れ合ったりする機会もないので、どうやって子どもに話しかけたり、どうコミュニケーションをとったらいいかわからなかった。今後の課題は、積極的に子どもに話しかけていくこと、言い訳を述べても、自分から行動を起こさないと何事も始まらないので次の業務では、今日よりは子どもと触れ合いしたいと思います。
②について、①と同じく、自分から積極的に話しかけていく事ができなかった。スタッフが私の話をふってくださったり、お年寄りの方々が私に話しかけてくださったので話すことは出来たけど、しかし、自分自身の気持ちでは、お年寄りの方々が私に話しかけてくれるのを私は待っていたと思う。今後の課題は、①もそうだけど、受け身にならず自分自身をしっかり出していくことです。
今日の業務成果は、スタッフの方々から就職やこれからの大学生活のアドバイスが成果と言うか得た情報でした。

9月6日（火）業務報告
業務内容
①子どもと遊ぶ ②お年寄りとの関わり
自己採点
65点
学び・気づき・課題等
①について、今日は、何とか一人の女の子と散歩の時間に公園の滑り台と一緒に滑って遊んだ。けど、遊べたのはその女の子だけで、他の子とはあんまり遊べなかった。成果は、一人の子どもと遊ぶことが出来た。課題は、一人だけでなく他の子とも積極的に遊んでいきたい。明日も違う子どもがくるので、積極的に遊んでもらおうと思う。
②について、お年寄りとは、積極的に話しかけていくことが出来て、コミュニケーションをとることが出来た。この調子で頑張っていこうと思います。

9月6日（火）追加報告
澤さんと一緒に山陽東小学校のボランティア会議・報告会に私も勉強のために同席しました。そこで、小学生を対象とした地域・PTAで様々な事をとりこんでいました。
私が感心をもったことは、『子どもを叱る』ということ。いけないことをしたら大人が叱る。その当たり前のことを澤さん達が話しているのを聞いて、これが大人の役目なのかなと思いました。
そして、夕方からサクラ家というまちづくりをしている？しようとしている会議に私も勉強のために澤さんと同席しました。
その会議では、規約などに対する議論を行い、正直私はわけがわからなくて終始うなずくだけでした。しかし、会議に参加している皆さんの赤磐市、桜が丘をよくしようとしているひた向きな思いにすごいと思いました。

9月7日（水）業務報告
業務内容
①子どもと遊ぶ ②お年寄りとの交流
自己採点
75点
学び・気づき・課題等
①について、今日！子どもと遊ぶことが出来た！3人の子と施設のオモチャで遊んだり、私の私物の秘密のオモチャで遊んだりした。その秘密のオモチャに子どもたちが食いついてきたおかげです。課題は、3人の子と遊んだけど、今日は子どもの数がおおかったので物足りません。ですから、明後日は、より多くの子どもと遊べるよう秘密のオモチャで釣っていきたいと思います ②について、お年寄りとの交流は、昨日と同じく積極的に話しかけることが出来た。レクの時間では、あまり目が見えないお年寄りと一緒に牛乳パックで針を入れる箱を作りました。その他にもお昼の時間には、食事をしながら話したり、おやつの中には、あるお年寄りが、私に自分のおやつを食べなさいと言ってくれました。課題は、話しの様々なネタを用意することです。

9月9日（金）業務報告
業務内容
①パソコン業務 ②お年寄りとの交流
学び・気づき・課題等
①について、今日は、子どもと遊ばずに午前中はパソコン業務をしました。広報紙をつくる仕事です。広報紙の内容は、もちろん、たけのこの家の事で、具体的な内容はというと理事長さんと話した結果、何でもいいと言われたので、私の率直な思いをそのまま書く事にしました。課題は…自分自身がたけのこの家を見たことをそのまま素直に書く！当たり前ですが…。②について、午後からは通常通りお年寄りとの交流でした。お話したり、レクリエーションをしたり等です。レクリエーションは10月のカレンダー作りをしました。カレンダーの絵とか柄とか…絵の柄をお年寄りがハサミで切りとるのをサポートする作業です。それが終わると、後はまったりお年寄りと話したり、話しを聞いたりしました。話しを聞くほうが多かったです。次は、私が話を聞くだけでなく、私の話をお年寄りに聞いて貰うように心がけていきたいと思っています。あと一週間なので精一杯業務に励むつもりです。

9月13日（火）業務報告
業務内容
①子どもと遊ぶ ②パソコン業務（広報紙作り） ③お年寄りとの交流
自己採点
75点
学び・気づき・課題等
①について、今日は、子どもと散歩に行った公園でブランコに乗ったり、滑り台と一緒に滑ったりして遊び、そして最後の子ども・母親&お年寄りとの交流では、私も混ざって一緒にオモチャで遊びました。課題&目標は、インターンシップも後半になってきたので悔いがないようにいっぱい子どもに遊んでもらうこと・母親にもいろんな話をする事です。 ②について、パソコン業務では、理事長さんに出来た文章を見せて、『いいじゃん、これでいこう』と言われたので、そこまでするまでもしていません。課題&成果は、課題は、これからパソコンとか就職すると当たり前のよう使うのでパソコン関係のことを勉強したいと思います。成果は、前にも書きましたが、理事長さんが、いいじゃん、これでいこう・おもしろいじゃんと言ってくださったことです ③について、お年寄りとの交流では、お年寄りと話したり、レクリエーションをしたりしました。目標は、自分自身をもっといかしていきたい…と思っています。課題は、会話を繋げて膨らますことです。残り少ないので、より励もうと思っています。お年寄りが、私に自分のおやつを食べなさいと言ってくれました。課題は、話しの様々なネタを用意することです。

9月14日（水）業務報告

業務内容

①パソコン業務（仕上げ）

学び・気づき・課題等

①について、今日は、広報紙の仕上げを主にしました。昨日の業務で理事長さんにデータを渡して、今日、理事長さんが若干修正して、私も修正作業を手伝いました。成果は、理事長さんや施設長さんに良くかけていると言われたことです。課題は、仕上げのさいにいろいろ修正したりするのですが、word の使い方が力不足だったので、所々、何をどうすればいいのかわかりませんでした。わからないたびにスタッフの方に聞いて貰って教えてもらいました。今日のことを踏まえて、ワードはエクセルの使い方がある程度使えるようにしていきたいなと思います。

②について、午前の少しの間、パソコン業務をして、そしてお年寄りと話をしたりしていました。そこへ、子どもが散歩から帰ってきて子どもがおやつを食べた後、お年寄りや母親、子どもと遊んだり、話しをしたりとかなりたのしかったです。成果&課題は、成果は、後半にきてようやく子どもと遊べるようになりました。お年寄りとも普通に話せて、孫・ひ孫のように接してくれて居心地が非常にいいです。課題は、明後日でインターンシップ最後の日なので、いっぱい子どもと遊んで、お年寄りとも話しをたくさんしたいと思います。

9月16日（金）業務報告

業務内容

- ①広報誌配り
- ②子どもと遊ぶ
- ③お年寄りと交流・レクリエーション

自己採点

95点

学び・気づき・課題等

①について、今日は最初に広報誌を配ってまわりました。一軒一軒ポストにインしては、地図を見ながら歩きまわったり、走ったりしてました。広報誌を配り終えて、たけのこの家に戻ると、岡山 NPO センターの加藤さんと岸本さんが来られてました。

②について、理事長さんと加藤さん岸本さんと私でいくつか話しをしました。私はただうなずいたり、質問に答えたりで特に話しに参加していませんが、澤さんが岸本さんにたけのこの家の家の理念や経緯等を話している時に私は、以前聞いた内容ですが、こう言う理念や目標をもとにこんな経緯があるからこそ、今私は、たけのこの家にインターンシップに来れたのだと改めて痛感いたしました。話しの途中で子どもを担当している藤田さんという女性が子どもと共に私のもとに来られて、以前私がたけのこの家にオモチャを寄付したお礼にオモチャをもらいました。そして澤さんが熊田君は現場に入ってくれていいよとおっしゃったので私は現場に入ることにしました。まず、お年寄りと話をしていて、そこに子どもとお母さん方がお年寄りとの交流のためにお年寄りのいる場所に来て、子どもやお母さん、お年寄りと一緒に話しをしたり、遊んだりしました。そこで私は、やっとお年寄り、子ども、母親と馴染めてきたのに今日が最後だと思うとすごい寂しく感じました。子どもとオモチャで遊んでいる時に、私のインターン最終日ということで様子見に藤井さんと上岡さんが来られて、上岡さんが私と子どもとお年寄りと一緒に写真を撮ってくれました。ですが、遊びつかれたのでしょう、子どもがアクビをしてみました。

その他にも私がもらったオモチャに食いついてきた子どもがいて、お母さんが貸してって言ってごらんと言われたのですが、恥ずかしいのか、私を警戒しているのかわかりませんが、なかなか貸してと言わないので、私は自分からオモチャを渡して、一緒に遊んでいました。やはり、入園前の子どもは色々な物に興味をもつので珍しいオモチャには興味をもっていかに貸して欲しい眼差しで私を見ていました。そうゆう所もすごい可愛いですね。

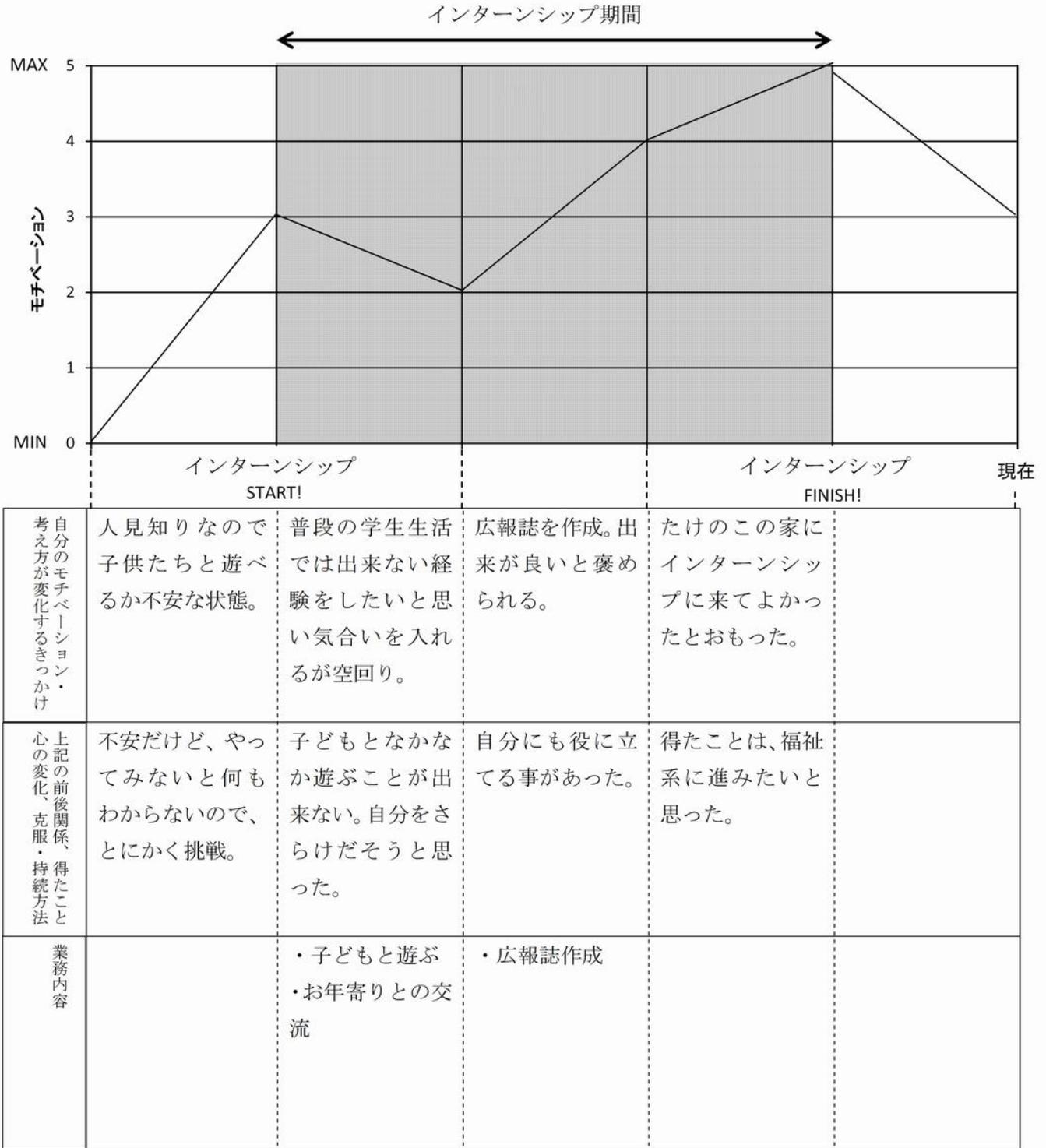
③について、子どもが帰った後は、私はお年寄りを話しをしたり、お昼ご飯をたべたりと過ごして、レクリエーションが始まる前までお年寄りとずっと話しをしていました。

レクリエーションをしている途中で澤さんに呼ばれて、行政職員のお二人の方と一緒に車で桜が丘を見渡せる場所まで行きました。その次にいきいき交流センターまで行きその中を澤さんに案内してもらいました。次に山陽東小学校にいき、そのボランティアルームに行って写真を見たり話をきいたりしていました。ボランティアルームには2回目に勉強のためにボランティアルームで会議に参加したのですが、その時に PTA の方がそこに 10 万円ぐらいの冷蔵庫を買ってくれることになったと話をしていて、今日、そこに行ったら立派な 10 万円以上の冷蔵庫が置いてありました。この冷蔵庫は澤さんをはじめ色々な方がボランティアや町作りを必死に一生懸命取り組んでいるご褒美だと思いました。たけのこの家に帰った後は、澤さんがたけのこの家のはじめ色々な話しを私や行政職員の方々にしてくれました。そして一通りの話が済み、ビデオをみました。そのビデオは以前見たのですが、インターンを通して、澤さんの色々話を聞いて、そして2回目に見たビデオは感じたことが違いました。最初見た時は、ああそうなんだあと思ったんですが、2回目は、色々な思いが交差して、そんな思いがあるからこそ、議論したり、反発にあたりと賛否両論で、予算の問題とかが私の頭によぎって、けして一枚岩？というわけではないですが、澤さんをはじめ、色々な方が桜が丘を赤磐市を良くしようと思いがあからこそ、困難な道でも逃げずに立ち向かう姿が私には眩しく見えて、そして、今私が見習わないといけなことがわかりました。人に頼る事も大切ですが、人との絆や繋がり以前に自分で動かないといけなことが当たり前ですが、私にとっての大学の授業、卒論、就職活動に繋がっていくものだと改めて考えました。

インターンシップを通して

最後に私は今回のインターンシップでたけのこの家で業務に参加しましたか、最初は、違う場所に行きたかったですけど、藤井さんに進めていただいたおかげで、この2週間(実質7日)ですが、とても充実した2週間であり、充実した夏休みでもありました。藤井さんには感謝しています。そして、たけのこの家で私は何が出来たか、役に立てたのかと…心配していますが、それなりに自分に出来る範囲で業務に参加していたつもりなので、自分自身ではすごい満足していますし、今日が最後だとすごい悲しいですが、今回の経験をこれからいかしていきたいと思えます。

モチベーションシート 熊田雄介



5. NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか

法人概要

代表者名	田口陽子
代表ブログ	—
住所	710-0802 岡山県倉敷市水江 187-2
電話	086-427-5550
FAX	086-427-5550
Eメール	kosodatepokkapoka@ac.auone-net.jp
URL	http://www.ac.auone-net.jp/~pokkapon/
目的	子どもの健全育成に関する事業を行い、すべての子ども達がいきいきと行動し、心豊かに成長できる環境づくりをめざす。
活動・業務	地域子育て支援拠点事業、家庭教育等情報発信 地域ふれあい交流活動事業
現在特に力を 入れていること	乳幼児と保護者のための居場所づくり 地域住人とのふれあい交流活動
今後の方向性 ・ビジョン	子どもたちが笑顔で育つためには地域全体、社会全体で子どもとその家族を育む必要があることに気づきました。まず、ネットワークづくりをしたいと思います。また同時に、子どもが生まれてからの子育て支援ではなく、生まれる前から問題の発生を予防するための活動に取り組んでいきたいと思っています。

NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか
受入団体報告 田口陽子・逢坂麻由

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・地域子育て支援拠点事業 ひろば・ぽっかぽかでの親子の受入れ業務 (親子の送迎、子どもや保護者との関わり、イベント補助)・地域ふれあい交流活動事業 みんなのぽっ♪カフェ 業務の見学
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・いつものスタッフ・ボランティアだけではなく、新しい人的環境として保護者や子ども達と関わってもらえ、いろいろな年代の大人との関わりが子ども達にとって大切であると再認識しました。・保護者や子ども達はもちろん、新規スタッフやボランティアの人達に、自分達の活動を明確に伝える方法を考える機会となりました。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
「子どもとどう関わればよいのか分からない」と不安に思って、なかなか保護者や子ども達と関わることができない状態でしたが、回を重ねるごとに少しずつ距離が近づき、少しずつ保護者と話をしたり、子どもと遊んだりすることができ始めていた。インターンシップ終盤になると、「〇〇をやりたいのですが…」と自分から積極的に学ぼうとする態度がみられ、これからの活躍に期待したいと心強く思いました。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
これから出産、子育てを経験するであろうインターンシップ生に子育て中の親子が集まる居場所の大切さや必要性を、直に子育て中の親子と関わることで学ぶことができるので、保護者や子ども達とどのように環境を設定したら関わりやすいか考えるよい機会となりました。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
90% スタッフはインターンシップ生を受け入れるということで、新たな学びをたくさんすることができたのですが、インターンシップ生のしてみたかったことが体験できたのか若干不安なので、90%としました。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
エントリーシートで、カフェ業務にも興味を持たれていたもので、ひろばはもちろんカフェ業務についても体験していただきたかったが、担当者との時間が合わず見学のみとなってしまう残念でした。製作活動を行う機会があり学生も一緒に体験をしてもらおうと、講師役となった保護者も「若い子を仕込んだよ」ととても嬉しそうでした。日々の活動に追われ、なかなかゆっくりにお話をする時間をとれず、不安なインターンシップが進んでいったのではないかと思いますので、申し訳なかったと思っております。

NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか

インターンシップ生報告 石川菜緒

インターンシップ日数：4日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。

まず第一に、就職活動の際に役立つと思い参加をすることにしました。また、普段あまり関わることのないNPOでのインターンシップということで、NPOに興味もあったので少しでもNPOについて知ることが出来ればと思い参加しました。また、様々な年代や様々な職業の人と関わり、自分の考えや視野などを広げ、自分が将来何をしたいのか見つける手がかりになればと思い参加しました。

2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？

50/100%

3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。

- ・子供の遊び相手
- ・お母さんとの会話
- ・親子を門まで送迎
- ・掃除
- ・カフェのお手伝いーオーダー受け
 - ー食事の用意
 - ー後片付け

4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。

- ・子供連れのお母さんを見ると、何か困っていないか考えるようになった
- ・自分の住んでいる地域の子育て支援について考えるようになった
- ・子育てについての考え方が変わった
- ・子供に対しての苦手意識が薄れた
- ・将来のことを真剣に考えるようになった

5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

インターンシップの最終日、ほとんど毎日来ていた男の子が名前を覚えてくれており、名前で呼んでくれたことがとても嬉しかったです。また、私のインターンの初日に、初めてひろばを利用されたお母さんがいらっしゃたのですが、あまり馴染めておらず、私も緊張であまりサポートをすることが出来ませんでした。また来てくれるかとても不安でしたが、また利用していただくことが出来ました。初日よりそのお母さんもなじむことが出来ておりとても安心しました。

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。

インターンシップに参加して、子育て支援に深く興味を持ちました。また、私のインターンシップ先は、お母さんがメインの子育て支援だったのですが、お父さんに対する子育て支援についても興味を持ちました。また、お店や街中には、子育て中のお母さんたちにとってどこが便利か、不便かなど、今までと違った視点で見えるようになりました。例えば街中のちょっとした段差も、ベビーカーを押しているお母さんにとっては不便だな…など。

7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。

誰に対しても平等に接することができる気がしました。ひろばではたくさんのお母さん、カフェでは様々な年代のお母さんが利用される中でいろいろな方がいましたが、誰に対しても同じように接することができたと思います。少し接しにくいと感じることもありましたが、それを表に出さないようにすることができました。そして、誰に対しても平等にすることが大事だと感じました。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

最初は、子供相手ということもあり、ボランティアのような感覚でした。しかし、利用されている方にとったら、わたしもスタッフということを感じ、スタッフとして行動するように心がけました。ボランティアとは違い、利用されている方の立場になり、利用されている方が気持ちよく過ごせるようになど、様々なことに目を配ることが必要だと感じました。与えられたことだけでなく、自分で考え行動することが大事だと思いました。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

NPOにこんなにもいろんな団体があるとは知りませんでした。そして、それらがいろんな年代、様々な方の役に立っていると知りました。今まで何をしているのかわからなかったNPOですが、様々なNPOがたくさんの人に、様々な情報・機会を提供していると感じました。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

このインターンシップでは、本当にさまざまなことが学べると思います。インターンシップ先での仕事だけでなく、その前後にある研修からも学べるものがたくさんあります。このインターンシップを通してたくさん得られるものがあると思います。

日常業務報告 石川菜緒

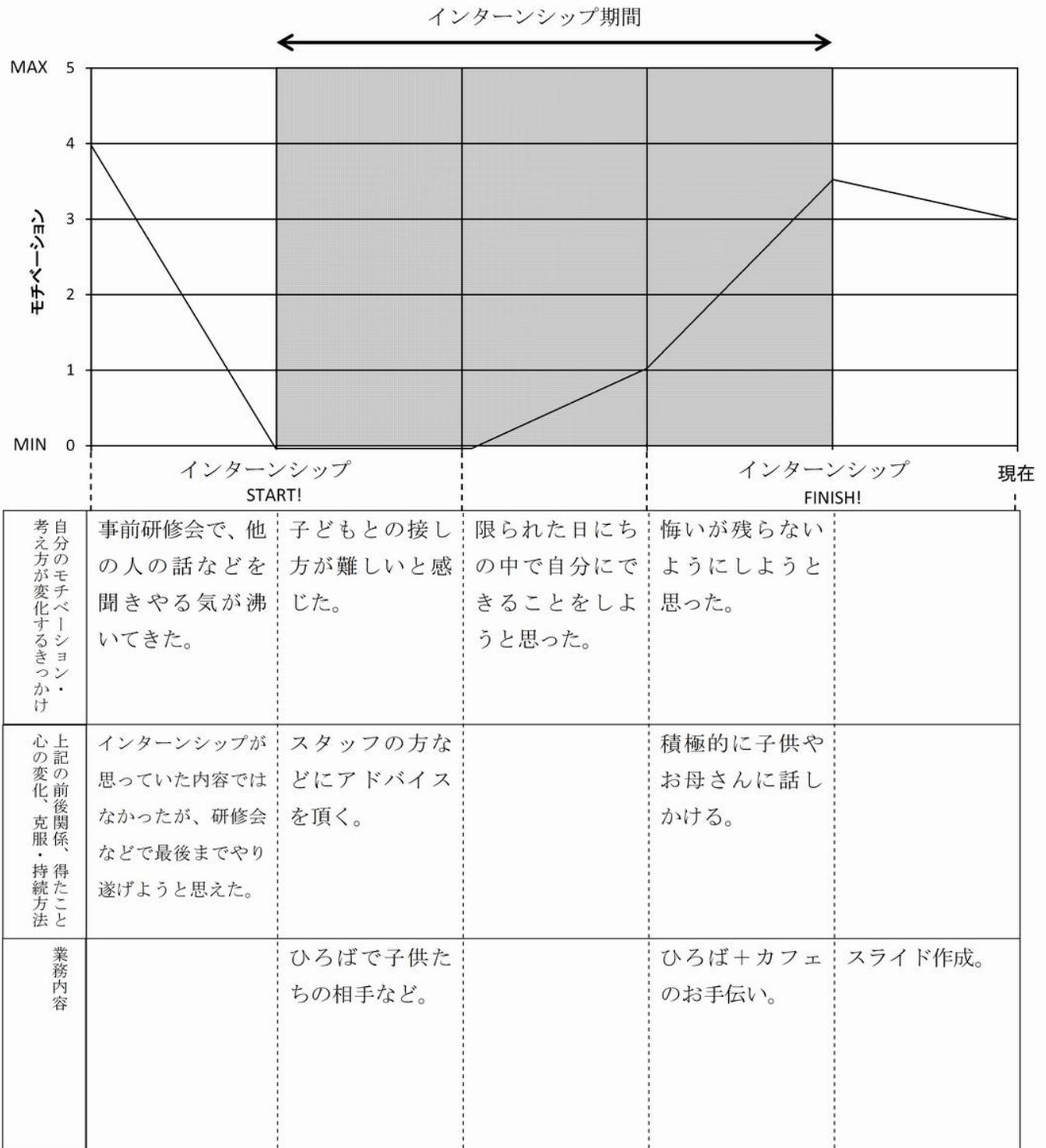
9月12日（月）業務報告
業務内容
インターホンが鳴ったら門まで親子を迎えに行き、鍵開け。来て下さった親子との交流。掃除。
具体的な成果
小さい子どもに対する苦手意識が少なくなった。
自己採点
20点
学び・気づき・課題等
初日で緊張していたこともありますが、上手く子供と関わることができなかった。今日の午前は赤ちゃんタイムで、0歳児を中心にたくさんの親子が来て下さっていたが、喋ることもあまりできない赤ちゃんとの関わりが難しいと感じた。たくさんの親子でにぎわっていたが、なかなか雰囲気になじめていない親子に上手く声かけができなかった。1日を通して、自分から積極的に関わっていく姿勢が欠けていたと思う。今日のたくさんの反省点を活かしてまずは、笑顔で接すること、積極的に関わっていくことを心がけていきたい。

9月14日（水）業務報告
業務内容
インターホンが鳴ったら門まで行き、鍵開け。子どもと遊ぶ。掃除。おもちゃの片付け。
具体的な成果
今日はこの前よりも子どもと関わられたように思います。赤ちゃんを抱っこすることができました。
自己採点
30点
学び・気づき・課題等
子ども同士のおもちゃの取り合いやちょっとした喧嘩を止めることができませんでした。ぽっかぽかの方を見ていると、仲裁するときただ喧嘩を止めるのではなく、理由を言いながら止めていました。強制的に止めるのではなく、止めさせる手助けをしていると感じました。子どもだけではなく、お母さんとも話したいのですが、どのような話をすればよいのか分からず話しかけることが出来ませんでした。子育ての経験がない私が、お母さんにアドバイスすることも出来ませんし、子育ての話を共有することができず、どのように関わればいいのか見つけることが出来なかった。今日は門まで迎えに行った時「暑いですね」ぐらいの会話しかしていなかったので、次からはもっとたくさん話そうと思います。そこから私が来て下さった親子に、ぽっかぽかに何が出来るのかを見つけていきたいです。

9月16日（金）業務報告
業務内容
インターホンがなったら門までお迎え・子供の遊び相手、掃除、おもちゃのお片づけ。
学び・気づき・課題等
幼稚園になる前までの子どもが集まっているので、0歳児の赤ちゃんから、4歳になる子までいろんな年代の子どもがいます。その子の年齢などに応じて、遊び方や言葉などを変えることが必要だと感じました。大人にとっての1歳差はさほど何も変わりませんが、小さい子どもの1歳差・1ヶ月差はすごく大きな違いだと思いました。また、同じ年の子どもでもハイハイができる子やまだできない子など、個人差もありました。

9月26日（月）業務報告
業務内容
門までお迎え・子どもの遊び相手・カフェのお手伝い。
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
今日の午前は赤ちゃんタイムで0歳の子の親子がたくさん来てくれました。そして、外部の方の「眠りについて」のお話を聞くことができました。余談ですが、夜寝るときは豆電球などもつけずに真っ暗がよいとのことでした。今日来ていたお母さんたちも、子どもの寝ることに関していろいろ悩みをもたれているようで、今日のような話がお母さんにとってすごく勉強になったようでした。途中からこられたお母さんを門まで迎えにいくとき、いつもは天気についての話ぐらいしかできていませんでしたが、眠りについての話で聞いたことを交えての話ができ、いつもよりたくさんお話しすることができました。午後からは普段通りにいろんな年代の子がやってきましたが、いつも来てくれている子で、私の名前を覚えて、呼んでくれた子がいました。最初は子どもたちとの接し方が難しいと感じていましたが、私のほうから心を開き、子どもの目線で接することが大事なんだと思います。途中からは、ぼっ cafe の方でお手伝いをさせて頂きました。ここは、すごく落ち着ける雰囲気のお店で老若男女問わず訪れるようです。残念ながら子供連れの方にお会いする事はできませんでしたが、子供連れでも気兼ねなく立ち寄れる空間でした。お絞りは市販のものではなく、手作りのガーゼ生地のものを使用し、子どもにも安心して使うことができます。このお店に来て、ぼっかぼかの広場のことを知り、来てくださる方もいるようでとてもよい連帯ができていました。インターンシップは今日が最後でした。本当に短い間で少ししか行けませんでした。子育て中のお母さんにとって情報交換・相談相手がいるこの場所が、どれほどありがたい場所なのかを感じることができました。岡山市などにはこのような場所は少ないようです。このような場所がもっと色んな所にできればいいと思いましたし、今まで気づきませんでした。街中には子育て中の方にとってたくさんの不便があることに気づきました。社会全体で子育て中の方や子どもを手助けできればいいのと思います。

モチベーションシート 石川菜緒



6. NPO 法人子ども劇場笠岡センター（愛称：ハーモニーネット未来）

法人概要

代表者名	宇野均恵
代表ブログ	http://www.kcv.ne.jp/~kodomo1/
住所	714-0081 岡山県笠岡市笠岡 5909
電話	0865-63-4955
FAX	0865-63-4950
Eメール	kodomo1@kcv.ne.jp
URL	http://www.kcv.ne.jp/~kodomo1/
目的	<p>■子どもやおとなに対して文化・芸術の鑑賞や創造活動の推進、また社会体験や社会参画の機会の拡充など、すべての人をとりまく生活・文化環境をよりよくする活動を行い、子どもの豊かな成長と安心して生活できる地域社会の創出に寄与することを目的とする。</p> <p>■行政をはじめ、企業・ボランティア・NPO 団体や多くの市民と協働することでさまざまな輪を広げ、社会課題の解決や情報発信、また地域をつくるコーディネーターをめざす。</p>
活動・業務	<p>■体験活動の企画・推進および支援事業)</p> <p>■豊かな生活環境の企画・推進および支援事業</p> <p>■情報発信およびネットワークの構築事業</p> <p>■大井児童館指定管理事業 等</p>
現在特に力を入れていること	<p>■今を生きるすべての人が自分らしく尊厳ある生活ができる地域社会の創出</p> <p>■社会課題の解決や情報発信、またすてきな地域を創るコーディネーターをめざす。</p>
今後の方向性・ビジョン	<p>■体験活動の企画・推進および支援事業)</p> <p>■豊かな生活環境の企画・推進および支援事業</p> <p>■地域のネットワーク拡大による支援の充実</p> <p>■つながりをコーディネートし、新たなコミュニティ(ふれあい社会)の構築</p> <p>■3 事業による笠岡モデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいひろば」 ・「ふれあい・たすけ愛サービス事業」 ・「安心リビング（共同住宅）による地域の拠点づくり」 等

1. インターンシップの内容を教えてください。
■子育てひろば「あおぞら」： 0～3歳在宅親子の交流体験、また絵本の読み聞かせ等の実践 ■生活支援日中一時支援： 障がい児（者）たちとの交流・支援体験 ■「自己尊重ワークショップ」の参加者募集チラシ作成 ■さまざまな雑務 等
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
■社会課題解決をめざすNPOの事業、また自身が体験しているインターンシップの仕組みも「新しい公共」のめざすべきことのひとつであるということ等を理解する機会となった。 ■チラシ作成業務： パソコンスキルの向上および、チラシ作成ポイントである記入内容・タイトル・レイアウト・見易さ（明記）等、アドバイスを受けながら、一人ですべて完成させることにより、達成感を味あう機会となった。 ■子どもたちや障がい児（者）とのふれあいを通じて、多くのことを感じる機会となった。等
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
■多くの人との出会いによって活動が広がってきた当センターの事業説明を通じて、「たすけ愛活動」の本質が理解できた。 ■「単純作業をきちっとやること、仕事の一つ一つの確認をとることの大切さを学ばせていただきました」という最後の日誌のコメントにあるように、仕事というものが多くの小さい作業の積み重ねであるということが理解できたということは、受入れる側にとっても、大変うれしいことであった。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
■インターンシップ生がくることにより、スタッフもなれた業務を改めて見直し、襟を正す機会となった。 ■インターンシップ生の得意なことを教えてもらうことができ、今後の仕事に役立った。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
100% ■当センターの目的、事業等をつたえ、仕事として社会体験の場であればと受け入れた。さまざまな業務体験、また人とふれあうことで多くのことを感じたと思う。とくに障がいのある人との交流などを通じて、自分自身の向上、人間が豊かになる機会であってほしいと強く願っている。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
■優秀な若者でした。このような若者を雇用できるNPOでありたいと強く思っている。 ■彼女のすてきな笑顔にいやされた。 ■さわやかなふんいきが職場を明るくした。

NPO 法人子ども劇場笠岡センター（愛称：ハーモニーネット未来）

インターンシップ生報告 最所順子

インターンシップ日数：14日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。

・NPOのことを知りたいという単純な思いが一番大きいです。
(直感したものは自分の将来につながると思ったので、参加を決めました。)

ほかに、

- ・人や社会に貢献するという心を学びたい (サービス精神の根底に流れているもの)
- ・仕事をするということについて知りたい、ということが参加の動機になりました。

2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？

90 / 100 %

3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。

- ・子ども劇場笠岡センターに遊びに来た子どもや、親の仕事や活動を支援するために行われている「日中一時預かり」で預けられた子どもの見守り。(一緒に遊ぶ、子ども同士が遊んでいるのを見守る)
- ・ワークショップのチラシの作成。
- ・センターに来てくれた親子に絵本の読み聞かせ。
- ・託児で預けられた数カ月～3歳の子どもの世話。

4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。

- ・コミュニケーションが苦手でも、目の前の人と仕事に無条件に丁寧に対応し続けることで、一定の成果が得られ、ある程度自分の壁を越えられるということが分かった。話してみなければ分からないことがたくさんあるのだということが分かった。
- ・ひとつの仕事に集中することで作業効率は上がることが分かった。例えば、会員に渡すチラシのセットを作るためにチラシを折る・イベントで使う食券を裁断して枚数を数える、などの単純作業は集中することで速く作業することができる。
- ・何時間・何日かしてみなければ、1時間当たりどのくらいその仕事を進められるか・どういう感覚で仕事に当たればよいか分からないことが分かった。
- ・全く足を踏み入れたことのないコミュニティに入っていくのは、何度経験しても慣れるものではないという自分の臆病な性質を改めて確認することができた。
- ・新しい挑戦に対しては、緊張、不安、期待、いろいろなものが混ざり合う。こうした判別のつかない感覚の摩擦が、結果的に成長へつながる。これからもこうした摩擦に恐怖感を抱きすぎずに新しい挑戦ができるよう、自分の身体や周囲の人間関係を大切にしたいと心から思った。
- ・インターンシップ先に通い、業務を何日か続けていくうちに、慣れや逆に経験不足から何かを見つけよう、吸収しようという気持ちが小さくなってきた。そこで、参加したときのような「モチベーションの高い状態」を維持するには、どうしたらよいだろうかと考えた。とにかく私は「やり続ける」ことだと思った。子どもや親子と触れあうなんて今までなかったことなので、戸惑うこともあるし、スタッフとのコミュニケーションも仲間と呼べるにはまだまだである。とにかく仕事をやり続けることでしか、その先を見ることができない。やり続けることでモチベーションが上がるかどうかは分からないけれども、成果が上がったり、それにより認められたりすることで、「次もやろう」という気持ちになる。インターンシップを終えてスタッフの方に「雇いたい」と言われたときは、本当にいい気持ちになった。前を向き続けて認められた時の気持ち、これがモチベーションの正体なのだと思う。そして、「やり続ける」には、業務の周りに好きなところがある(私の場合、センターが海の近くにあることや、建物が素敵なこと、子どもがかわいいということ) こともとても大切であると思う。

5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

- ・お昼休みには、20名ほどのスタッフと一緒に給食を食べます。その給食はごはん、肉もの、汁もの、野菜が毎日バランスよく作られていて、しっかり食事をする事の大切さをとても感じました。
- ・ワークショップのチラシ作成にあたり、そのワークショップの内容について調べていました。その講演者の方の書かれた本には、「じぶんをほめよう」と書いてありました。その言葉が印象に残っています。
- ・インターンを終えて理事長やスタッフの方とお話をしたとき、「最所さんみたいな人が雇えたらいいね」と言っていただきました。自分も少しは人に必要とされることができるのだ、ととてもうれしかったです。

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。

- ・社会的に自立して暮らすのが難しい人は、どこにでもいる。そういう人たちがほっとできる場所が、日本にどれくらいあるのか、とても気になりました。

7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。

- ・私の強みは臆病なところだと思います。人を傷つけることや規則の意味や人の将来をないがしろにすることについて、とても敏感であるように思います。必要以上に卑屈にならず、強みにしていきたいです。
- ・「若いインターンシップ生」は、それがすでに役割でした。「新人」というファクターは経験不足という意味で本人にも周りにも負荷がかかりますが、周りが新しいファクターに学ぶこともできるのではないかと感じました。つまり、明確な役割がないため、役割と役割のあいだの真っ白な感覚を持ち合わせることができ、そういう存在と勤務を共にすることで受け入れ先の方はいつもと違った目線で業務を見直せるのではないかと感じました。インターンシップの意味を少し理解できたと思います。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

- ・仕事の上での人と人との間には役割がかなりはっきりと存在することを実感した。単に役職だけではなく、ムードメーカーであったり、根回しの達人であったり、若者という立場であったり、前だけを見つめフィードバックを受ける役であったり、当人に合った役が回ってくるようであった。
- ・子どもを見ていて、大人も子どももそんなに決定的な違いはないように感じ、教師、社会人など大人とラベリングされる大人に対して、別の見方ができるようになった。それに派生して子どもの頃のコンプレックスや趣味などによって職業（生きるための収入を得るために何に大半の時間を割くか）の選択がなされ、生涯を通してその感覚と二人三脚していくのだと考えるきっかけになった。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

- ・中間報告や実際のインターンシップでNPOは本当にいろいろなものがあるのだと思いました。しかし、共通しているのは、利益を追求する経営（企業経営）では実現が難しいであろう事業をしていることです。インターンシップに入る以前は、社会貢献というくらいだから、ボランティアのようなことをしているのだろうと思っていました。インターンシップを終えた今、競争社会から一歩引かざるを得ない人の受け皿として、やはり必要であると感じています。また、地域活性化にも必要不可欠なファクターであると思うようになりました。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

インターンシップは、自分が人や社会に対してどんな役割を持ちたいか考えたい人にとっては絶好の機会だと思います。

日常業務報告 最所順子

9月5日（月）業務報告
業務内容
◎理事会・・・7月～8月の業務報告 ◎スタッフ会・・・個人情報保護の方針について話し合い ◎古紙回収 ◎日中一時支援の見守り
本日の目標
「名前を覚える・しっかり聞く・なるべく丁寧に対応する」
自己採点
65点
学び・気づき・課題等
一日の業務において、気をつけて顔と名前を覚えようとした。数人にじっさいにお名前を伺った。首から下げる名前カードがあるが、子どもがひっぱったりするので着けていないのだそう。日中一時支援で預けていただいていた子どもたちの名前は、5人全員覚えることができた。理事会では、面談や事前の調査ではわからなかった、事業の詳細（収益、参加、利用人数など）をしっかりと聞くことに専念した。 目標が達成できたとは言えないが、少なくとも、「これは意識したい」と思ったことをじっさいに意識できた。できれば20数名のスタッフの方全員のお名前をこれから覚えたい。 話を「聞く」ことはできて、尋ねるところまでいかなかった。「なるべく丁寧に対応する」はクリアしたと思う。これを続けていきたい。 子どもたちと遊んでいて思うことがありました。子どもはわからないことが多いです。だから、ほめたり、よろこんでいることを伝えたり、ダメなことを教えたり、とにかく人生の先輩として「育てる」という意識が、押しつけではなく必要なのだと思いました。今日はただ遊んでいるだけ、という気がしました。子どもと同じ目線を持つことは大切ですが、子どもから成長した大人としての役割は、なんだろうと考えさせられました。あすから、子どもを若い大人として見守りたいです。 こうした体験から、「役割」について考えるきっかけをもらいました。

9月6日（火）業務報告
業務内容
チラシ作成…乳幼児を育てる母親は、不安、孤独。子ども劇場岡山県センターが手塚千砂子さんを講師に招き、そんな母親たちに対して、「自己を尊重することの大切さ、トレーニング」を知ってもらうワークショップを2011年11月に開催する。子ども劇場笠岡センターが同じ講演会を主催したことがある。その「自己尊重の大切さを知ってもらう」ワークショップのチラシ作成を任された。
本日の目標
「分からないことは尋ねる」「自分の仕事をコツコツと」昨日に引き続き「丁寧な対応」
自己採点
55点
感想・目標設定の評価&達成度・次回からの取り組み方
ワードによるチラシ作成を任された。いくつかハードルを挙げるとすると、初めて触るパソコンの操作・スカイプでのファイル送信・チラシ作成に必要な会場、申込方法、主催する団体のプロフィールがなかなか揃わなかったこと。 振り返れば、会場や、申込方法、主催のプロフィールの情報が小分けに届くことに苦労したと思う。なぜなら、なにを記載すればよいかわからないから。情報が分かり次第小分けに届くということに関しては、みんなで仕事をしているし、主催が別団体なので変えようがない。しかし、どのような情報が欲しいかは、考えることができる。この日の業務で得たことは、「初めての仕事でも、どのような情報が欲しいかは考えることができる」ということかもしれない。気付けば、初日でも「スタッフの方や来てくれている子どもの名前は知りたいな」と思っていたことと重なる。 この日は初めてが多すぎて、かなり疲れてしまった。初めてのことは、戸惑うことが多いのは仕方がないと思う。初対面で緊張するのは当たり前で、むりにフランクにしなくてもよい。わかっていても、身体は疲れるものだと思う。チラシにおいて重要な、ターゲットに語りかけるような文面や、見やすいレイアウトのことも考えていたので疲れるのは仕方ない。終業17時に近くなるころには、前向きにいた方がコミュニケーションも仕事もしやすいので、変に委縮しなくてもいいように「こだわらなくてもいいところは、こだわらない」を意識するようになった。7日の業務は「しなくてもいいことはなにか」を意識しようかな、と考えながら就寝してしまっ

9月7日（水）業務報告
業務内容
昨日に引き続き「自己尊重の大切さを知ってもらう」ワークショップのチラシ作成
本日の目標
なし。
自己採点
70点
感想・目標設定の評価&達成度・次回からの取り組み方
<p>二日目の勤務では、初めて続きでかなり身体と頭が疲れていた。しかし、仕事に取り組む前に「このように取り組もう」という目標を立て、なるべく実行したので、疲れていても身体には少し浸透していると思うので三日目は目標を立てなかった。今日は、海沿いにある子ども劇場笠岡センターのいい風を感じながら作業ができたらいいな、と考えていた。台風のときは心配だが、本当にいい場所にある、いい雰囲気の建物で（昭和5年からあるらしい）、気に入っている。給食もおいしい。スタッフの方も、優しい方ばかりで、パソコン操作や来客の方のことも尋ねれば快く教えてくださる。</p> <p>この日は来客が多く、人の出入りが激しい一日だった。つまり会議などがよくあった、ということでスタッフの方もお忙しそうにしていた。コーヒーやお茶、お菓子なども頻繁にお出ししていた。今日の業務ではチラシに書くべき情報が揃っていたし、「自分の仕事をあるラインまでこなすことが基本なので、こだわらなくてもいいことはこだわらなくてもいい」と決めていたので心に余裕があった。心にゆとりがあったので、お飲み物を変えて差し上げるという配慮もできた。</p> <p>終業後、いつもは一斉に帰宅するスタッフの方々数人が、理事長を囲んで「気付き」について話していた。温度変化に繊細な子どもがいる。周りは寒くても、「暑い」と言う。そんな子どもにどのように接するかということ。子どものささいなしぐさに「気付き」、周りの子どもたちとどうすれば一緒にいられるかという方法に「気付く」。方法にマニュアルはないので、手段はスタッフの「気付き」による。NPOでも営利団体でも、「同じことに気付ける共通認識（＝スキル）」が重要だが、「会員で成り立っている」NPOにおいては、とりわけ意味のあることなのかもしれない。</p> <p>目標がない日もいいな、と感じた。ワードでチラシを作ることや、パソコンのシステムに少し慣れてきたので、あすも引き続き、わからないことは教えてもらい、メモをとり、自分の仕事をコツコツと行いたい。</p>

9月8日（木）業務報告
業務内容
引続き、子育て中の親にむけたワークショップのチラシ作成。
具体的な成果
「チラシの完成形」がほぼ決まった。記載の内容を理事長と他団体の方とメールで相談しつつ進めていたチラシ作成。片面刷、三箇所ある会場の地図は記載しないこと、が決まった
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
<p>二度のチラシ作成業務のなかで、Wordでの行間設定やテキストボックス等細かな扱いについて教えていただいたこと、記載内容も決まったことで、作業は順調に進んだ。</p> <p>前日に「会場が三箇所あり情報が多くなるため両面刷仕様になる可能性がある」ことがわかったが、わたしの一存で両面刷にはできないので、理事長に相談した。このワークショップのチラシ・詳細に関しては、理事長を通して他団体の方に相談しなければならない。つまり質問から回答までの時間が数時間かかるということもあり得るということである。その空白が怖いので、なるべくすぐに的確な質問をしたいと思っていたが、思うようにうまくいかなかった。</p> <p>すぐに思いを聞けない環境で、何をすべきかということ、作業を進めながら、先方が「どのようなカタチのチラシを求めているか」を探る質問を挙げることであった。すなわち、雰囲気や色みなど個人の裁量に任せられるようなことではなく、記載情報について・印刷方法についてである。しかしながら、作業を進めながら質問を考えることが思いの外難しいことであった。</p> <p>いくつか気付いたことがある。よい仕事は勤務時間のなかだけで行われるものではないのだと思う。よい仕事をしたいと思うひとは、生活のなかで業務に関するキーワードを探すようになるのだと思う。プロフェッショナルというのは、そういうものなのかもしれない。</p> <p>作業をしながら質問を考えることの難しさについても、コミュニケーションに臆することがなければ、だれかに気軽に相談し、なにが分からないのか分かり、おそらく作業効率が良くなるのだと思う。</p> <p>今回は、相談してもよいタイミングを見計らって小さなことでもこまめに確認していきたい。無理のない範囲で、業務外のことも気になること、小さなことを聞くことにしたい。</p>

9月12日（月）業務報告
業務内容
引き続き、子育て中の親を対象にしたワークショップのチラシの作成。
具体的な成果
タイトル・ワークショップの内容・会場、日時、問合せ先などの、記載事項のレイアウトは90%確定。ワークショップ会場では、親が話を聞いている間小さな子どもを預かる「託児」が設けられている。その託児希望の申し込み事項について、理事長に確認をとっていただくことをお願いして本日は終業。感覚的な成果としては、スタッフの方との距離が以前より近くなったこと。
自己採点
80点
学び・気づき・課題等
<p>本日の業務を通して、仕事上での人と人との距離感の大切さを実感した。遠すぎても、近すぎてもいけないのだと思う。人の名前を覚える、丁寧に対応する、そのことが業務上で大きな潤滑油の役割を果たしていると思う。</p> <p>具体的な業務上の成果として、以前の自分と比較すると本日の仕事効率は良くなったのではないと思う。引き続きチラシの作成を担当しているが、正直なところ、チラシの作成にどれほどの時間がかかるものかは分からない。普段チラシ作成に携わっている方と比べれば遅いのは間違いない。「締め切りはない」と言われていることもあり、自分の仕事効率を軸に、以前のそれと比較して評価することにしているが、良くなったと思う。</p> <p>本日は、普段イベントや公演のチラシ作成をされているスタッフの方2名にアドバイスをいただくことができた。「チラシは大体フリーペーパーのように上から引き抜くことが多いので、下半分は見えない。上半分のインパクトが大事」ということ、「申込方法の見やすさ」、「内容のわかりやすさ」が大切、など。分かりそうで、分かっていなかったことに気付かせていただいた。もちろん word の技術的な未熟さというハードルが大きいが、どこに力を入れればよいか分からないために、作業が少しずつ滞っていたことを実感した。</p> <p>「普段チラシ作成に携わっている方がだれか」尋ねて参考資料（ほかのチラシなど）をみせていただければもっと早く作業が進んだ。この反省点は、他の業務でも、応用できる考え方だと感じる。初心者が初めての現場で「だれになにを聞けばうまいか」ということをつかむのは、おそらく一番難しく大切なのではないと思う。その会話を早くするためにも、人と人との距離感をつかんでおくことは大切なのだと思う。</p> <p>課題は、団体に入り込み、慣れることでダレないこと。次回も新しいことを見つける気持ちでいたい。</p>

9月13日（火）業務報告
業務内容
引き続きワークショップのチラシ作成。昨日指摘された「1、紙面に強弱がない」「2、申込方法の詳細修正」「3、問合せ先にメールアドレスを追加」「4、ワークショップの内容の記載をわかりやすく」という点を修正・変更した。
具体的な成果
1～4の修正・変更を完了。あす、ワークショップの主催をされる県センターの事務局の方に確認をとる予定。
自己採点
90点
学び・気づき・課題等
<p>本日は、技術面で得たものがありました。「ワークショップの内容を伝える技術」にまつわる気付きです。ひとくちにワークショップの内容と言っても、ワークショップの性質、講師の方によってその内容はさまざまです。しかしすべてのチラシには「ターゲットに、〇〇を伝える」という使命があります。つまり、チラシに役割を果たしてもらうために「だれに、なにを伝えるか」を知って「なに」の部分で自分の中でろ過することがポイントかもしれません。今日は『なに』の部分でどうやってろ過するかを少し学びました。</p> <p>「講師の方の考え方、伝えたいことを知る」「なぜ伝えたいか、その考え方の意味を知る」そこから、「講義内容の性質」が分かります。次の段階で、やっと「ターゲットに対して伝えるべきこと」が見えてきました。今回のワークショップでは、「じぶんをほめよう」ということがテーマになっています。伝えたいことがはっきりしている講師の方ですので、チラシのワークショップ説明文も作りやすかったと思います。</p> <p>あすは午前中絵本の読み聞かせをすることになっていますので、テンションを絵本・子どもモードにしたいです。</p>

9月14日（水）業務報告
業務内容
1～3歳の子どもへ、絵本の読み聞かせ。絵本の紹介文書き。チラシのまとめ作業。
具体的な成果
1～2歳くらいの子どもに絵本を聞いてもらった。母親にも絵本を知ってもらった。
自己採点
65点
学び・気づき・課題等
<p>業務報告書を書き込むのが遅くなって申し訳ありません。インターンシップをするまえから、「子どもと触れあうことを通じて、自分がなにを発信すれば周りも自分も心地よいか学びたい」と思っていました。14日、15日の業務を経て、私は子どもになにを発信すべきだったのか、と考えました。子どもに対して私が明らかに持っているのは、役割だと思いました。しかし、役割と役割のあいだには私の気持ちしかなないので、「好き」だとか「認めている」とか、最終的にはそういう気持ちを持っていることが大事なのだと思います。子どもに対してその気持ちを上手に伝えられるようになりたいです。書いていて気付きましたが、「子どもがかわいいという気持ち」だけでも足りないのだと思います。やはり、いけない・いい、のルールを理由も合わせて教える役割が大人にはあると思います。</p> <p>14日の業務では、私の役割は絵本の読み聞かせでした。当日、子どもたちの年齢や反応などを見て、事前に選んでいたストーリーのある絵本から変更、文字の少ないシンプルな絵本を読みました。子どもたちの興味をまずまず集められたと思いますが、私の感情表現がいまいちだったと思います。最初から最後まで一貫したテンションで読み上げられたことはよかったです。絵本の中身を事前に読み込まなかったことが反省点です。</p> <p>反省点はありますが、だいすきな絵本を久しぶりにじっくり読めて、とても楽しかったです。子どもたちにも、もうちょっと大きくなったら自分の好きな絵本を見つけてほしいです。</p>

9月15日（木）業務報告
業務内容
通常、センターで0～3才児の親子に開いている「子育てひろば あおぞら」。火曜・木曜は笠岡市市民活動支援センターにて、「移動ひろば あおぞら」を開いている。移動ひろばの活動に参加し、子どもの見守りをした。午後は、主にチラシまとめ作業。
具体的な成果
インターンに入って初めて、10名以上の子どもと触れあう。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
<p>15日は「移動ひろば あおぞら」に子どもの見守り役として参加させていただきました。12人の子どもが来たのですが、いつもセンターで見ている2～7人程度の人数とは比較になりません。大人しい子もいれば、少し乱暴な子もいて、どの子と遊んでも面白いのですが、遊んでいるだけでは他の子に目を配ることができないので、そのさじ加減が難しかったです。また一番困ったのがオモチャの取り合いの仲裁です。一人がずっとオモチャを独占すると、他の子が触りたくても触ることができない。理屈の通用しない子どもに、教えたり叱ったりするのはとても難しいですが、その分勉強させられます。いろいろと方法を考えて、オモチャを手放そうとしない子に貸してあげてとお願いしましたが、受け入れられず……。小さな子どもをどこまで叱ったり教えたりしてよいのかまだまだつかめないので、他のスタッフの方の接し方を見たり聞いたりして、上手な方法を見つけたいです。オモチャを譲れない子どもには、譲れば本当にメリットになる魅力的なことを代わりに出すことが必要だと思います。（0～3才児にはまだルール教えるのは早いかもしれません。）子どものためになることは、おそらく成人した私たちの行動にもためになることなので、積極的に学びたいところです。</p> <p>午後は、主にチラシのまとめ作業を行いました。チラシを数十枚まとめて紙帯でまとめる作業なのですが、雑な私は紙帯を緩めにとめてしまっていました。雑な留め方を見たスタッフの方に、配布する人が手にとってもバラバラにならないようにするには、紙帯をきつめに留めるべきなのだ、と教えていただきました。教えていただいてからは、キッチリ・速い、を意識して作業を行いました。紙帯を留める理由をあまり考えていなかったのが教えていただいてありがたかったです。</p> <p>チラシ作成業務が終了し、正直なところ上昇意識が薄れているのを感じていましたが、仕事は自分で見つけなければ気づきの吸収率が低くなると思います。役割を見つけるということが、課題かもしれません。残り実質7日間、がんばります。反省点はありますが、だいすきな絵本を久しぶりにじっくり読めて、とても楽しかったです。子どもたちにも、もうちょっと大きくなったら自分の好きな絵本を見つけてほしいです。</p>

9月21日（水）業務報告

業務内容

「子育てひろば あおぞら」に来ている子どもの見守り。「日中一時支援」に来ている子どもの見守り。合間に、「新しい公共」の宣言のような書類を拝見していました。

具体的な成果：子どもたちとの距離感が次第につかめるようになってきたと感じます。

具体的な成果

子どもたちとの距離感が次第につかめるようになってきたと感じます。

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

「子育てひろば あおぞら」とは、0～3才児の親子や“プレママ”が集まる場所です。集まってすることは、子ども同士で遊ぶことだったり、親同士で育児の話をしたり、子ども劇場笠岡センターのスタッフの方が親の抱えている問題を見つけることなどです。さまざまな人が集まればさまざまな会話が生まれ、家の中だけで処理しなくてはならないという負担が軽減されると思います。じっさいに、あおぞらに来られる親子は多く、私の9月からのインターンシップ期間中に、初めて登録に来られるお母さんがいらっしゃいました。「日中一時支援」とは障がいのある子どもを数時間預かるという取り組みです。家族が仕事などで手が離せないときに、その負担を減らす支援です。

取り組みの背景を知識として知っていても、じっさいに体験しなければ分からないことがたくさんありました。あおぞらに訪れるお母さんたちは、子どもを守る立場なので、どこか強い表情をされていますし、日中一時支援で預けられる子は障がいがある子と言われますが、触れあうとふつうの子どもだな、という感じです。それぞれによいところも悪いところもあります。

母親（父親）や、障がいのある子を持った家庭は、外出することやアクティブに動くことに関してハードルが比較的高いと思います。そうしたハードルを低くするために、NPOが存在するのかもしれませんが、また、会員が求めるなら「ゆるさ≒細やかさ」が保たれるのがNPOのいいところなのかなと思います。

「新しい公共」という宣言のような文章を拝見したのですが、「公共」に携わる団体（NPOだけでなく）が事業にたいして妥当な評価を返されることが、上記のように閉じがちになってしまうひとびとが役を得ることにつながるのだと思います。インターンという立場も、団体の透明性を高めることによって、評価につなげるための役を担っている気がします。

ばらばらな文章になってしまっていて、申し訳ありません。先日書いた、こどもの仲裁に関して学んだことがあります。今日もオモチャの取り合いがあったのですが、スタッフの方はA君にしばらくそのオモチャを持たせたあと、Bちゃんに「貸して」と言わせていました。（「ありがとう」も）。A君はもちろんすんなり渡すわけではないですが、スタッフの方はいっしょに別のことをしよう、と誘ってあげていたので、「なるほど」と思いました。正解はないですが、少しずつ貸す・譲るの練習をさせるという点で、勉強になりました。

9月22日（木）業務報告
業務内容
<ul style="list-style-type: none"> ・23日に行う自然体験イベントの準備（お菓子袋詰め作業・米袋詰め作業など） ・預けられている子どもの見守り
具体的な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子袋詰め作業はスタッフの方2名と私とで分担して行きスムーズに進んだ。 ・ある子どもに対しての見守りで何に気を付けるべきか、教えていただいた
自己採点
55点
学び・気づき・課題等
<p>22日の業務は、イベントの準備と子どもの見守りでした。子どもの自然体験イベントを翌日に控えた22日は、スタッフの多くが忙しそうにしていました。子どもの人数・見守りスタッフの人数自体はいつもと変わりませんが、スタッフの方の作業がありそうなのでもしかしたらフォローが得られないこともあるかもしれないと思ったので、子どもたちに目を配りながら相手をすることに気を遣いました。預かりには、何度も会っている子、2回目に会う子、この日初めて会う子が来ました。やはり、2回目に会う子と初めて会う子には、その子がどこまでもを理解できていて、どういう子なのか分からないので、相手をするのは少し戸惑いました。</p> <p>この日得たのは、子どもに対しての学びです。同じ年齢の子でも、様々な子がいます。初めて会った小学校低学年の女の子に対して、見た目はいろいろなことができそうに見えるがそうでもないのかもしれない、と感じました。子どもに対して、ある程度外見で中身を推測してコミュニケーションすることは仕方ないことなのかもしれませんが、決めつけてはいけないのだと思います。逆に、できないように見えてもできることもあります。ものを理解できるのにはいけないことをしてしまうこともあります。</p> <p>子どもを他の子と比較することは社会性を身につける上で大事だと思いますが、昨日のその子より今日はどうだったか、という点に注目することを忘れたくないと思いました。</p> <p>課題は、子どものために、はっきりと分かりやすい態度で接することです。どう接すればよいかつかむためにも、来てくれる子どもたちのことをもっとよく知りたいです。</p>

9月26日（月）業務報告
業務内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守り…午前中は3名の（0～2歳半）子どもの見守り、午後は4名の障がいを持った子どもの見守り、寝かしつけ。 ・「子ども条例」についての参考資料検索
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
<p>具体的な業務成果はないのですが、勤務を重ねるたびに子どもっていいな、と思うようになりました。かわいいだけではなくていろんなことを考えさせられます。今日は、漠然と、子どもがなにかに甘えるということがキーポイントになるのかな、と思いました。小さな子どもは欲に素直なので甘えられるひとには甘えるようです。（ある程度の年齢まで成長した子どもが）甘えただけ甘えることは現実的にはできないし、本人も周囲もストレスがかかると思うので、必要なのはバランスなのだと思います。子ども劇場笠岡センターでのコミュニケーションは、どの部分を担っているかということ、機会をみてスタッフの方とお話ができたらいいなと思います。スタッフの方と子どもについて、NPOについて、もっとお話をすることが課題です。</p>

9月27日（火）業務報告

業務内容

- ・午前中は「移動ひろば あおぞら」 笠岡市市民活動支援センターにて子どもの見守り。
- ・「子育てひろば あおぞら」登録者の方に送付するチラシのセットを作る作業。
- ・理事長の宇野さんに、藤井さんと子ども劇場笠岡センターについての話を聞きました。
- ・スタッフ会（各々の仕事の報告・連絡・相談、ミーティング）。

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

この日は、理事長の宇野さんに子ども劇場笠岡センターのことをお話ししていただきました。子ども劇場笠岡センターの沿革や事業は面談の際にもお聞きしましたが、この団体がなぜできたか、使命はなんなのか、インターンシップに来させていたからよりはっきりとわかるようになりました。

まず、子ども劇場笠岡センターが設立された理由について知ること、で、「子ども劇場」という名前以上に高齢者や障がい者支援活動をしているわけが分かりました。団体を作ろうとしたきっかけは、4人の子どもを持つ母親を助けたいと思ったことでした。詳しい状態はわかりませんが、その家の子どものひとりが障がいを持っており、子どもの送り迎えなどがとても大変そうだったそうです。その母親が抱えている問題は、さまざまな人が抱えている問題と重なっていました。つまり、子ども劇場笠岡センターのターゲットは、子どもではなく、障がいのある人ではなく、ずっとその母親一人なのです。私は、団体が設立されるきっかけになったこのお話を聞いて単純にすごくかっこいいと思いました。かっこいいだけではなく、マーケティングの面から言っても、組織をまとめる手法から言っても、理にかなっていると思います。上記の母親のような孤独で不安な気持ちはだれの心にもあるため、その母親の問題を解決することは逆にすべての人の安心につながるので利用者の心を掴むことができるし、使命が絞られていることでスタッフの方の仕事の目的が理解しやすくなるからです。

また、宇野さんのお話では、子ども劇場笠岡センターは親に世間や子ども劇場の価値観を押し付けないというスタンスでいるそうです。子どもに教えるというよりは、子育てについて親に勉強してもらおうということなのだと思います。先日の課題としてあげていた「スタッフの方とNPOや子ども劇場が子どもとのコミュニケーションでどの部分を担っているかということをお話したい」ということが叶いました。センターでは、子どもとのコミュニケーションはスタッフひとりひとりに任せていますが、親には基本的に「こうすべき」などのアドバイスはしないのです。

午前中は「移動ひろば あおぞら」に行き子どもの見守りをしましたが、だいぶ子どもとのコミュニケーションに慣れてきました。子どもが笑わなかったり、同じことばかり繰り返しても気にしないで受け入れていると、子どもの方が緊張を解いてくれるようでした。なついてくれる子もいて、うれしかったです。

9月28日（水）業務報告

業務内容

- ・「おはなしの会」絵本読み聞かせ
- ・子どもの見守り
- ・ホームページに掲載する内容に間違いがないか点検
- ・パンフレットを35セット作る

具体的な成果

ホームページに掲載する10月のイベント情報を、情報誌やチラシなどと照らし合わせて間違いがないか点検する作業を行いました。「載せる予定の情報」→「正しい情報」の順に見る方法は間違いが発見しやすかったです。

自己採点

80点

学び・気づき・課題等

インターンシップ期間残すところあと一日でした。27日のスタッフ会で少しお別れ会をしていただいたときにこれまでの感想を言う機会をいただきましたので、この日はスタッフの方と前にも増して距離が近くなった気がしました。一か月という短い期間でしたが、子ども劇場笠岡センターに愛着が湧きましたし、名残惜しかったです。

この日は二度目の絵本の読み聞かせをさせていただきました。子どもに注目させるために歌に合わせた「手遊び」というものをするのですが、その歌も少し覚えていましたので初回よりはスムーズに読み聞かせ役をできました。この日は9月生まれの子の「たんじょうび会」だったので、いつもの倍ほどの16人の子どもたちが来ていました。例によっておもちゃの取り合いが起りましたが、お母さんと一緒に「10数えたら交代してあげようね」と言って子どもに数えさせました。10数えて交代の意味がわかっているかどうかはともかく、10数えること自体がなぜか楽しそうな子もいました。代わってあげることや、代わってあげるという意味も、少しずつ分かっていけばいいと思います。大人の私も代わってあげることの意味は簡単に言葉にできません。伝わるように説明することができればよいのですが、経験によって習得することがおそらく多いです。とにかく子どもには言葉でも経験でもよいので少しずつ分かってもらうことだと思います。

子どもの見守りの他の仕事では、ホームページに掲載するイベントの日時、場所、対象など記載する予定の情報が間違っていないかどうか、普段は直接仕事を振られることのない方から、点検作業を頼まれました。通算13日通って、スタッフの方と信頼関係ができてきたのかな、と感じた瞬間です。インターンシップに行かせていただくにあたって目標としていたことが達成できたような気がしました。

9月29日（木）業務報告

業務内容

- ・午前中は子ども劇場笠岡センターで行われる講習会（「子どもの身体・脳・心を育てる」）に参加するお母さんたちのために、託児された子どもたちの見守り
- ・10月2日に行われる子どもレストランのチケット作り
- ・日中一時支援の託児の子どもたちの見守り

自己採点

99点

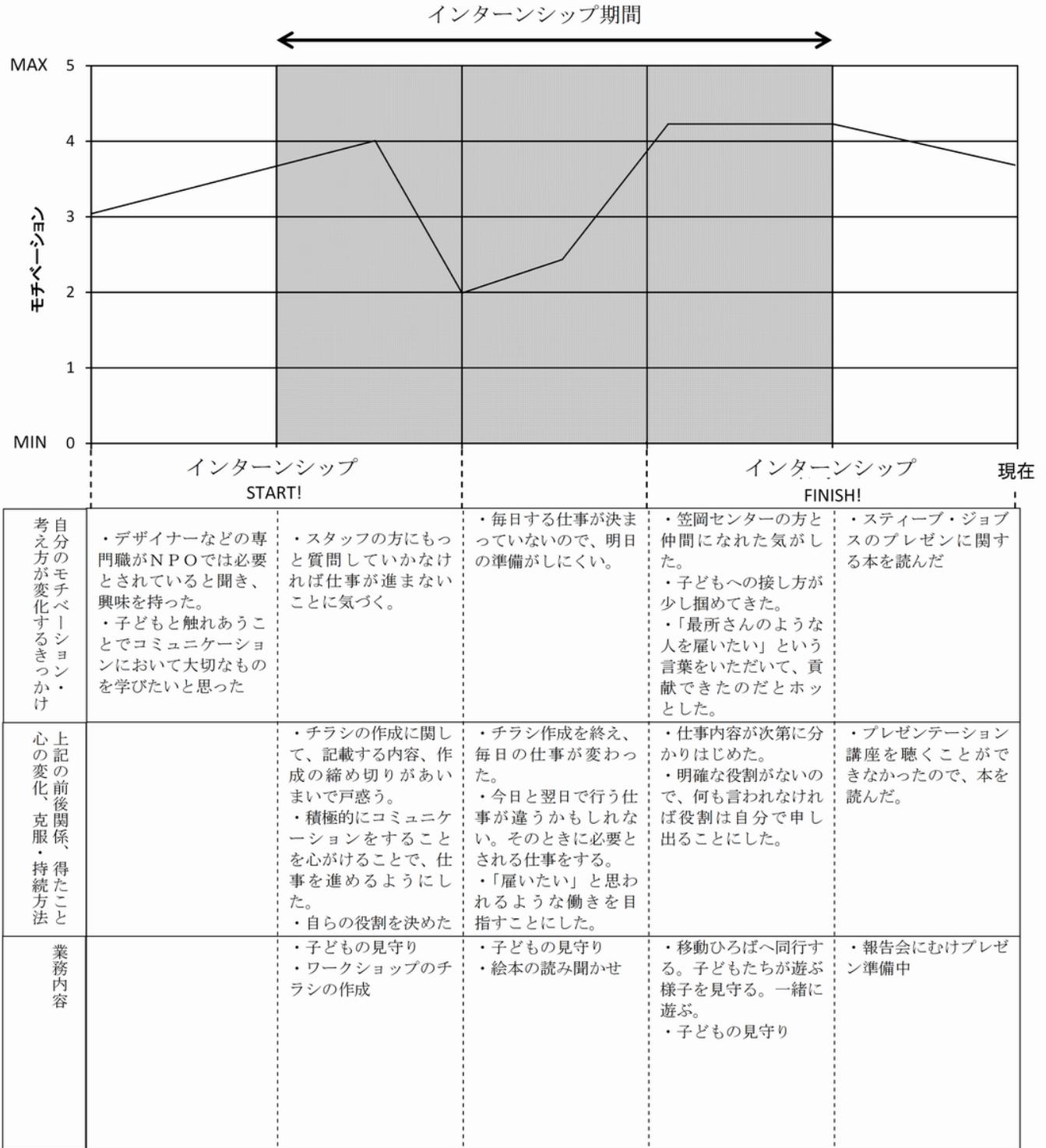
学び・気づき・課題等

29日は子ども劇場笠岡センターで開かれた親のための講習会がありました。親は講習を受ける間子どもたちを預けるので、スタッフは同じ建物の一階で13人の子どもの世話をしました。この日は通常のスタッフでは手が足りないので、数人の助っ人を呼んでの見守りとなりました。お母さんの姿が見えず泣き出す子、眠くてぐずる子、平気で遊ぶ子、泣かないけど不安がったりする子など、いろんな子がいました。スタッフひとりにつき一人の子を任せられていたので、私もひとり子どもを割り当てられました。通算二週間インターンシップで子どもと触れあっていたので、子どもが泣いたり、不安そうにしても以前より戸惑うことはありませんでした。とにかく子どもが安心することがいちばんなので、こちらが不安にならないことを心がけました。2,3歳のしゃべることができる子は、ほとんど理屈のある言葉を話しません。しかし、気持ちはとても素直なので言葉の裏にははっきり不安が現れていました。以前なら言葉どおりにしか受け取ることができなかったと思いますが、二週間子どもと触れあってきたせいか、この日は、不安なんだな、とか、早くお母さんに会いたいんだな、とか、言葉や雰囲気ですうした気持ちを受け取ることができました。気持ちを隠さない子どもの雰囲気はとても自然だと思いました。気持ちを素直に出せることが自然であるからこそ、その環境が子どもの周りにはあることは、健康な成長のために大事なことだとも思いました。それは未来の社会が健康な成長をするということだとも思います。

9月29日は最後の勤務でした。この一か月を通して、スタッフの方と勤務の上で信頼してもらうことで距離を縮めることができたと感じましたし、子どもとのコミュニケーションを通して人と接する上で大事なことを学ばせていただきました。仕事における人間関係の在り方、純粹に人と人との間にある大事なことを、両方学ばせていただいたと思います。子どもとコミュニケーションすることで、自分の子どもな部分と大人な部分、大人になり切れていない部分を見ることができました。大人になり切れていない部分が弱点であり、強みでもあるのだと思います。弱点は、仕事以外では受け身体制であることです。

本当によい体験でした。藤井さんをはじめ、NPOインターンシップの機会を設けて下さった方々、インターンシップを受け入れて下さった子ども劇場笠岡センターの方々に感謝します。今後も子ども劇場笠岡センターに助っ人として呼ばれることがあればお手伝いに行く予定です。「10月も手伝いに来て」「こういう人が雇えるようになったらいいね」など言ってもらえたことがうれしかったです。

モチベーションシート 最所順子



7. NPO 法人てっちりこ

法人概要

代表者名	岡本勝光
代表ブログ	—
住所	708-0504 岡山県鏡野町奥津川西 16-2
電話	0868-52-0700
FAX	0868-52-0700
Eメール	n.p.o@mto.ne.jp
URL	http://www.mto.ne.jp/n.p.o
目的	この法人は、過疎化高齢化社会に対して、観光及び福祉に関する事業を行い、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする。
活動・業務	(1)環境美化保全に関する事業 (2)特産品開発研究に関する事業 (3)高齢者・障害者の福祉に関する事業 (4)公共施設の管理運営 (5)観光客誘致に関する事業 (6)その他の事業 1 特産品の販売 2 公共及び公共性事業
現在特に力を入れていること	過疎化高齢化地域での生活が都市部との格差が広がっていて住みにくい地域となっており、民間・行政との連携を行ない、元気な高齢者と協働して、生活基盤が低下しない様な取組みをする。
今後の方向性・ビジョン	地域住民とのタイアップで元気になる地域を目指す。

NPO 法人てっちりこ
受入団体報告 岡本勝光

1. インターンシップの内容を教えてください。
1. 特産品化など作業を通じて人との交流を深める 2. 生産から加工の手作業による付加価値をどう販売に結びとけるか？ 3. 中山間地域と都市部の生活の違いを実感する（買い物支援アンケート実施）。
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
1. 生産者や社員とのコミュニケーションが旨くいった 2. インターンシップに作業を教えることで社員の指導力を養成できた 3. 加工方法を考えるキッカケとなった。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
1. 期間が短ったので、作業を体験していただく様な事になった。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
1. おもてなしの雰囲気づくりやサービスの仕方など、教える事の大切さを実感した。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
1. 社員と同行作業が多くて、個人としての達成度は不明 しいてあげれば、生産者や係わった人からの情報は100%
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
1. 担当部署の責任的作業を任せられるくらいの業務を与えていなかった事に反省している。

NPO 法人てっちりこ
インターンシップ生報告① 中村隼人
インターンシップ日数：2日

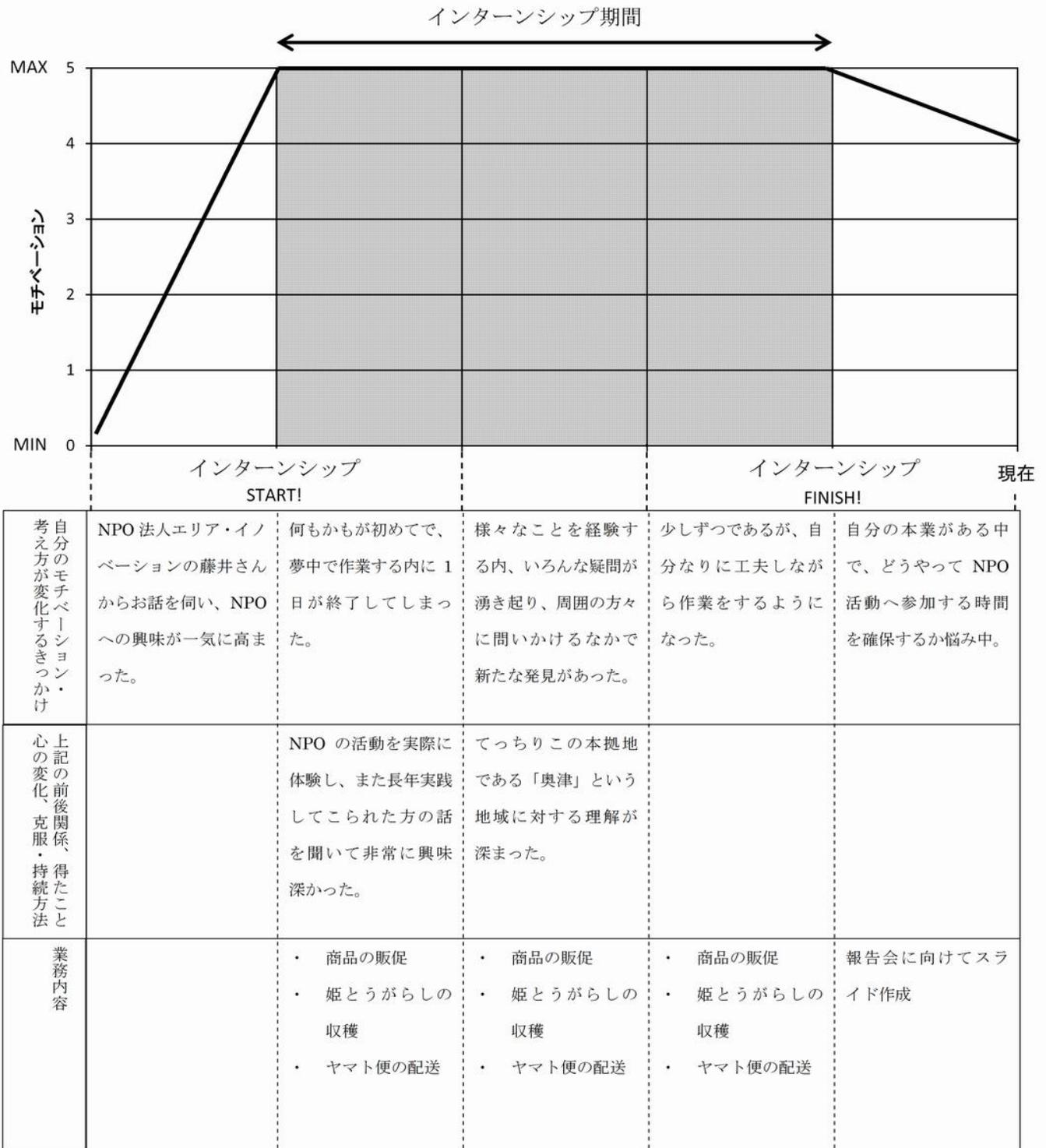
1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
今の世の中を、利益追求だけではない視点で見つめなおす機会を得たいと思ったからです。もう一つは、岡山に来てまだ1年、もっと岡山のことを知りたいと思ったことも動機となりました。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
80 % / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・商品の販促活動・姫とうがらしの収穫・ヤマト便の配送手伝い
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・奥津という地域に対する理解が深まりました。・地域の活性化がいかに難しいか、また、活性化につながったときの喜びがいかに大きいのか、一端ではありますが触れられたのが良かったです。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・観光案内所「水の郷」で販促していた折、姫とうがらしやこんにやくなど、奥津の名産品が売れた時はいつもうれしかったです。勝手な想像ではありますが、少しは奥津の知名度向上に役立てたのではないかと浅慮します。・てっちりこ理事長の岡本さんが「行政に任せられん」と仰るとき、人任せにしているのは地域興しなど到底できないという覚悟が伝わってきました。また、岡本さんのそれまでの来歴とあいまって非常に重い言葉として胸に響きました。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
地域の活性化、特に方法論について。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
生まれて初めて商品の販促をやってみて、商品の特性をアピールすることや、お客様とおしゃべりすることを楽しむことができるということを発見しました。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
利益追求だけではなく、社会に貢献しようと働くとき、やりがいが増すものであることを知りました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
かつてはNPOに対しあまりイメージが湧きませんでしたでしたが、今回の経験を通して、非常に熱い志を持った方々が多数いることを知りました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
実地でいろいろ体験する一方で、NPOに関する各種情報を書籍やインターネットなどで勉強すれば、より実り多きインターンシップとなると思います。

日常業務報告 中村隼人

9月18日(日) 業務報告
場所
総社市の農産物直売所
業務内容
①姫とうがらし(*1) 関連商品の販促 ②「藁縷い(わらない) とうがらし(*2)」の実演販売の補助
感想
直売所でとうがらしが一体どれほど売れるものか少し不安であったがまったくの杞憂に終わった。特に藁縷いとうがらし。縷われた藁で繫げられた15個の赤いとうがらしは正に芸術品、先客万来にふさわしいビジュアルである。とうがらしや藁の効能を気に入り、まとめて数セットを買ってくださるお客様もいらっしゃった。特に午前中は売れ行きがよく、製作者の赤坂さんご夫妻は休む間もなくフル操業であったが、午後からは直売所全体の客数も減り、また目の前には桃やぶどうのブース、振り返れば大根やなすび、そして隣には肉まんと強豪がひしめくなか、いかな深紅の宝石といえど姫とうがらしの方にお客様の目を向けさせるのが次第に難しくなってきた。 そこで商品アピールにちょっとした工夫をこらし集客に努めた(お客様に説明する際「唐揚げの下味に使ってください」や「ごはんによく合いますよ」といった具合に料理名を出すことでイメージしやすくし購買意欲をかきたてる等)。私の力説に耳を傾けご購入くださったお客様が何組かあったので、おそらくその工夫が少しは奏功したのであろうと浅慮する次第である。 何にせよ、NPO 法人でっちりこの理事長である岡本氏に学ぶ点は多い。姫とうがらしというブランドを立ち上げ数々の商品を生み出したことやでっちりこという組織をここまで大きくさせてきたことは伊達ではない。今後いろいろ勉強していきたい。
課題
商品知識を身につける
注釈
(*1) 鏡野町の特産品であるとうがらしの商品名。日本古来の品種を復活させ平成12年から本格的に生産を開始、「辛美人」など多数の加工商品あり。 (*2) 1列に並べられた15個の姫とうがらしを、縷われた藁で繫げ、吊るせるようにしたもの。インテリアに最適、もちろん食用にも。

9月25日(日) 業務報告
場所
水の郷 奥津湖
業務内容
①メール便の仕分け及び配送 ②姫とうがらしの収穫及び加工
感想
本日は2回目の勤務にして初めてNPO 法人でっちりこの本拠地「水の郷 奥津湖」で業務を行った。初秋の雰囲気が漂う中、家族連れのにぎやかさを背に気持ちよく仕事できた。①ヤ〇ト運輸はメール便を鏡野町の各個人宅へは配送してくれず、<ヤ〇ト運輸→でっちりこで仕分け→5つある地区の各担当者が配送>という段階を経て個人の手元に届く。でっちりこの善意(つまり採算度外視)で成り立っているこの業務に果たして問題点はないのか、次回もう少し突っ込んだ質問を試みる(ヤ〇ト運輸批判ではなく、便の9割方はダイレクトメールであることなど受信者のニーズについて)。②2時間ほど、難波様ご夫妻の畑で収穫体験をさせてもらった。自分で穫った姫とうがらしはやはり愛着がわくもので、これでお客様へ説明する際に説得力が少しは増すだろう。
課題
鏡野町地域のことをもっとよく知る。
備考
とうがらしに含まれる辛みの成分「カプサイシン」は水溶性ではない。他方アルコールや油には溶けるので、沖縄名産のコーレーグースや餃子のお供ラー油ができる。ところで、とうがらしの汁は皮膚に付着すると痛覚をダイレクトに刺激し、また水洗してもすぐには除去できないので、加工業務の際ゴム手袋は必須である。
蛇足
九州ではとうがらしのことを「胡椒」と呼ぶらしいことを今日初めて知った。ちなみに、本州でいうところの胡椒は「西洋胡椒」または「洋胡椒」だそう。なお、九州の名品として有名な柚子胡椒に入っているのは西洋胡椒ではなくとうがらしだとのこと、合点
奥津
かつて「奥津町」として存在していたが、平成の大合併で鏡野町に吸収合併され、現在は「鏡野町奥津」など字として残っている。なお、姫とうがらしは「奥津ブランド」とされ、鏡野でなく奥津を前面に出すあたり、かつて奥津町の住民だった生産者の矜持とせめてもの抵抗が伺えるといっちは考えすぎだろうか。

モチベーションシート 中村隼人



NPO 法人てっちりこ
インターンシップ生報告② 森安倫子
インターンシップ日数：3日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
NPO 法人がどういうものか知りたかった。NPO という名前だけは知っていたが、どういう活動をしているのかを知らなかったの で、就職活動の職種研究の幅を広げる良い機会だと思い参加した。また、自分自身があまり周囲の人と関わったりすることがな かったため、人に貢献する仕事を通じて、仕事上のマナーや一般常識を少しでも身につけられればよいと思った。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
89% / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・唐辛子の収穫、洗浄、天日干し、乾燥。・商品のラベル貼り、袋詰め、陳列・買い物助け合いプロジェクト・その他雑務
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・唐辛子の収穫、洗浄、天日干し、乾燥。・商品のラベル貼り、袋詰め、陳列・買い物助け合いプロジェクト・その他雑務
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
てっちりこ顧問の岡本さんの「遠くの親戚よりも近くの他人」という言葉が一番印象的だった。 『買い物助け合いプロジェクト』で買い物、医療、福祉についての話聞いた。交通手段や施設が少ない中で困っているだろう と思っていたが、高齢の方々は地域や近所同士の助け合いでそれほど苦労していないとおっしゃった。岡本さんの言葉が、鏡野 に住む温かい人たちを端的に表している的確な言葉だと感じた。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
鏡野の付近は田舎なので、高齢の方は買い物や医療、福祉に関して困っているようなイメージがあったが、地域の人々の絆が強 く協力し合って生活しているので、それほど苦労している訳ではないことを知った。また、その地域や人々に貢献するてっちり この活動は、本当に温かみのあるものだと感じた。そういった小さな行動から始まり、結果コミュニティビジネスとして成功し たその過程に興味を持った。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
自分よりも年齢が上の方ばかりの中で働いたが、特に息苦しさなどは感じず、むしろ楽しく会話が出来たように思う。てっちり この方が優しくかったということもあるが、周囲の環境に難なく溶け込めた。それが自信となったのか、その後の学校生活や日 常においても、初めて会った人とでも気軽に話せたり協力することが出来るようになっていたので、そこが強みになったかなと 感じた。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インター シップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
クロネコメール便の配送をお手伝いさせていただいたが、仕分けする際に全部で 10 通、地域によっては届けるメール便が一通 しかないときもあった。それぞれの地域まで配送して回ると大体 30 分～1 時間かかり、その分のガソリン代を考えると、メール 便一通の配送料金との採算が合わず、ほとんど赤字状態だとおっしゃっていた。しかし、そのような状況でも嫌な顔一つせず毎 日続ける姿を見て、どんな小さなことでも誠意をもって仕事をしなければならないという意識が私自身にも生まれた。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？インター シップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
まず、NPO は団体によって様々な形で活動しているということが分かった。中でも、てっちりこのコミュニティビジネスは想像 がつかず、地域に貢献することがどうビジネスと繋がるのか不思議でならなかった。しかし、実際はビジネス目的ではなく、結 果としてビジネスとして成功したということを知った。NPO は、それぞれの団体が目的の対象となる人々に貢献する、という ところがボランティアとは違うところなのではないかと思う。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
私は、仕事をするということがどういうものなのかを知りたいと思ったのがきっかけでインターンシップを始めた。最初は実際 に仕事をして、それによって結果を残す事が大切だと考えていた。しかし、インターンシップをする上で本当に大切なことは、 その団体や企業がどのような考えを持ち、どのような目的で活動しているかを把握することだと思う。インターンシップ先 の方々の話に耳を傾けたり質問するなどすればその内容が分かるようになり、その方々と同じ意識が持てるようになる。さらに それが人とのコミュニケーション能力向上にも繋がったように私は感じたので、これからインターンシップに参加する方もそう いった点を意識すればいいのではないかと思う。

日常業務報告 森安倫子

9月8日（木）業務報告

業務内容

- ・夜の間に乾燥機にかけておいた唐辛子を天日干しにする
- ・クロネコメール便を地域別に仕分けし、配達をして下さるお宅へ持って行く
- ・乾燥させた紫蘇をミキサーで粉末状にし、袋詰めする
- ・岡山ルートサービス株式会社の方々との商談に参加

自己採点

50点

学び・気づき・課題等

唐辛子の天日干しや紫蘇の加工は簡単な作業ではありましたが、それゆえに雑になったりいい加減な気持ちにならないよう心がけて作業をしました。

クロネコメール便の配達も兼ねて車で奥津周辺の案内をしていただいたのですが、ガソリンスタンドや診療所が一家所しかなかったり、バスも一日に数本しか通っていないとのことで生活の不便さを感じました。また、空き家や今は使われていない旅館、施設なども目立ちました。

とはいえ、町の雰囲気は暗いとは感じませんでした。景色が美しいという点もありますが、何よりも道行く人々が必ず挨拶を交わしているということが、地域を明るくさせている大きな理由の一つではないかと思いました。

岡山ルートサービス株式会社の方々との商談では、ただ隣に座って双方のやり取りをメモすることしかできませんでしたが、岡本さんの地域への想いを強く感じる事が出来たように思います。

初日ということもあり不安でいっぱいでしたが、岡本さんをはじめ本当に温かい人たちばかりで安心して作業に取り組むことが出来ました。

この親切に甘えることのないよう、これからも自分に出来ることを精一杯やっっていこうと思います。

9月12日(月)、13日(火)業務報告

業務内容

12日(月)

- ・喫茶店の雑務
- ・クロネコメールの仕分け、配送
- ・唐辛子の天日干し
- ・一味唐辛子の瓶詰め、袋詰め、ラベルに賞味期限の判を押す
- ・ケータイサイト『コロプラ』について
- ・唐辛子の収穫体験

13日(火)

- ・『買い物助け合いプロジェクト』の打ち合わせ
- ・クロネコメール便の仕分け、配送
- ・収穫された唐辛子の回収
- ・回収した唐辛子を洗浄し、外で乾燥させる
- ・集落代表者の安藤さんに『買い物助け合いプロジェクト』のヒアリング調査

自己採点

60点

学び・気づき・課題等

唐辛子の収穫体験は、平成16年から唐辛子の生産を続けていらっしゃる赤坂さんのお宅でやらせていただきました。時間の都合でそんなにたくさんは出来なかったのですが、唐辛子の一つ一つを確認し、しゃがんで収穫するので足や腰がだるくなりました。そのようにして収穫された唐辛子を洗浄し乾燥させる作業も大変でした。唐辛子についての土壌菌は高熱に強いので、水で洗浄する以外に除去することが出来ないそうです。洗浄した唐辛子を約7kgずつ乾燥させるのですが、炎天下の中その量を運ぶのは本当に大変でした。

収穫、洗浄、乾燥と全てが手作業で不便さを感じていましたが、実際に体験するとその地道な作業こそが重要なのではないかと感じました。一つ一つを手作業で行うことが唐辛子の価値にも繋がっているのだと思います。瓶詰めや袋詰めも手作業でしたが、人の手で作られる温かさといったものもあるように思いました。

『買い物助け合いプロジェクト』は集落で買い物や医療、福祉に困難しているかどうかという調査をするもので、今日は集落代表者の安藤さんという方にご協力をいただきました。

お話を聞いていると、私が想像していたよりも買い物などにさほど困難を感じてはいらっしゃらないようでした。自家用車のない方でも福祉バスなどで診療所に通うことも出来たり、買い物も生協などの移動販売があるのでそこまで不便ではないようです。なによりも、足りないものは自給自足で補ったり、これとって必要のないものは無くても構わないそうで、そういった柔軟な考えをお持ちであることが大きいのではないかと感じました。

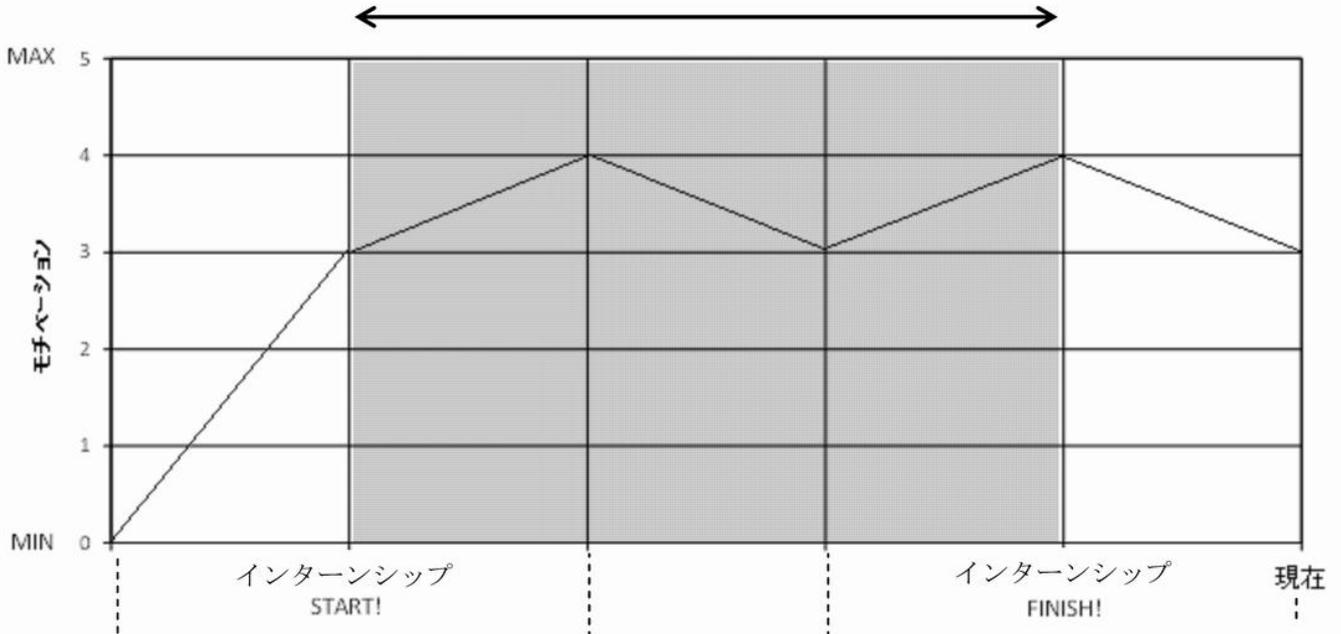
来週からも『買い物助け合いプロジェクト』を行う予定なので、私も出来る限り質問などをして、地域の方の声を聞き、その地域の問題点を自分なりに考えてみようと思います。

それと、今日は事務の方がいなかったため恐る恐る電話の対応をしました。用件を聞くだけの簡単なものでしたが、緊張しておかしなことを言ったしまった気がします。

電話の対応も今後の課題として努力しようと思います。

モチベーションシート 森安倫子

インターンシップ期間



自分のモチベーションが変化するか	・インターンシップ先が決定		・「買い物助け合いプロジェクト」		
	・場所が遠いので、行くまでの時間や遅刻が起きないか不安	・自分でもできる簡単な仕事なので良かったが、暑い中での作業に自分の体力不足を実感する	・地域の人々の話を聞き、困っていることなどを聞く ・コミュニティビジネスに興味を持つ	・地域によっても考え方が違うこと、また親戚や近所など、人との繋がりがとても強いことを知る	・就職活動において、地域の人々に貢献出来るような仕事に就きたいと考えるようになった
	業務内容	・とうがらしや紫蘇の加工 ・とうがらし回収の手伝い	・「買い物助け合いプロジェクト」に参加し、地域の方々の話を聞く	・「買い物助け合いプロジェクト」 ・とうがらしや紫蘇の加工 ・とうがらし回収の手伝い	

8. NPO 法人ふれあいサポートちやていず

法人概要

代表者名	湊照代
代表ブログ	—
住所	701-3204 岡山県備前市日生町
電話	0869-72-9088
FAX	0869-72-9166
Eメール	chatyswarknpo@yahoo.co.jp
URL	http://npochatys2009.hp2.jp/
目的	子どもと子どもをとりまく親や地域の人々に対して、様々なふれあいの場や活動の場、及び学習の場を提供、支援すると共に元気で楽しく活力ある地域社会づくりに寄与すること
活動・業務	(1) 社会教育の推進を図る活動。 (2) まちづくりの推進を図る活動。 (3) 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動。 (4) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動。 (5) 国際協力の活動。 (6) 子どもの健全育成を図る活動。 (7) 前各号に掲げる活動を行う団体の活動に関する連絡、助言又は援助の活動。
現在特に力を入れていること	子育てサポーター育成支援・子ども体験活動企画運営・コミュニティビジネス支援 ソーシャルスキルトレーニング支援 子育てひろば支援
今後の方向性・ビジョン	子どもと子どもを取り巻く地域コミュニティを基盤とした元気に楽しく住み、働き、安心して暮らせる岡山づくりを目指す！

NPO 法人ふれあいサポートちゃていず

受入団体報告 湊照代

1. インターンシップの内容を教えてください。
美作県民局委託事業 CB 講座 PC アンケート集計 備前県民局協働事業出張型一時預かり保育サポーター養成講座準備及び受付業務 備前県民局地域支えあい・ふれあい補助事業プレゼンテーション同行 ちゃていず視察県議会議員視察説明同行（パワーポイント操作） 新しい公共補助事業子育てひろば開設準備サポート 会議議事録書作成 子育てひろばスタッフ用シフト作成サポート 全ての事業について写真撮影 高齢者サロンサポート業務 *将来経営コンサルタントを目指したいということ、また就活中で様々な経験や多くの人と面談を持つことで今後の人と人との関わり方を学ぶことができたのでは。
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
PC を使用した書類作成成果 プレゼンテーションや県会議員との面談は他にはない経験 赤ちゃんから成人及び高齢者まで様々な年代と関わることができた。 常に多くの人との面談があるので名刺は必需品であることの意識がついた。 大変あがり症なので、一度に多くの方々との面談は良い機会となった。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
全ての仕事を素直に受け入れ、特に PC 作業は大変助かった。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
子育てひろばや高齢者サロンは学生との関わりがほとんどないので、新鮮のようであった。 又、ひろば準備段階では作業の雑用は学生の手がかなり助かったようだ。 PC 作業では通常の半分の時間で終わらせることができたのでスタッフも感心していた。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
当初は PC 作業を中心に考えていたが、ちょうど様々な事業が入って来た時期であったので本当に多くの作業と同行をしてもらった。ただ言われたこと以外のことはまだまだ気を使えていないので、達成度 70% 程度
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
担当者：代表理事 とにかく全ての事業に同行してもらった。活動地域が県南東部だが、事業は西部、北部と移動したため移動時間に疲れたようだ。・・・が言われたことは素直に受け入れ、取り組む姿勢は大変良かった。 もう少しあがり症を克服できるよう指導できる期間があればよかった。

NPO 法人ふれあいサポートちゃていず

インターンシップ生報告① 佐藤守

インターンシップ日数：8日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。

社会に出る前に、実務を経験して、仕事観を知っておきたかったというのと、自分がこれから、社会にでて活躍するには、何が足りないのか、知るために参加しました。また、地域支援についても興味があったので、NPO の活動を体験することによって、地域支援とはどのような活動をするのか、具体的に知ることができると思ったからです。

2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？

90 / 100 %

3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。

アンケートの集計と、集計結果をグラフにまとめる。プレゼンテーションに同行する。託児所のオープンにおいて、記念撮影をする。講座で会場設置や、講座が行われている様子を撮影する。地域の高齢者の方とゲーム等でふれあう。ミーティングにおける議事録を作成する。講座で使用する手書きの冊子を、コンピュータに打ち直して、読みやすいように、文章の構成を考えた。県会議員の方が視察に来られるので、会場設置や、写真撮影をする。

4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。

コンピュータを扱える人が少なかったので、文章処理の効率が上がった。男手が少なかったので、力仕事ができた。

5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

地域の高齢者とのふれあいのなかで、高齢者の方々が自ら、出し物を考えて会を盛り上げている様子を見て、地域支援には、地域の方と一体となって盛り上げることが、重要なことであると思いました。

明るい町づくりというなかで、人口が減り、過疎化していく中で、地域全体で連携して活動できることが重要であると思いました。

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。

子供や、お年寄りの集まることのできる場所の提供はとても関心を持ちました。みんなで集まることのできる場所の提供は、ちゃていずの基礎であるのですが、実際に支援活動を見てみると、過疎化によって、近所に同世代の子供がいないことで、一緒に遊ぶことができなかつたり、核家族の増加で一人暮らしのお年寄りが増えている中で、地域全体から集まれる場所を提供することで、近所に人がいなくても、ふれあいの場を持つことができることは、地域活性化に重要なことであると思うので、改めて関心しました。

7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。

自分の強みは、集中力の長さだと思いました。アンケートの処理や、冊子のコンピュータへの打ち直し、は、4時間以上に及ぶものになりましたが、それでも一度も間をおくことなく最後まで、終わらせることができたので、これからも、集中力を伸ばしていきたいと思いました。また、学びとしましては、自ら積極的に行動する大切さを学びました。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

仕事に対して意識が変化したことは、責任に対する感じ方だと思います。学生と社会人の違いによく、責任があるかどうかというものがあげられますが、実際に仕事を任されるなかで、誰かのために仕事をするということは、責任を自然に感じるものだと思います。アルバイトにおいては、あまり経験することのできなかつたことだと思います。その中で、実務を経験していけば自分を大きく成長させることができると思いました。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

NPO とは、今までは地域外の大きな団体がメインとなって活動することがほとんどであると思っていましたが、地域で NPO を立ち上げて、地域の方々が主体となって活動することによって、地域活性化はできると思いました。これからの時代は、それぞれの地域で NPO ができて、行政が行うことが難しいことを補って、岡山全体が盛りあがってほしいと思いました。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

子供たちとふれあいたいという方や、地域支援とはどのような活動をしているのか具体的に知りたいという方は、是非参加してください。多岐にわたる活動をしておられるので、さまざまな経験ができると思っています。積極的な行動と、すばらしいアイデアによって、地域活性化に貢献できるような、インターンシップにしていだければと思っています。

日常業務報告 佐藤守

9月12日（月）業務報告

業務内容

コミュニティビジネスの美作講演会のアンケート集計とアンケートの集計結果をワードにまとめた。

具体的な成果

アンケートの結果をエクセルでグラフを作り、ワードで報告先の方がわかりやすいようにまとめた。

自己採点

30点

学び・気づき・課題等

アンケートの集計に時間がかかってしまい、頼まれていた新品のパソコンの初期設定にまで手が回らなかった。もっと効率よく仕事ができるようになりたい。また、ワードで、自分では、グラフや文字を大きくして読みやすくした方が良いと思っていたが、コンパクトにグラフ等をまとめて、印刷するときの枚数を減らした方が読む人にとってわかりやすいということを学んだ。

CB講演会のアンケートの集計結果を見て、これだけでは確実なことはわからないかもしれないが、女性の参加が男性の四分の一程度で非常に少ないということがわかった。女性目線の意見も必要だと思うので、もっと増えてほしいと思った。また、都市部から、離れている事もあり、若者の参加が少なかった。若者がいなければ、地域は活性化しないと思うので、今回のインターンシップで、地域の方のために貢献している方もおられるように、若者が不足している地域のために、働く機会がもっと増えた方がよいと思った。そして、CBに対して、中心となって働きたいと思っておられる方がたくさんいたので、CBにおいて、非常に熱意をもっておられる方が多いと思った。

9月14日（水）業務報告

業務内容

備前県民局に行って、ちゃていずの代表理事の方が、今度行う事業において、岡山県からの補助金を受けるために、事業のプレゼンテーションをして、審査を受けている所に、同行させていただきました。その後、近日中にオープンする、日生と閑谷にある託児所のオープンに向けての進捗状況の確認に同行しました。日生においては、少しお手伝いしました。

具体的な成果

現場で、業務を売り込む場所に同行できたことには、非常に良い経験ができたと思いました。また、日生の託児所においては、重い木材を運んで、少しお役に立てたと思います

自己採点

30点

学び・気づき・課題等

プレゼンテーションを行う時の審査員を行う方の人数に圧倒されてしまい、自己紹介がぐだぐだになってしまったことが情けなかった。今後の良い糧にしたいです。プレゼンテーションを拝見して、自分には、質問で聞かれたことに、具体的に答えられる力が足りないと感じたので、今後の面接で生かしたいと思いました。備前県民局に行く道中で、代表理事の湊さんから、NPOやコンサルティング等のお話が聞けて有意義だった。お話を聞くなかで事業を立ち上げることよりも、継続させる難しさを感じました。

9月16日（金）業務報告
業務内容
本日オープンした、備前市日生町にある、託児所「うみのこ丸」において、子供たちが遊んでいる様子を撮影して、今日、託児所で行われたことを記録した。その後、和気閑谷にある託児所に行って進捗状況の確認に行きました。
学び・気づき・課題等
この託児所は、忙しい親から子供を預かるのが主ではなく、子供たちに共通の遊び場を提供することが、主な目的です。自分が幼児のころは、近所に同世代の子供がたくさんいたので、普通に一緒に遊ぶことができました。しかし、過疎化が進んだ、地元日生町では、近所に子どもがいなくなってしまうため、町内から子供たちが集まることのできる場所を提供しないと、一緒に子供達が遊ぶことができなくなってしまいました。 都市部から遠いことや、交通の便が非常に悪い（岡山駅からの終電が21時20分くらい）ことから、若者の流出が避けられないため、子どもが減ることは、必然的なのですが、このままでは、海辺の町にもかかわらず限界集落となり、やがて、消滅集落となってしまいます。地元の町を未来へと繋げるには、どうすればよいのかと考えさせられる一日となりました。

9月17日（土）業務報告
業務内容
笠岡で行われた、保育サポーター認定講座において、会場の設置準備、片づけのお手伝いと講座の様子の写真撮影。
具体的な成果
実際に講座を開くための準備等を経験できた。
自己採点
5点
学び・気づき・課題等
会場設置や片づけ等において、素早く気を回すことができなかった。来られていた県の職員の方のその時の動きを見て、状況判断がもっと的確にできるようになりたいと思った。写真撮影においても、人々をたくさん撮るのは失礼だと思い、撮影を控えていた所、ちゃていずの代表理事の方にもっとたくさん撮ってほしいと注意された。そのバランスを見極めたい。また、会場に来る前の道中でも、携帯電話のナビで、会場までの道順をナビゲートする予定が、途中間違ったナビをしてしまった。普段は道に迷わない方だと思っていたが、ここぞという時の勝負弱さが出てしまった。気を強く持ちたい。

9月20日（火）業務報告
業務内容
今日は、地域の高齢者がふれあいの場で集まっているところに、一緒にゲームをしたりしてふれあった。その後、託児所のミーティングに参加して、議事録を作成するために書記をして、ワードで議事録の文章を書いた。
具体的な成果
地域の高齢者とふれあうことができた。また、実際のミーティングで、書記を経験することができた。
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
高齢者の方が、自らゲームを考えて、集会を盛り上げている姿を拝見して、地域を活性させるためには、地域のみんがが行動して盛り上げようとするのが、まず初めに必要なことではないかと思った。ミーティングでの書記は、議事録を作成するために、普通の書記より会話の細かいところまでメモしなければいけないので、集中し続けるがたいへんだった。今回のミーティングは、1時間半くらいだったけど、もっと長い会議のほうが多いと思うので、集中力を鍛えたい。

9月26日（月）業務報告

業務内容

乳児の離乳食の講座で使用する資料で、手書きで書いてある冊子をパソコンのワードでイラストを使いながら、読みやすいように打ち直した。イラストはインターネット上のフリーの絵をダウンロードして使用した。

具体的な成果

資料の編集を完成させた。

自己採点

60点

学び・気づき・課題等

講座に参加する方が読みやすいように、文字の大きさや配置を工夫したり、表やイラストを使ったりして編集したが、ちゃていずに置いてある冊子と比べると、とても読みにくいものになってしまった。ぱっと見て、読みたいと思えるようなものが、作れるようになりたい。

手書きの冊子は7枚だが、パソコンで打ち直してみると、15枚にもふくらんでしまった。イラストを使用したり、文字を大きめにしたので仕方ない部分もあるが、もっとまとめる力を身につけたいと思った。

タイピングのスピードをもっと上げなければいけないと感じた。

9月28日（水）、30日（金）業務報告

業務内容

28日：閑谷にある子育てひろばの準備に使用した用具を、日生のちゃていずに車で運んだ。

30日：午前中は、子育てひろばのスタッフの方のシフトが修正部分があったので、エクセルで、打ち直した。午後からは、県会議員の方が、ちゃていずの視察にこられるので、プレゼンテーションを行うための準備を行い、議員の方々が日生の子育てひろばの現場視察を行う様子を写真撮影。その後、市役所そばの施設で行われた、ちゃていずの業務のプレゼンテーションではパワーポイントの操作をした。その後、議員の方が、質問を行っている間に、写真撮影をした。そいて、後片付けをして、業務終了。

具体的な成果

エクセルの打ち込みを完成させた。また、県会議員の方々の視察の場に同行できた。プレゼンテーションでの補助をした。

学び・気づき・課題等

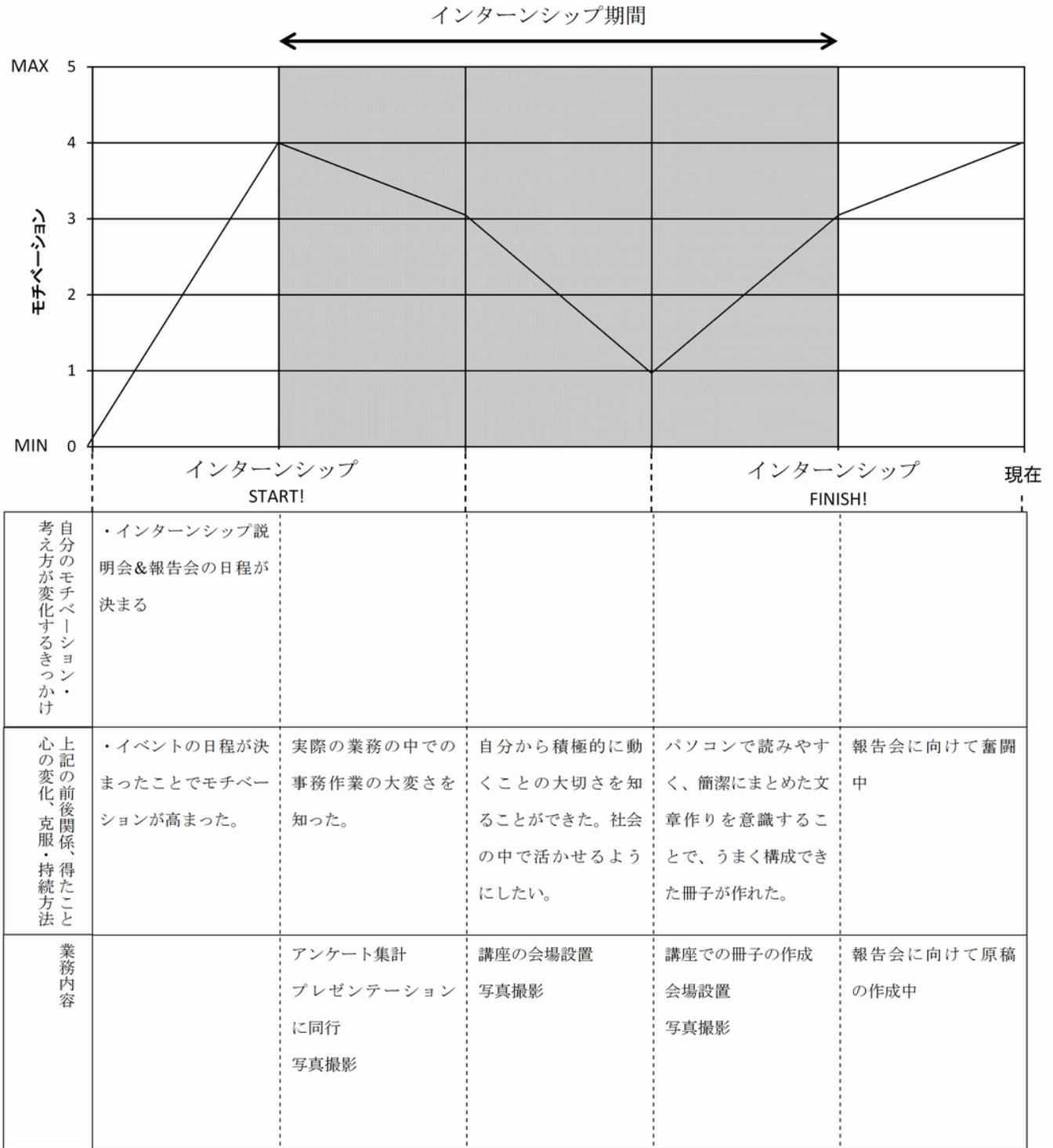
写真撮影は3回目だけれどあまり上達しなかった。もっと現場の雰囲気や伝わるような写真が撮れるようになりたかった。10人以上の県会議員の方が視察に来られる所に居合わせる事ができたのは非常に大きな経験だったと思います。

議員の方が質問で、「ちゃていずのような過疎地域支援をする団体は少ないがどうすればちゃていずのような団体をつくる事ができますか」といわれていた時に、別の議員の方が、「ちゃていずのような地域支援を行う団体は、つくるとはできても、経営はほとんど赤字になってしまう。だから、ちゃていずのような団体をつくっていくには、赤字になっても頑張れる強い人がいなければならないが、なかなかいない。そんななか、湊さんは、辞めずに続けてこられ、優良な経営をされている。だから県会議員が今まで3回も視察に来る。」というような話をされていたのを聞ききました。過疎化の進むまちでは、地域のつながりを深めて、町を活性化させる働きは重要なことですが、それを実現させるための発起人は、多くの犠牲を払わなければいけないと思いました。初めて面談した時に湊さんがコミュニティビジネスとは、地域とつながりを持ち、ふれあうことができるビジネスといわれていました。その地域の方がふれあう場所をたくさん提供するために、頑張っている湊さんは、すごい方だということがこの質問でわかりました。

インターンシップを終えて

このインターンシップでは、多くの経験をする事ができました。この経験を生かせるようにこれから頑張りたいと思います。

モチベーションシート 佐藤守



NPO 法人ふれあいサポートちやていず
インターンシップ生報告② 三宅貴裕
インターンシップ日数：5日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
<ul style="list-style-type: none">・社会貢献がしたかった。・仕事以外の事や自分が体験してない事に、興味があった。・家にいる事が多い自分を、変えたかった。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
85 / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・備前焼祭りのスタッフへのお弁当配送・日生総合運動公園での子どもフェスタ支援・コミュニティビジネスの説明会、講座・岡山県立大学での子ども体験学習・備前文化センターでの図書祭り
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・子どもと触れ合う事が多かったので、コミュニケーションが少し上手になった。・コミュニティビジネスで色々な課題を出し合ったりして、少し視野が広がった。・プレゼンテーションをして、人前であまり緊張しなくなった。・他のインターン生の報告を聞いて、色々な捉え方や視点があり自分も同じような視線で捉えて考えて行こうと思った。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・仕事は作業ではなく、何の目的の為にやってるか考える。・メラビアンの法則。・子ども体験学習での、一緒に作った皿ブーメランで投げあいっこをしたこと。・図書祭りでの、本の読み聞かせで暖かさ。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・子ども。・ちやていずと一緒に支援してる団体。・美作県民局の協同事業。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・本の読み聞かせの暖かさを学びました。・子どもと遊ぶのが楽しくなりました。・仕事を作業ではない、学び。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
<ul style="list-style-type: none">・何の目的の為にやってるか考えるようになった。・仕事って何してるの?って聞かれたときに、会社の商品を紹介したりこんな物を作っているっていうのを、相手に伝えたい。 (コミュニティビジネスで、5w2h を考えたから) (石原さんのインターンシップの目的の説明から)
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
<ul style="list-style-type: none">・小さな団体、定期的に開催する団体などありますが、ないよりは、あったほうがいい。 (図書祭りは、第一回目の日でした。参加人数も少なく、寂しく思いました。でも、本の読み聞かせをしてらっしゃる人の、暖かさが伝わってきました。想いを込めた一言一言はとても印象に残りました。)
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
<ul style="list-style-type: none">・短期間かもしれないけど、自分なりに感じとって下さい。

日常業務報告 三宅貴裕

10月15日（土）業務報告
業務内容
<ul style="list-style-type: none">・備前焼祭りに出店する人へのお弁当(15個)作りと撮影と配送・ちやていずの経緯(PPT)とちやていずの1階と2階を拝見・10/22の日程等
具体的な成果
特になし。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
今回のお弁当の数は少ないようで、大体50-100個ぐらい作るそうです。家庭で作る感じなので100個は大変そうだと思います。地域の人達との繋がりが深いから出来るのだと思いました。経緯については、元の場所に戻ってもこの場所でやっていく、継続していくという強い心が感じられました。22日は、受付と撮影等です。焦らず対応していきたいです。

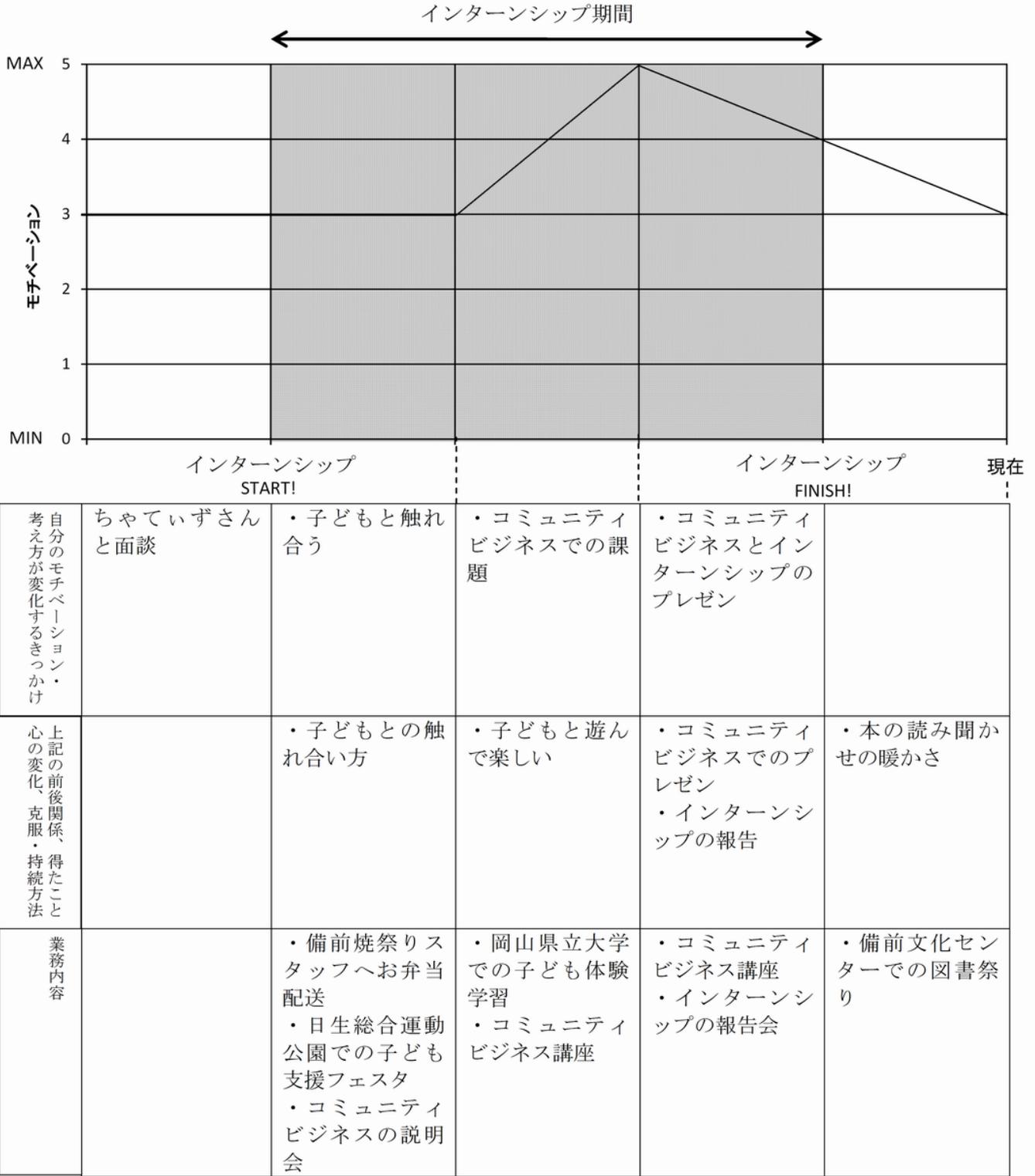
10月22日（水）業務報告
業務内容
美作地域を元気にするコミュニティビジネス講座説明会の受付と写真撮影。
具体的な成果
特になし。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
初めて美作に行きました、遠いです。 受付は名前がなかなか見つからなくて焦ることも。写真撮影は3箇所くらいのところで何十枚ずつ撮影しました。講座は難しかったです。新しいことや、都会の人や、いろいろな人を巻き込んでいく、取り入れていく感じでしょうか。講師の方は、やるか、やらないか、誰もやらないなら俺がやるっていう感じの熱い方でした。棚田周辺をセグウェイで散歩みたいな動画が流れていたのですが、どんな感じなのか機会があれば体験してみたいです。参加者の方が高年代の方ばかりでしたので若い人ももっと参加してほしいと思いました。

10月29日（土）業務報告
業務内容
子供支援フェスタでの子供の見守りと巨大迷路作り&片付け
具体的な成果
子供と触れ合って、親御さんの気持ちが少しわかった様な気がします。
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
今回はいくつかのnpoのグループが一緒になって子供たちと遊びました。巨大迷路は初めて作りました。迷路に使うダンボールの角、引っ掛かるところ、擦り切れたりするところをガムテープで張っていきました。迷路以外にも体験ゲームが4つありました。私の担当は4つゲームが終わった後の点数を計算して景品をプレゼントすることでした。前半は子供が一気に来て集計するのが大変でした。あまり子供と触れ合うことがなかったので最初の方はなんだかぎこちなかったような気がします。自然に触れ合うのはまだまだなあ実感しました。子供が一生懸命がんばってる姿や楽しく踊ってる姿など見ていると、応援したくなったり楽しくなったりしました。普段思わない気持ちを体験できたので、すばらしい子供フェスタだったと思います。

11月6日（日）業務報告
業務内容
<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県立大学内の子供広場で子供と一緒に工作体験 ・フリスビーに絵を描いてもらう
具体的な成果
前回よりも緊張しなく触れ合うことが出来たと思う。体験してもらったお皿フリスビーで子供と一緒に遊びました。
自己採点
85点
学び・気づき・課題等
3時間途切れることなく、子供に触れ合ってきました。私は絵心がないのでなんともいえませんが、いろいろな絵を描いて楽しめたと思います。フリスビーが軽くて重く改良する子供もいました。何人かのお子さんは、椅子の上で正座をして工作してました。高い位置から周りが見えなかったのかもしれないです。課題としては、色のペンが8色しかなかったのを12色にしてバリエーションを増やしてほしいのと、テープの色も増やしてほしいと思いました。最初は学際に親子が遊びに来るのか不安でしたが、たくさんの親子が来て下さいました。うれしかったし、やりがいもありました。

11月12日（土）業務報告
業務内容
コミュニティビジネス講座の受付と撮影
具体的な成果
たくさんある情報の中、必要なのを選んで人へ伝えることの難しさを知りました。
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
たくさんの人と情報を共有することや、なんでもいいから他の人と何か1つだけ同じところを探す大切さを学びました。自分から情報を発信していくには、やりたいことや夢を多くの人に聞いてもらう必要があります。また、情報を得るために実際に出向いて賛同するのもいいかもしれません。

モチベーションシート 三宅貴裕



9. エリア・イノベーション

団体概要

代表者名	藤井智晴
代表ブログ	http://blog.canpan.info/area-i/
住所	700-0822 岡山市北区表町 1-4-64 上之町ビル 4F
電話	086-224-0997
FAX	086-224-0997
Eメール	info@area-i.org
URL	http://blog.canpan.info/area-i/
目的	地域からイノベーションを起こす起業家精神を持った人材育成
活動・業務	「岡山における挑戦の場づくり」 キャリア支援/地場産業支援 ■ 起業家留学（長期実践型インターンシップ） ■ ソーシャルビジネス/社会起業支援 ■ 岡山への I/U ターン支援
現在特に力を入れていること	地域での実践型インターンシッププログラムの開発。地域資源の発掘と情報発信を通じて、地域内外へ「地域の誇り」「資源」を発信する。
今後の方向性・ビジョン	岡山の未来を創る「本気の」仕事づくりの現場での長期実践型のインターンシップを通じた人材育成と地域と連携した高校生のキャリア教育。

エリア・イノベーション

受入団体報告 藤井智晴

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・インターンシップのコーディネートサポート 学生と受け入れ先の面談や打ち合わせに同行しての議事録作成、写真撮影等・イベント「地域仕事づくりチャレンジ大賞」への同行、プロジェクトのチラシづくり・自団体の facebook ページの作成
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・自団体の facebook ページの作成・インターンシップ生の仕事へのスタンスが、自分にとって刺激になった・事業意義をインターン生へ説明する中で、自団体の説明のブラッシュアップにつながった・団体にコミットメントする人材をどう育てていくかについての研修の場となった
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・責任感を持って、依頼した仕事に関して遂行してくれた・依頼した仕事への締切意識と、スピード感をもって取り組んでくれた
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・外への（特に若者への）情報発信するに当たって、どのような情報が必要かという意見をもらえたらことが、今後若者に情報発信していく上で、大変参考になった・学生に参画してもらいやすくなるための受け入れ態勢について、参考になった
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
70% 学生は、自社の情報発信の仕組みの基礎をつくってくれた。しかし、受入側として、1 か月という期間ながら、自社の本質を理解してもらえるようなプログラムのブラッシュアップができたのではないかと振り返っている。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
1 か月という短期間ながらも、責任感をもった学生を受け入れたこと自体が、刺激となった。仕事の頼み方、若者をどう巻き込んでいくかという点が非常に勉強になった。自団体で、3～6 か月という長期間学生を受け入れるためのプログラムづくりをしていきたい。

エリア・イノベーション
インターンシップ生報告 上岡紀美子
インターンシップ日数：3日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
元々は公務員志望でしたが、他の世界のことも知らないまま安易に進路を決めてもいいのかという迷いもありました。そんな時、ふと大学の掲示板にNPOインターンシップのチラシが貼ってあるのを見かけ、「社会貢献」「インターンシップ」「NPO」という言葉にピンときて説明会に参加しました。NPO＝ボランティアのようなイメージを抱いていたのですが、意外にもお金がしっかり回っているようだと思われ、この世界のこともっと知りたいと思い、インターンシップへの参加を決めました。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
85 / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・ NPO インターンの面談に同行、議事録作成・ 地域仕事づくりチャレンジ大賞 2011 への参加・ 岡山起業家留学の Web ページ、facebook ページ作成
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・ 言葉遣いに気をつけるようになった。・ 自分の進路を見直す機会になった。・ 「仕事」に対して抱いていた、与えられたものをこなすだけというマイナスイメージが、自分が創意工夫して仕事を生み出していくというプラスなイメージに変わった。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
藤井さんとの会話の中で、将来いつかこういうことがしたいと話した際、「それ、いつやるの？」と言われたことです。言われてみれば、その夢を全く現実的に考えておらず、叶える気すらなかったのだと思いました。私のような凡人は夢が叶うことはないだろうと、どこかで諦めていましたが、そこで初めてそんな自分に違和感を覚え、夢を実現すること、その為の手続きを踏んでいくことを本気で考えるようになりました。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
「起業」というキーワードは、都会の意識の高い学生のためにあるものだと思っていました。しかし実際に会社を興すことが「起業」なのではなく、会社の内部にいても、どこでも「何かを始める」ことが既に起業なのだと思えるようになり、そのようなマインドを持って「何かを始めて」いる人のことが気になるようになりました。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
特になし。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
地域仕事づくりチャレンジ大賞 2011 に参加し、雇用の少ない田舎で仕事を「創っていく」という考え方に触れ、とても感銘を受けました。人から指図されたことをこなすだけに留まらず、自分から仕事を生み出していくこと、仕掛けていくことが必要になってくるのだと思うようになりました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
私はNPOインターンシップ面談のために色んなNPOに訪問する機会に恵まれました。NPOと一括りに言っても行く先々で全く違うことをされていますが、一つだけ共通するものを挙げるならば、そこで活動されている方々の目の輝きでした。その目からは何か使命感と希望のようなものが感じられ、非常にやりがいを感じながら仕事をしているように見受けられました。また、色んなNPOに訪問させて頂くことで、得体の知れなかったNPOがより身近に感じられるようになりました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
インターンの舞台にNPOを選ぶというのは、人生観を養うという点でもとても糧になることだと思います。このNPOという世界には、助け合って生きていくという考え方が根底にある気がしました。私達が普段関わることのない世界、しかしここには学ぶべき大切な何かがあると思います。私はこのインターンに参加して、以前より広がった世界の中で物事を考えられるようになり、本当に良かったと思っています。皆さんがこれからインターンシップに参加され、良い経験ができることを望んでいます。

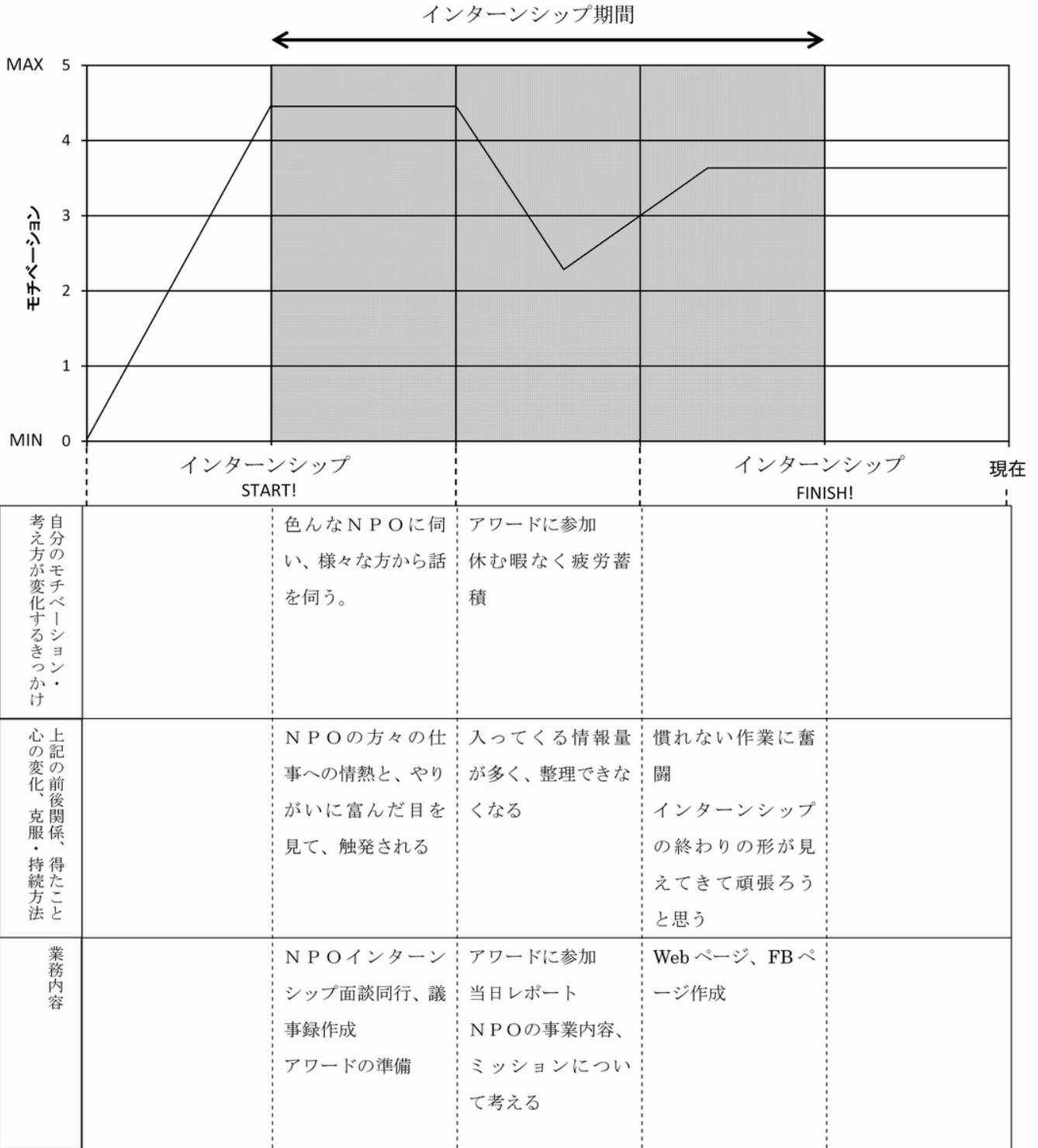
日常業務報告 上岡紀美子

9月7日（水）業務報告
業務内容
・子育て応援ナビぽっかぽか インターンシップ面談随行 ・てっちりこ、ゆうあいセンター、ぽっかぽかの面談議事録作成 ・ふれあいサポートちやていず インターンシップ面談随行
具体的な成果
議事録作成し、確認待ち
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
的を得ない内容の議事録を作ってしまったので、要点を見極めて、完結に書くよう心がけたい。また、書くのに時間がかかったため、自分で予め所要時間を定めて、時間の使い方にメリハリをつけていきたい。

9月15日（木）業務報告
業務内容
日経新聞読み会、facebook の岡山起業家留学のHP作成、企業の採用相談に同席・議事録作成
具体的な成果
facebook の起業家留学ページはアウトライン完成。議事録は半分ほど作ったところで寝てしまい中断。
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
facebook の方は、岡山といえば桃！と思い、桃の画像を使用したら不評でした。私には美的センスが無いのでどの辺りが拙かったのかあまり判りません。デザインに関して全くの素人なので、Web 作成はとても不安が大きいです。しかし、これも良い機会なので、Web デザインというものを少しかじってみたいと思います。 採用相談では、普段接さないような BtoB のビジネスを主にされている方のお話を聞くことができ、とても興味深かったです。知らない世界はまだまだあるのだと、そして中々面白そうだなと感じました。

9月16日（金）業務報告
業務内容
午前はいヶガミスチール株式会社にてインターンシップのプラン相談、たけのこの家に訪問。午後は先日の地域仕事づくりチャレンジ大賞 2011 での学び・気づきの共有会。東京に同行した後輩二人と、また東京の ETIC でインターンシップをされていた方と倉紡で働かれている方が岡山に来られたので同席して頂きました。
具体的な成果
形になるものはありませんが、インターンシップのプラン相談では学生視点での発言ができるよう努力しました。共有会では、将来の自分を考えるワークショップをしました。以前研修会でしたときよりも自分のことが分かってきた気がします。
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
私は何もかも義務感に縛られて行動することが多かったのですが、いヶガミスチールのインターンシップの話聞いて、最高に面白そうだと久しぶりにときめきました。叶うものなら私がやりたいぐらいです。「やらねばならない」と「やりたい」ことは違い、実際に自分が好奇心がそそられるのは、商売ということもあるのかもしれません。経営者の苦悩を垣間見、今まで勉学を疎かにしていた自分を恥じ、大学に帰ってしっかり勉強しようと思いを新たにしました。 共有会では自分の将来について考える機会を持ちましたが、気がつけば色々なことがやりたい！と思うようになっている自分がいて、嬉しくなりました。欲張りかなとも思いますが、全部やろうと思います。まずは目の前の授業や試合、就活、それら一つずつ為していき、10年後、バリバリに働किながら武道家として生きている自分がいればいいなと、そんなことを考えるとワクワクしてきます。何処か自分に諦めていて、将来は暗いだろうと感じていただけにすごく変化したことが分かります。

モチベーションシート 上岡紀美子



10. 岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」

施設概要

センター長	小川孝雄
代表ブログ	—
住所	700-0807 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1
電話	086-231-0532
FAX	086-231-0541
Eメール	oka@youi-c.com
URL	http://www.youi-c.com/
目的	ボランティア・NPOの活動の健全な発展を支援するとともに、ボランティア・NPOをはじめ、広く県民、事業者、行政機関の職員等が気軽に集い、情報交換、交流及び連携を進める場を提供すること
活動・業務	<ol style="list-style-type: none">(1) 専門相談事業(2) 出前ボランティア・NPOセミナー開催事業(3) ボランティア・NPO活動情報誌配信事業(4) ボランティア・NPO人材育成研修事業(5) コミュニティ関係活動情報提供システム運用事業(6) ボランティア・NPO活動に関する一般的な相談への対応(7) 各種資料、参考図書等の収集、整理、掲示及び供覧(8) センターのパンフレット、チラシ等の作成(9) NPO相互のネットワークづくりの促進(10) NPOをはじめとする多様な主体と行政等との協働の促進(11) センターの設置目的の達成に資する自主事業の実施

岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」

受入団体報告 近藤真由美

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・管理業務（書類整理・ファイリング・図書の整理とラベル貼り）・受付業務、閉館業務（受付対応、会議・研修室の清掃と施錠）・企画提案（SWOT 分析により気付いた点を具体化）→フロア案内作り、フロアマップ作り
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・フロア案内表示ができた。→会場案内が分かりやすくなった。・利用者さん目線で提案いただいたことがあり、あらためてレイアウトを考えたり、案内表示の在り方を考えたりするきっかけとなった。・貸事務所入居団体へのアンケートを実施することができ、貸事務所のメリット・デメリットを把握することが出来た。・後回しになっていた助成金情報のファイルの整理ができ分かりやすくなった。・図書のラベルの貼り直しが出来、図書管理がしやすくなった。
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・最初はコミュニケーションを取るのが苦手という話だったが、積極的にスタッフや職場実習生と関わりを持とうとしていた。今まで、コミュニケーションをとっていく機会や体験が少なかつただけで、できないわけではなかった。人と関わっていこうという姿勢や最後まで業務をやり遂げようとする真摯な態度にこちらも励まされた。・最終報告までは何度もプレゼン資料を作り込み、当日は堂々とした発表で自信を持ったインターン生の姿を見ることができ、とてもうれしかった。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・利用者さんの目線をあらためて考えるよい機会・きっかけとなった。・客観的な視点をいただき、刺激や気付きになった。・案内表示を作成してもらい、会場案内が分かりやすくなった。・一生懸命に取り組む姿勢にスタッフも励みになった。・人を受け入れていくということをあらためて考えさせられた。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
目標 85%→達成度 120% <ul style="list-style-type: none">・業務に支障がないかどうかを危惧する面もありましたが、それ以上の効果・成果を出していただきました。案内表示作りや図書資料へのラベル貼り替えなど具体的なこともあります。インターンシップ生が真摯に自分の課題を克服したい、自分の目標に対しての情報を得たいとの思いで、業務に真摯に取り組んでいただいたその姿勢がスタッフの励みになり、一緒に頑張りたい、センターをよりよくしたいという思いにさせていただきました。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
インターンシップ生受け入れについて、当初どうなるかという面もありましたが、始まってみるとあっという間に日にちが経っていて、最終日を迎えることになっていました。少しさみしく思うところもありましたが、やり遂げた自信を持ったインターンシップ生をみて、とてもうれしくこちらも手ごたえを感じることが出来ました。インターンシップ生の成長自体が、ゆうあいセンターの幅や視野を広げてくれたと思います。

岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター「ゆうあいセンター」

インターンシップ生報告 森田英之

インターンシップ日数：7日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
自分は、人と話をしたり、グループに入ったりするのがとても苦手で、コミュニケーション能力はほとんどありませんでした。しかし、社会に出た時に、「人と話すことができない」、「グループにも入れない」ではどこにも相手にされません。今回の NPO インターンシップに参加しようと思った理由は、自分のコミュニケーション能力を改善したいと思ったからです。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
100/100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
・事務作業（資料の仕訳・ラベル張り・領収書の押印） ・SWOT 分析 ・看板作り
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
人との会話が上手く出来るようになった。グループに馴染み安くなった。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
SWOT 分析で組織の強み・弱みについて「道に迷う人が多いので、案内板を作ってみたらどうでしょう」と発表した時に、実際に「作ってみてほしい」と頼まれた時は内心焦りました。ですが、この時自分が周りから「頼られている」と思い自分もそれに応えたいと思いました。結果としては、組織の人達の助けも借り、案内板は完成しました。完成した案内板を組織の人達に見てもらったところ、褒めてもらえました。印象に残っているものは、自分のやった仕事が周りに評価されたときです。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
インターンシップに参加する前は何の経験もなく、「ただ言われたことをすればよい」という考え方だったので特に関心を持つようなことはありませんでしたが、インターンシップに参加している内に、何か「困っていること」・「手伝ってほしいこと」を積極的に取り組んでみました。その時、相手の人に、「ありがとう」と感謝された時の事が非常に嬉しかったです。自分がインターンシップに参加して、関心を持った事柄は相手に感謝された時です。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
「人とあまり話さない自分に強みがあるのか」という事については正直悩みましたが、SOWT 分析の時に、組織の強み・弱みについて話してみると言うことをやってみてインターンシップに参加してまだ日が浅い自分は組織の強み・弱みの見た感じでしか判断できませんでしたが、組織の人達からは感心されました。インターンシップに参加したことで発見した自分の強みは、弱点に気づきやすいと言うことです。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
NPO インターンシップを経験する前の「仕事」に対する意識は「忙しいもの」・「大変なもの」と思っていました。しかし、組織の人達と一緒に仕事をやってみたり、手伝ってもらったりしてもらっている内に自分の中で「仕事」に対する意識が「忙しいもの」・「大変なもの」から「楽しいもの」・「遣り甲斐のあるもの」へ変わっていきました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
私は、NPO 自体知らなかったので、「助け合い」というのはわかっていても何についての「助け合い」なのかというのを知りませんでした。しかし、NPO インターンシップを始める前に組織の人達が「NPO」について教えてもらい、今回初めて NPO インターンシップを経験したことによって、NPO は、地域や企業の「助け合い」ということを知りました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
インターンシップは自分の弱みを改善するものでもあり、新しい自分を発見できる場でもあります。最初は慣れないことで緊張したりどうすればよいのかわからず悩んでしまうかもしれませんがそんな時はインターンシップ先の人達に相談してみてください。自分の弱みを改善し、新しい自分を発見できる良い機会なので、是非一度は参加してみてください。

日常業務報告 森田英之

9月7日（水）業務報告

業務内容

午前中は、NPO 法人とは何か？という話を聞きました。自分のわかっているところも有れば、わからないところも有り、聞いてとても驚かされました。午後は、資料の整理と把握を行いました。整理の方は同じ種類の資料をまとめてゆき、把握の方はパソコン(エクセル)を使用し、都道府県、資料の名前、発行団体に分けていくものでした。二つとも量が多く、一度に二つを終わらせることができませんでした。

自己採点

50点

課題

今後の課題は人とのコミュニケーションを上手く取ることと、仕事の効率を上げることです。

9月8日（木）業務報告

業務内容

13:00~18:00 は資料の把握、19:00~20:00 は受付で来客の対応、20:00~21:30 は閉館作業を行いました。受付で来客の対応は初めてということもあり、最初は戸惑っていましたが、スタッフのやり方を見せてもらい、なんとか、対応する事ができました。閉館作業の方は、スタッフの方と一緒に研修室や会議室の戸締まりを行いました。鍵は閉まってはいるか？落とし物は無いか？他にも、入金集計・チェック表記入、現金出納帳集計も行いました。まだまだざこちなところもありますが、これからも順調に行きたいと思います。

自己採点

50点

課題

より多くの人と、関わりをもつこと。

9月9日（金）業務報告

業務内容

10:00~12:00 は資料の把握(初日・二日目と内容は一緒)、13:00~14:20 は資料の仕分け、14:30~15:20 は合同作業、15:30~17:00 は合同作業で発表したことを行いました。資料の仕分けは、福祉・環境地域・文化・その他に別れており、新しく入ってきた資料を仕分けるという作業でした。合同作業は会社の強み・弱みを発表していくものでした。その後は、自身の発表したこと(広いから道に迷いやすいので、看板を立ててみたらどうでしょう?)を実行していました。この時、自分は、「会社で仕事を行うというのはこういう事なんだな」と思いました。

自己採点

60点

課題

看板を火・水までに完成させる。

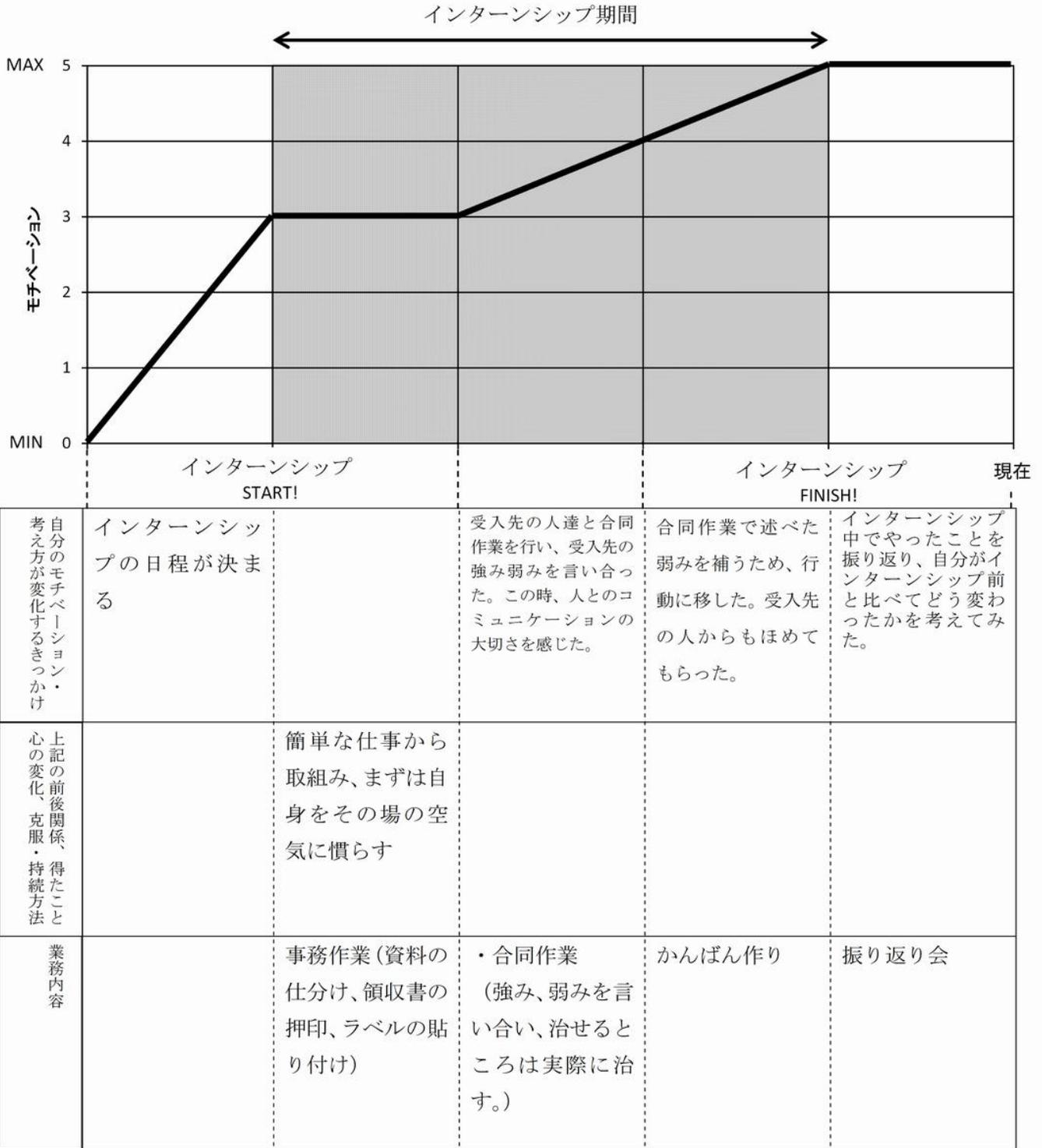
9月13日（火）業務報告
業務内容
今日は案内板の製作（金曜日の続き）と領収証に判つく作業を行いました。金曜日から製作していた案内板が完成したので、配置場所に行き、そこで他の方々（スタッフの方々）に見てもらったところ、「いい感じ」と評価され、嬉しく思いました。この時、自分は仕事にやりがいを感じることができ、今、自分の取り組んでいることにもやる気がますます出てきました。
自己採点
65点
課題
自分に出来ることを見つけていく。

9月14日（水）業務報告
業務内容
今日は開館業務とラベル張りを行いました。開館業務では、ブラインドを開いたり、必要な資料を出しておいたりしました。ラベル張りでは、以前張ってあったラベルの字が、薄くなって来ているということで、新しいラベルを張る作業です。NPO 関連が非常に多く一日ではすみませんでした。
自己採点
50点
課題
今、取り組んでいる仕事を片付ける。

9月15日（木）業務報告
業務内容
今日は昨日の続きでラベル張りのを行っていましたが、手伝ってくれる方が二人来てくれ昨日より素早く作業を行うことが出来ました。手伝ってくれた二人が来てくれなかったら自分は途中で手詰まりしていたかもしれません。自分も手伝ってくれた二人の力に成りたく思いました。
自己採点
60点
課題
自分が人の役にたてることについて考える。

9月16日（金）業務報告
業務内容
今日はインターンシップの最終日ということもありラベル張り（昨日の続き）の後に「振り返り会」を行いました。振り返り会では約二週間という短い期間で「自分のコミュニケーション能力を改善できたか」を振り返って見ました。結論から言うとコミュニケーション能力は自分の考えていたより改善されていました。これも自分を支えてくれたスタッフの方々のおかげだと考えており、これから先もインターンシップで学んだことをいかして行きたいと思います。
自己採点
80点
課題
インターンシップで学んだことをこれから先どのようにいかしていくか。

モチベーションシート 森田英之



1 1. NPO 法人岡山 NPO センター

法人概要

代表者名	米良重徳
代表ブログ	—
住所	700-0822 岡山県岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階
電話	086-224-0995
FAX	086-233-1732
Eメール	npokayama@gmail.com
URL	http://www.npokayama.org/
目的	NPO・市民活動団体・ボランティア活動団体等に対して、NPOに関する相談及びNPOについての研修・啓発活動に関する事業を行い、そして、諸団体のネットワークを構築しながら、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。
活動・業務	(1) NPO・市民活動団体・ボランティア活動団体等のネットワーク事業 (2) NPO・市民活動団体・ボランティア活動団体等の育成・研修事業 (3) NPO・市民活動団体・ボランティア活動団体等の運営支援事業 (4) 調査研究、情報収集及び提供 (5) 行政・企業等への政策提言及び協働の推進 (6) NPOの啓発及び広報活動 (7) その他目的達成に必要な事業
現在特に力を入れていること	<p>平成10年12月に特定非営利活動促進法が施行されてから今年でちょうど10年を迎えました。この10年で分かってきたことはNPO法人を立ち上げることはそんなに難しいことではないが、立ち上げたNPO法人を維持・発展させていくことが意外と難しいということです。NPO法人にはその使命を果たすことができる専門家と運営のプロがなくてはならない存在であるということがはっきりしてきました。</p> <p>当センターも前身の岡山NPOサポートネットワークを設立してから10年が経ち、設立以来NPO支援に向けて試行錯誤してきましたが、NPO運営のプロの養成という使命が明確になってきました。おりしも、岡山県ボランティア・NPO支援センター（ゆうあいセンター）の指定管理者として岡山県社会福祉協議会と共同受託の2期目に入ったところで、当センターとしてはゆうあいセンターとの棲み分けをしながら、当センターでしかできないことを特に重点的に考えていきたいと思っています。また、指定管理者としてもう3年間の時間をいただきましたが、この間に当センター本体の自立に向けての自主事業も立ち上げたいと願っています。</p>
今後の方向性・ビジョン	<p>自助、共助、公助という言葉があります。地震、津波、原子力発電所の放射能漏れなど想定外の未曾有の被害を受けた今回の東日本大震災では自助はまず不可能ですし、公助の対応もなんだか心もとないところです。その中で共助の勢いが目立っています。義捐金募金では有名人や企業の大口募金が数多く与えられ、ごく普通の一般人の募金意識も高く、阪神淡路大震災をはるかに上回る勢いで集まってきています。また、救援ボランティア活動も盛んになっています。この共助こそわれらNPOが最も得意とする分野であり、期待されているところです。これからも長期にわたって続けられるだろう支援活動について当NPOができることは何であるのか問い続けようと思っています。</p> <p>新しい公共事業が2年間の限定でスタートしようとしています。NPOを公共の働きの担い手に育成しようとする試みですが、当センターの設立趣旨にかなった動きであるので、行政組織や様々なNPOとの協働によって積極的に関与したいと願っています。今後のNPO運動のはずみになると確信しています。</p> <p>現在、岡山県より受託中の中山間地域協働支援センターについても新しい動きが見られます。岡山県では中山間地域の活性化を最重要課題の1つとして捉え、積極的なアプローチを試みているところですが、NPOを担う人材育成に実績を持つ当センターの働きが期待されているところです。</p> <p>指定管理者としてゆうあいセンター（岡山県ボランティア・NPO活動支援センター）を運営する事業は3期目をスタートさせました。岡山県社会福祉協議会との共同管理でお互いの持ち味、得意分野を共有して全国でも珍しい成功事例の1つになっています。今後5年間さらにパワーアップして岡山県下のボランティア・NPOの支援活動に邁進したいと願っています。特に各地域の市民活動支援センターとの連携を深め、中間支援組織のリーダーとしての役割を明確にしたいところです。</p> <p>共助が注目を浴びている昨今、当センターの役割はますます大切になってくると自覚していますが、だからこそ会員諸兄姉のますますのご支援ご協力をよろしくお願い致します。</p>

NPO 法人岡山 NPO センター

受入団体報告 中道文史

1. インターンシップの内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">●チャリティイベント「Okayama Share Project」にむけての準備●チャリティイベント「Okayama Share Project」のワークショップ担当●「認定 NPO 法人取得促進のための税理士・会計士向け取得支援者養成講座」の名簿作成●NPO 法人への融資に関する調査（計画、ヒアリング調査、アンケート調査、報告書作成）
2. 学生による具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">●チャリティイベント「Okayama Share Project」の書類、作業分担表、名簿、チラシ原案●チャリティイベント「Okayama Share Project」の成功●「認定 NPO 法人取得促進のための税理士・会計士向け取得支援者養成講座」の参加者名簿●NPO 法人への融資に関する調査のアンケート、報告書
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。
強み <ul style="list-style-type: none">●与えられた業務に対して真摯に向き合おうとする姿勢●理解力・文章力・論理的思考能力●仕事を任せることができる責任感の高さ 成長を感じた点 <ul style="list-style-type: none">●打ち合わせの際に自分の意見を述べるようになったこと。●自分で考えて物事を考えるようになったこと。●インターンシップ当初から意思疎通能力は高かったが、業務内容の理解や、様々な年齢・背景を持つ方々との意思疎通を通じて、コミュニケーション能力がより向上したこと。
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">●業務遂行の主戦力として活躍して頂いた。●イベントの打ち合わせやチラシ等で、若者の意見を取り入れることができた。●インターンシップ生の真摯な姿を拝見し、スタッフ一同が触発された。●インターンシップ生の成長を通じて、NPO インターンシップの価値を改めて認識できた。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
達成度：200% インターンシップ生は兩名とも主戦力として活躍して頂いた。いずれの業務も、任せた仕事はすべて期待以上の結果を残してくれた。また、スタッフ一同、インターンシップ生の業務に対するひたむきな姿勢に常に触発され、こちらとしても得るものが大きかった。インターンシップ生の兩名には改めて感謝します。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。
インターンシップ生の兩名は、それぞれの個性を活かして業務をしっかりと遂行して頂きました。一名はこちらの日程と合わず、少ないインターンシップ日数であった点は非常に申し訳ないと思っています。しかし、兩名ともインターンシップ終了後の姿は見違えるほどたくましくなっており、インターンシップ生を担当する私にとってもたいへん貴重な機会でした。本 NPO インターンシップ事業の重要性についても身近に感じる事ができました。インターンシップ生の皆様、本当にありがとうございました。

NPO 法人岡山 NPO センター
インターンシップ生報告① 槇本由加里
インターンシップ日数：3日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
大学のキャリアセンターからのメールで、ボランティアに近いものだと思って興味がわきました。また、就職活動にも役立つと聞いたので、まずは説明会に行ってみようと思いました。その後説明を受けて、NPO インターンシップはボランティアとはまた違った内容だと理解しました。夏休み中ということもあり、時間がとれるため、インターンシップを始めることで今まで体験したことの無いことをできるのではないかと思い、全三回の説明会に行き参加を決めました。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
90 / 100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・チャリティイベントにむけての準備・チャリティイベントでのワークショップのスタッフ
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・ Word や excel の使用方法、機能を知った。・ 人とのつながりを感じた。・ 働くこと考え方が変わった。
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。
ワークショップを後楽園で行った際、ブルーシートを敷き広々とした芝生のなかでしました。そのため、参加した子供たちは靴を脱いで、暖かい気温のもと楽しそうに絵を描き、ゲームをしていました。子どもたちが外で遊ぶ環境はとても大切だと思います。普段小さな子どもと遊ぶことがほとんどないため、一緒に遊んで笑っていることが楽しかったです。参加者の子どもたちのお母さん方に「一緒に遊んでくれてありがとね。」とお礼を言われたのもうれしかったです。
6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
やはり一番大きかったのは、チャリティイベントに参加したこと。自分がイベントを開催するスタッフ側に立つと、その場にいるたくさんの人々のつながりを感じました。また、やりがいも感じ、またイベントのスタッフとして何かの行事に参加したいとおもいました。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
インターンシップに参加するまで、人前で発言するのが好きではなかったのですが、研修会で自分のことについてプレゼンテーションをしたとき、伝えたいことを緊張しながらもちゃんと伝えました。また、ほかの人のことをもっと知りたいと思い、質問をしました。インターンシップを通して、以前より積極的に行動できるようになったと思います。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
チャリティイベントを開催するまでに、たくさんの書類作成、打ち合わせ、意見の出し合いなど行われているのを見ました。また、イベントに実際行った時もたくさんの NPO 法人やボランティアの人、地域の人々の協力で成り立っていることを知りました。イベントなど行うためには、絶対に一人、一つの会社だけではなく、いろんな人々の協力が必要なのだと感じました。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
NPO は温かみがあるグループだと思いました。特にイベントを行った際、出会った NPO に関係する方たちは、子どもたち、お年寄り、家族などいろんな人のことを考えて様々なイベントをしていることを知りました。以前行ったことやこれから企画していることなど話を聞くと、どれもが人のためでした。いろんな人のことを思って活動している NPO さんだと思いました。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。
インターンシップを始める前と終わった後はいろんな考え方が変わると思います。就職活動や就職をする前に、企業や団体の仕事現場を实际見て、学ぶことがたくさんあるはずです。インターンシップに行かれた方は、どんなところに就職したいのか、また自分が仕事をする姿などイメージが浮かぶと思います。私がある一人なのでぜひインターンシップに一度参加することを勧めます。

日常業務報告 楨本由加里

9月9日（金）業務報告

業務内容

今日は10月7・8日に行うチャリティイベントの作業分担表や参加される方の申込書のデータを記入する作業をwordやexcellを使ってパソコン業務を一日しました。具体的な企画書をもらい、どのようなことをするのか以前よりはっきりみえてきました。また、ミーティングに参加しそれぞれの分担を決め、私はワークショップ部門の担当になりました。芸術家の方によるアートが飾られるそうなのでそのお手伝いをします。来週からもチャリティ活動に向けて準備を頑張っていていこうとおもいます。

具体的な成果

パソコンのwordやexcellを使ったことはあったんですが詳しくは知らなかったので、今日NPOセンターの方々が初心者に近い私に優しく丁寧に教えてくださり表をいくつか作れるまでになりました。インターンシップ中だけでなく、就職活動に向けてなどこれからパソコン業務をすることは多くなると思うので、ただの作業ではなく為になる経験になりました。

自己採点

90点

学び・気づき・課題等

私は長時間パソコンにむかって作業することが大学の課題以外にないので、すぐに疲れがでてしまいました。wordやexcellでもいろんなところをつついてみて、どこをおしたら枠線や表がでるのかなど知っておかなければ、いざ何かを頼まれたときすぐに作業ができないなと思いました。今日教えていただいた手順を使いながら遊び感覚でなにかをつくってみたりしてみようと思います。

9月14日（水）業務報告

業務内容

チャリティイベントにむけて必要な資料作りをしました。協力、支援してくださる店舗の情報を集めたり、岡山県内の幼稚園、病院（小児科）、公民館など子どもが集まる場所にイベントに参加していただけるようまとめました。またワークショップで行うことを話し合いました。

具体的な成果

NPO法人0-99 おかやまおしえてネットの洲脇さんとのミーティングで自分が担当するワークショップの責任感を感じました。お客さんにはもちろん楽しんでもらいたのと、チャリティイベントを行う目的もしっかり考えたいと思いました。

自己採点

80点

学び・気づき・課題等

話し合いに参加してみて、企画者の方の思いがワークショップのイベントにすごく反映されているなと思いました。“繋がる”をテーマに遊びの中にも何かのつながりを感じられる企画案がありました。主に子どもを対象とした楽しい遊びが3つほどあります。子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が思い描けたので、同じ担当者として絶対がんばりたいと思いました。

9月26日（月）業務報告

業務内容

ワークショップの中の企画である「わらしべ長者」のチラシ作りをしました。対象が小学4年生であるため、イラストをできるだけ多く取り入れてわかりやすいチラシになるように気をつけました。他に、岡山NPOセンターさんが推進している「認定NPO法人取得促進のための税理士・会計士向け取得支援者養成講座」に申し込まれている方のリストをまとめる作業をしました。

具体的な成果

チラシ作りの難点を知りました。まず一番目に入るタイトルはインパクトがあるほうがわかり易く、チラシの内容もあまり字が多すぎると読みにくく、伝わらないということが時間をかけて作っていくうちに分かりました。そう思うと、普段さまざまところで目にするチラシはよくできているなど感じました。ものなど実際自分が作る立場になって初めてわかることがありました。

自己採点

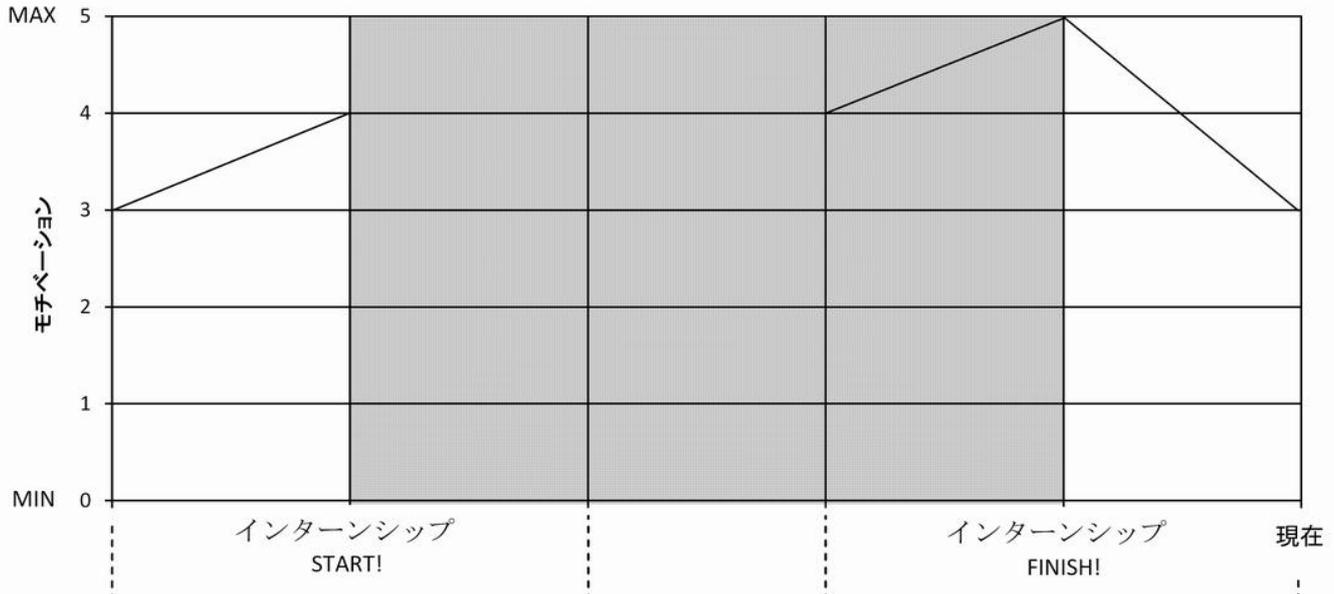
85点

学び・気づき・課題等

チラシ作りにはかなりの時間を費やしてしまいました。wordの使用に慣れていないせいもあり、文字の配置や形状などわからないことが多かった。ごちゃごちゃしたり文字列がずれたりなかなか納得できず、必要以上に何度もやり直してしまいました。もう少し作業を早くできるようにしたいです。

モチベーションシート 槇本由加里

インターンシップ期間



自分のモチベーション・考え方が変化するきっかけ	計三回の説明会を受けて、インターンシップ先が決まっていき、徐々に気持ちが上がっていったため。	NPOの方が実際に働いている所でパソコン作業を行い、初めての体験をしたため。		チャリティイベントに参加したため。	
上記の前後関係、得たこと 心の変化、克服・持続方法	NPO 法人が何か、どんなことをしているのか把握した。説明会中のプレゼンで、なぜインターンシップに参加しようと思ったのかなど自分のことを発表する場所でさまざまな人と交流できた。	Word や Excel を使用するうえで、今まで知らなかった活用方法を知った。将来使用するときの参考になった。	実際にミーティングに参加して、その場ででた意見や提案がどのようにイベントに反映されるのか興味がわいた。	自分が担当した部門を一日通してやりきった達成感を味わえた。	インターンシップを終えて、一か月以上経ったので多少忘れてしまったこともある。
業務内容		参加する企業やほかのNPO団体の資料作成。チラシ作り。		子どもたちにワークショップの説明、一緒に遊ぶ。	スライド作成中。

NPO 法人岡山 NPO センター
インターンシップ生報告② 森彩加
インターンシップ日数：20日

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。

最初に私が NPO インターンシップについて知ったのは学内で広告を発見した時でした。そのチラシには社会貢献の仕事と書かれており、社会貢献の仕事とは実際どんなものかと興味を持ち、とりあえず、インターンシップ説明会に参加することにしました。そして、そこで説明を受け、各 NPO で取り組む課題を知り、ちょうど夏休みの期間であるし、どうせ参加するなら結果が残るようなことをしたいということから参加を決めました。

2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？

85 /100 %

3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。

●NPO 法人への融資に関する調査

- ・作業の流れの決定（計画）
- ・現在の NPO 法人の財務状況や支援の仕組み、資金の調達環境について調べる（情報収集）
 - ーヒアリング調査やアンケート調査も含む
- ・新たな仮説の設定（予測）
- ・報告書の作成（結論）

4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。

- ・今後の NPO 法人の資金調達手段について考える機会となった。
(融資の在り方や仮認定、新寄附制度などを知ることができ、今後このような制度たちを含め、「NPO 法人の収入源の変化するのではないか。また、新規事業などへのサポートが重要となってくるのではないだろうか。」などを考えることができた。)
- ・また、上記のことも含めて NPO 活動に興味を持ち、社会人となっても何らかの形で活動へ参加していきたいと思えるようになった。
- ・会計知識を生かした分析による貢献ができたのではないかと思う。

5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

今回のインターンシップの中で印象として残っている言葉は「将来的に見て」という言葉です。確かにこれまで「将来的には〇〇である」や「将来を考えて行動する」といった言葉はたくさん聞いてきました。そして、今までもその言葉通り考え行動してきたつもりでした。しかし、今回インターンシップということで実際に業務に携わり、問題点から今後どういった状況が想定できるか、その状況を解決するためにはどうしたらよいかなどを考えてみて、「これまでの私の考え方は今現実に起こっていることだけを見て判断していたのではないか、本当に将来起こりうることを考え、行動してきたのであろうか」ということを考えさせられました。そして、今後は物事を見て考えるときには長い目で見ることの大切さを感じました。このように今までの自分の考え方へ変化をもたらした「将来的に見て」という言葉が私には印象的でした。

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。

岡山 NPO センターでは NPO 法人に対する経営支援としてセミナーや勉強会等を行います。私のインターンシップの業務は融資調査でしたが、こうしたセミナーのスタッフとしての手伝いもさせていただきました。そして今回は今年度（平成 23 年）の NPO 法の改正や新制度の導入に関連するセミナーを行うこととなり、私もそれについて調べました。そこで仮認定制度や新寄附金制度などを知り、「これらの制度により NPO が資金を調達しやすく、NPO の活動が活発化するのではないか。また、融資の借入れにも影響があるのではないか。」と考えました。

このことから今後の NPO の活動や運営、金融業界に何らかの影響をもたらす可能性があるこれらの制度に興味を持ちました。

7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。

・今回のインターンシップで私の強みは粘り強さと努力を怠らないことにありと深く感じました。今回の業務での融資調査ではNPO 法人の財務諸表などを参考にしなくてはなりませんでした。企業とは少々異なるところもあったのでそれを補うために参考書等を借りて、業務に臨んだり、予定がいっぱいでもインターンシップに参加して報告書に取り組みました。今思い返してみると、負けず嫌いの面や中途半端なことをしたくないという思いからそのような行動をとったのかなと思います。しかし、それを裏返すと私の強みはこうした粘り強さと自分でやり遂げるための努力の姿勢であると考えています。

・また、インターンシップで将来を見据えて物事を考えることを学びました。確かに今までもこのことについては気を付けてきたことですが、今回の調査で問題点が明らかになって今後の資金調達の在り方というものを考えることにより、未来を予測するという姿勢が身についたと思います。

8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

今まで私はアルバイトを通じて仕事での「責任」について学んできましたが、今回のインターンシップでは仕事をする意味や目的について深く考えさせられました。

各団体にはその活動の目的があり、業務もその目的に沿ったことを行っています。今回の業務の融資調査では今後、NPO に対する運営支援を行うための融資の現状の把握のために行ってきました。より正確に現状を進めるためにはその調査の進め方や何を対象として調べるかが問題であり、様々な側面からの観察も必要でありました。そこで、ポイントとなったのは新仮説でした。初めに現在の融資はこうした状況となっているのではないかと仮説を設定することで金融機関へのヒアリング調査やNPO 法人へのアンケート調査などで聞きたいことがわかり、金融機関へ聞く時やアンケート作成時にスムーズな作業ができました。また、それらを経て、これまでの情報をまとめる時に融資の実態やNPO の融資に対する意識が見えてきて、本来の融資調査の目的になっており、この融資調査を通じて今後のNPO への経営支援に繋がっていくと思うと仕事は最終的にその団体の活動目的にたどり着き、それが社会に貢献されるということを今まで以上に強く感じました。

仕事は自分が責任を持つことも大切ではありますが、それ以前にその責任を果たすためにもその仕事内容の意味や目的について考えて遂行することが重要となるのだと思いました。

9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。

私は最初、NPO へのイメージとしてボランティアというイメージを強く持っていました。しかし、実際はそうではなく、地域の課題解決を目的に仕事として構成された組織であることがわかりました。融資調査で貸借対照表を分析していると多くの事業分野が存在しており、NPO 法でも17分野に分かれていることを知りました。そして、各団体ごとに事業の目的・定款が存在し、それに応じた事業分野を担っていました。

NPO は会社と似た一面を持っており、定款やそれを仕事とする職員も存在しています。しかし、その定款・目的はただ単に社会貢献というだけではなく、その地域で起こっている具体的な課題解決を目指している狭義の意味での社会貢献であると思いました。

10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

今回のNPO へのインターンシップを経て、私は今までになかったものをたくさん得られたと思います。この経験で得たものはNPO での活動だけでなく、社会人となって企業などに勤めても使えるものだと考えていますし、今後も活かしていきたいです。

何もしなければ、何も知ることも得ることもできません。参加すること自体に意味があるのではないかと私は思います。実際に参加してみて、自分が経験することによって本当の理解も深まるものです。

ぜひ、インターンシップに参加し、社会貢献の仕事はどのようなものかを知って、同時に自分を高めてほしいと思っています。

日常業務報告 森彩加

9月5日（月）業務報告

業務内容

本日はNPO法人への融資に関する調査を行うためにまず、銀行の融資条件（対象者や資金使途、融資金額等）について調べてそれを資料として作成しました。そして、各事業の流動負債を多いもの順に順位化し、その流動負債が多い事業がどの分野に携わっているかを明記しました。

具体的な成果

前回ミーティングで決めた流動負債の事業別ランキングの作成と銀行別の融資条件の資料作成。

学び・気づき・課題等

流動負債を多い順に見ていくとやはり各事業で医療・福祉を分野に持つ事業が多いなと思いました。また、NPO法人自体を対象とした融資を行っている銀行は中国労働金庫しか見当たらず、ほかの銀行は法人や個人への融資を行っていることがほとんどであることがわかりました。今後の課題については本日の業務で流動負債の事業別ランキングを作成していて、関数を使いこなせていないなと思いました。そこでどの関数でどの範囲を選択するか常に意識し、速やかに判断できるようにしていきたいです。

9月6日（火）業務報告

業務内容

本日はまず、昨日未完成であった銀行別融資条件リストを完成させ、次に流動負債合計ランキングの各事業の流動比率を出しました。そして、各事業の固定負債合計ランキングを作成し、最後に岡山県・市町村での福祉事業への助成金・補助金の制度について調べました。

具体的な成果

銀行別融資条件リストの完成と流動負債合計ランキングの各事業の流動比率を明記、固定負債合計ランキングの作成

自己採点

50点

学び・気づき・課題等

固定負債合計ランキングの作成は昨日よりスムーズにできました。また、各事業の固定負債の合計を多い順に順位化していくと流動負債合計ランキングと同様、各事業が担っている分野に医療・福祉が含まれていることが多いことがわかりました。そして、このことから資金の借り入れといった手段をとる場合、やはり事業分野との関連性があるのではないかと思います。しかし、作成した各事業の流動比率や流動負債合計ランキングや固定負債合計ランキングから明確な仮説を導き出すことはできず、まだ上手に情報整理ができていないことに気づきました。次は情報を整理し、その情報からどのような結論が導き出せるかを意識して業務に務めます。

9月8日（木）業務報告

業務内容

流動負債・固定負債合計ランキングの top 10 に各事業名を付け加えました。また、どれだけ負債を抱えているかをより分かりやすくするために各事業別に負債比率と資本負債比率を出しました。そして、岡山県・市町村の福祉事業に対する助成金・補助金制度のリストの作成とその他の助成金・補助金制度のリストの作成に取り掛かりました。

具体的な成果

各事業別負債比率と資本負債比率を表記。各事業名を出すことにより仮説が一つできた。

学び・気づき・課題等

今回、各事業別負債比率と資本負債比率を出すことにより、多くの事業が自己資本に対して負債が占める割合が高く、他人資本で補っていることに気づきました。また、各事業名を出すことによって融資期間の長さは事業分野の中の事業内容によって異なるのではないかと思います。今後の課題としては本日の業務中、助成金・補助金制度についての情報がなかなか見つからず、ずっと悩んでいて作業が進まずにいました。時間が経ってからスタッフの方が作業が進んでいるか尋ねてくださり、私が作業が行き詰まっていることを言うと助言してくれました。そこから作業が進みました。次からは自分だけでずっと悩まずに他の人に相談もしたいと思います。

9月12日（月）業務報告

業務内容

本日は前回取り掛かった岡山県・市町村の福祉事業に対する助成金・補助金制度のリストとそのほかの助成金・補助金制度のリストを作成しました。また、各事業分野の割合をわかりやすくするため、補助円グラフ付き円グラフを作成し、最後に今までに作成した資料の情報整理を行いました。

具体的な成果

岡山県・市町村の福祉事業に対する助成金・補助金制度のリストとその他の助成金・補助金制度のリストの完成と各事業分野の割合の補助円グラフ付き円グラフの作成、今までの資料のまとめ

自己採点

70点

学び・気づき・課題等

本日、初めて補助円グラフ付き円グラフを作りました。思うようにグラフができず、スタッフの方に相談したり何度もやり直したりと苦労しましたがなんとか作成することができました。今回得た知識を今後も生かしていきたいと思います。そして、その作成した円グラフから流動負債合計ランキングでは医療・福祉が一番多いがその他の事業が均等になっていることがわかりました。また、その一方で固定負債合計ランキングでは医療・福祉が一番多く、その他の事業にばらつきが生じていることがわかりました。このことと前回作成した事業名リストや銀行別融資条件リスト、助成金・補助金制度のリストとを合わせて考えるとNPO法人が融資を受ける際は行政からの助成金等がなく事業を行う上でどうしても必要な場合に借入といった手段をとる傾向があり、また銀行側も事業内容によって融資期間を決めているように思いました。

今後の課題としてはグラフ作成の際、とても時間がかかってしまいました。どのような種類のグラフも自由に使いこなせるように予めいろんなグラフの作成方法を調べ、場面に応じて作成していきたいと思います。

9月13日（火）業務報告
業務内容
本日は新仮説を立て、スタッフの方に意見を聞きました。そこでスタッフの方から質問がありましたが調べていなかったため、答えられませんでした。そして、スタッフの方の指摘から岡山県信用保証協会の利用にあたっての資格・条件等を調べ、商工会議所の融資支援についても調べました。最後に立てた仮説に基づいて銀行への質問リストを作成しました。
具体的な成果
新仮説の作成と岡山県信用保証協会の利用についての資料の作成、銀行への質問リストの作成
自己採点
70点
学び・気づき・課題等
仮説をいくつか立てたが内容を見るかぎり、被る点がいくつかあり、そこから銀行に聞きたいことの中核にNPO法人への融資の審査基準とNPO法人に対する融資意欲があることに気づきました。また、商工会議所や岡山県信用保証協会について調べるうちに中国労働金庫にあるNPO法人に対する融資プランを使うよりも個人で商工会議所や岡山県信用保証協会に入って融資を受けるほうが良いことにも気づきました。今後の課題としては意見を聞く時は質問に答えられるようにどのような疑問が生じるかを意識して分析していきたいです。

9月14日（水）業務報告
業務内容
本日は銀行の融資の申請を行う際の必要書類について調べ、資料として作成しました。また、中国労働金庫に対する「NPO法人の融資に関する調査 質問票」を作成し、最後にNPO法人自体に対する「NPO法人への融資に関する調査 質問票」を作成しました。
具体的な成果
銀行への提出書類の資料の作成と中国労働金庫への質問票の作成、NPO法人へのアンケート作成。
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
本日、質問票の作成をしてアンケート等の作成時に気をつけることがわかってきました。アンケートの作成ではどれだけ相手に分かりやすく答えやすい形式で作ることが大切で、質問は短く簡潔にして行もしっかりと空け、詰めた状態にしないなどということに気づきました。今回学んだことを今後のアンケート作成に生かしていきたいと思います。

9月16日（金）業務報告
業務内容
本日は以前作成していたアンケートを引き続き作成し、中国労働金庫へヒアリング調査に行きました。その後、ヒアリング調査で得た情報を整理し、担当のスタッフの方と報告しあい、仮説とアンケートの質問項目を補正しました。
具体的な成果
アンケート作成と中国労働金庫へのヒアリング調査、ヒアリング調査後の報告と仮説と質問項目の補正
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
本日のヒアリング調査で銀行の貸し出しの際は重視する点は特になく、財務状況や事業計画、目的等を総合的に判断していることがわかり、自分の立てた仮設が外れました。次回は今回のヒアリング調査で得た情報を踏まえて新仮説を立てていきます。

9月20日（火）業務報告
業務内容
本日は以前の中国労働金庫のヒアリング調査の結果をもとに仮説を改めて立て直し、アンケートの修正も行いました。また、それとは別に岡山県内の税理士事務所のリストを作成し、最後に10月にあるキャリアイベントのための広告・宣材等を封筒に入れて送付の準備を行いました。
具体的な成果
新仮説の設定とアンケートの修正、岡山県内の税理士事務所のリストの作成、広告・宣材等の送付準備
自己採点
30点
学び・気づき・課題等
本日、岡山県内の税理士事務所のリストの作成のために岡山県内の税理士事務所を検索して税理士事務所が思っていたよりも多くありすぎて表にするのが大変でした。また、作成してみて表が見にくいことに気づきました。このリストはほかのスタッフの方も使用するものでもあります。今後は他の方も使いやすくするための配慮に気を付けて作成していきたいです。一方、NPO法人への融資調査の方は仮説が前よりも要点を絞り込むことができ、アンケートも徐々に具体的となって完成に近づいてきたと思います。今後もこの調子で調査を進めていきたいです。

9月21日（水）業務報告
業務内容
本日は前回作成したアンケートと仮説についてスタッフの方の意見を聞き、その意見からアンケートの修正と仮説の修正を行いました。また、NPO法人を対象とした融資制度のご案内の資料とその概要の資料を作成しました。そして最後に広告・宣材等の送付準備として今回は封筒の開け口をセロハンテープで止める作業をしました。
具体的な成果
アンケートの修正と仮説の修正、NPO法人を対象とした融資制度のご案内の資料とその概要についての資料の作成、広告・宣材等の送付準備
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
NPO法人を対象とした融資制度のご案内の概要資料を作成中、季節の挨拶や文章の書き方にとても気をつけました。季節の挨拶を使った文章を書く機会はあまりなく、どのような挨拶があるのか正直わからなかったので、インターネットで調べました。社会人となれば、利害関係者等への手紙やメールに季節の挨拶を書くことは多々あると思います。最低限のビジネスマナーを身につけなくてはいけないと感じました。

9月22日（木）業務報告
業務内容
本日はまず最初に今まで調べたことのとまとめを図にし、仮説の修正とアンケートの修正を行いました。図は融資を受けている場合と融資を受けたいが受けられない場合、受ける気がない場合と3つに場合分けを行い、それぞれの理由と要因について簡潔に記しました。
具体的な成果
これまでの情報の整理とアンケートの修正および仮説の修正
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
本日はそれぞれ場合分けをし、融資に関する問題点を考えてみました。しかし、最も重要な受けられない要因として考えられるものが財務状況や申し込み理由、金融機関の条件等であり、これでは何をサポートすればよいのかが見えて来ない。もう少し詳しく融資を受けたいのに受けられない要因について探る必要があると思いました。

9月29日（木）業務報告
業務内容
報告書の目次の作成
具体的な成果
報告書の目次の完成
学び・気づき・課題等
アンケートやその表紙、そして今回の報告書の目次の作成を終え、融資調査が徐々に進んできています。あとは金融機関のヒアリング調査を済ませてそれをまとめ、アンケートを集計したりとまだすることはたくさんありますが、現在わかっているデータをまとめて少しずつ報告書の作成に取り掛かりたいと思います。

9月30日（金）業務報告
業務内容
本日は来週のヒアリング調査を行う金融機関への質問をまとめ、報告書の作成に取り掛かりました。また、今度のイベントで使う写真の貼り付けを行いました。
具体的な成果
次回のヒアリング調査への質問の追加と各店舗の写真の貼り付け、報告書の作成
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
今日、イベントでの各店舗の笑顔の写真を貼り付けていて、もうすぐイベントが始まることを強く感じ、とても楽しみになってきました。一方で私が担当しているNPO法人への融資調査の方は報告書の作成に入ったものの、推察や結果、意見などの表記やグラフ・図の作成に苦戦し、なかなか進みません。次回は報告書のNPO法人の財務状況を完成へ近づけていきたいです。また、銀行へのヒアリング調査が進むのでそのヒアリング調査の結果を踏まえて、仮説を見直していきたいと思います。

10月8日（土）業務報告
業務内容
share project
自己採点
60点
学び・気づき・課題等
本日はイベントや屋台などの準備やパンフレット配り、イベント終了後の片付けを行いました。イベントは無事に終了し、私自身もとても楽しむことができ、イベントに参加して頂いた方々にNPOがどのような組織かということを知ってもらえたと思います。イベントが成功して良かったです。次からは私が担当しているNPO法人に対する融資調査の報告の作成を続けます。

10月13日（木）業務報告
業務内容
本日は報告書の作成の続きを行いました。
具体的な成果
財務状況の設立年度と分野の項目を終え、負債の項目の流動資産と固定負債合計を終えました。
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
本日、流動比率の表を作成していて、選択するデータを間違えてしまい、作り直しとなってしまいました。今後は間違えないように念のため、確認して作成します。

10月17日（月）業務報告
業務内容
本日はNPO法人への融資に関する調査のアンケートを再び作成し、次に報告書の流動比率と資産合計・負債合計の項目の作成に取り掛かりました。
具体的な成果
NPO法人への融資調査アンケートの作成し、報告書の流動比率の項目を終え、資産合計と負債合計の項目の作成に取り掛かりました。
学び・気づき・課題等
本日、アンケートの作成が最終段階に進みました。回収率を上げるにはアンケートに答える側が答えやすいように作らなくてはならないので、答えやすいようにアンケートを編集するのに苦戦しました。しかし、無事にアンケートが完成の段階に入ってきたです。次回はアンケートの送付準備を行い、資産合計と負債合計の項目と負債比率の項目の作成に取り掛かるように努めます。

10月18日（火）業務報告
業務内容
本日は各NPO法人に送付する資料等を再度見直し、資料の訂正を行いました。そして、封筒に住所記載の郵便シールの貼り付けを行いました。
具体的な成果
資料の完成
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
本日は発送準備だけで終わってしまい、報告書の作成までにありつけませんでした。しかし、作成した資料等の送付準備が整いつつあり、いよいよ発送かと思うと「長かったなあ、作成した資料が役に立つといいな。また、アンケートはどれだけ返ってくるかな」と少しの期待や不安を感じました。 次回は報告書の作成に励みたいと思います。

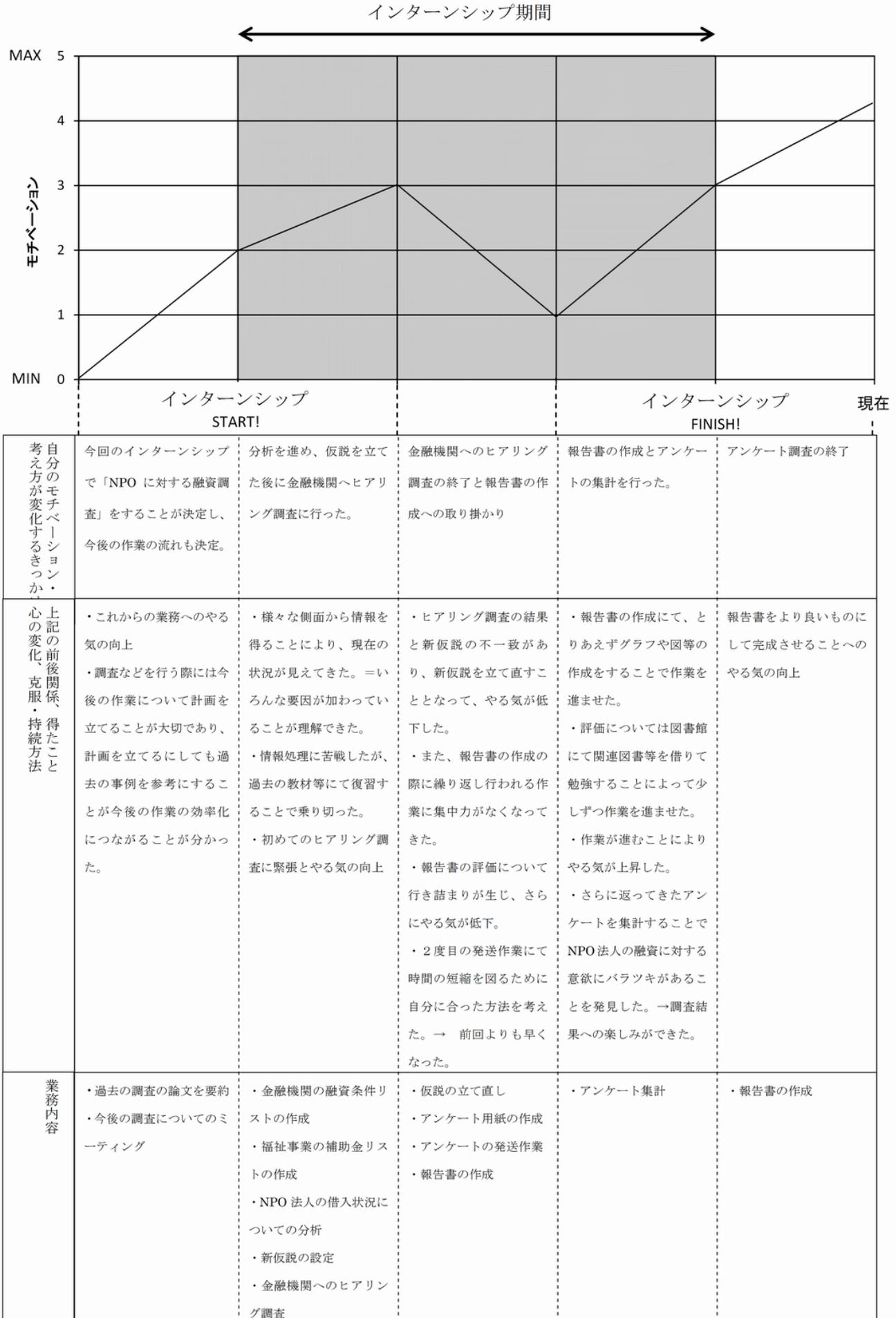
10月20日（木）業務報告
業務内容
昨日、無事に各NPO法人に資料を発送することができたので本日は再び、報告書（資産合計と負債合計の項目）の作成に取り組みました。
具体的な成果
なし
自己採点
30点
学び・気づき・課題等
昨日、やっと各NPO法人に資料を発送することができました。あとは回収されたアンケートを集計するという大きな役目が残りました。アンケート結果が仮説とどう違ってくるか楽しみです。アンケート回収までの間は報告書に没頭したいと思います。 本日の報告書の作成はなかなか進みませんでした。一度作成した表の合計金額と貸借対照表にある合計金額が一致せず、再度全ての表を作り直すことになり、かなりの時間ロスとなってしまったからです。なぜ、合計金額が合わなかったはおそらくデータの選択ミスだと思います。膨大なデータを処理するのであるのだから、慎重に選択する列・行を選択していき、表ができた後も合計金額等があるかの確認をしてから次の表の作成に取り掛かります。 次回は表とグラフが完成したので分析結果の記載をしていき、資産と資本の項目を完成させていきたいと思っています。

10月25日（火）業務報告
業務内容
昨日は報告書の収入と支出の項目に載せるグラフ等を作成しました。 収入科目は円グラフを作成し、支出は費用科目が多かったため、見易いように一覧表を作りました。そして、午後からはアンケート集計表の作成を行いました。
具体的な成果
特になし
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
<p>昨日のアンケート集計表の作成時にどのような形式で作成すれば集計がしやすいかということに悩み、とりあえず、自分なりに考えて作成してスタッフの方々に意見を聞きました。するとアンケート集計表の作成において以下の点に気を付けることを学びました。</p> <p>まず、①取り扱うデータの確定→個別のデータもしくは全体のデータ、どちらを主に扱うか？ もしくはどのような項目を実際に処理し、利用するか？</p> <p>次に②効率的な集計方法を行うために記号を用いた集計方法にする。それには各項目と一緒に記号を記す。</p> <p>今回で学んだ知識を今後活かしていきたいです。また、次回は報告書の作成だけでなく、アンケート集計も始めたいと思います。</p>

10月27日（木）業務報告
業務内容
本日は返ってきたアンケート集計を行いました。思っていたよりもたくさん返ってきていたので処理するのに時間がかかりました。
具体的な成果
特になし
自己採点
40点
学び・気づき・課題等
<p>本日のアンケートの集計作業にて返ってきたアンケートの数が多く、処理するのが大変でした。しかし、アンケート集計をしているうちにNPO法人で融資を実際に借り入れているところは少なく、借り入れに対する意識もばらつきがみられることに気づきました。</p> <p>返ってきたアンケートは多いといってもまだ半分にも達していません。これぐらいの量でつぱってはい私もまだまだだなと思いました。また、本日はアンケート集計だけで終わってしまったのでどうにか効率のいい方法を考えて集計に臨みたいと思います。明日はアンケート集計だけでなく、報告書の作成にも入っていくことを目標に業務を遂行していきたいです。そして、これから返ってくるアンケートを集計し、しっかりと分析していきます。</p>

10月28日（金）業務報告
業務内容
本日は昨日のアンケート集計の続きを行いました。とりあえず、届いたアンケートの処理は終えたので、報告書の作成に入りました。報告書では事業分野別の事業収入の割合のグラフを作成し、資産と資本の評価に取り掛かりました。
具体的な成果
届いたアンケートの処理
自己採点
50点
学び・気づき・課題等
<p>本日は昨日、目標を立てたようにアンケート集計を行い、報告書に入ることができました。しかし、報告書の点ではほとんどがグラフ作成で終わってしまい、分析・評価はあまり進みませんでした。アンケートが届き始めて、今している項目を早くを終わらせようと焦って記入を始めましたが、最後に読んでみると矛盾する点が多々ありました。事前にしっかりと分析を行った後に評価し、記入作業に移りたいと思います。</p>

モチベーションシート 森彩加



Ⅲ

参加者アンケート集計結果

1. 参加者アンケートの概要
2. NPO インターンシップへの参加動機
3. 「仕事」に対する意識の変化
4. 「NPO」に対する意識の変化
5. NPO インターンシップの満足度

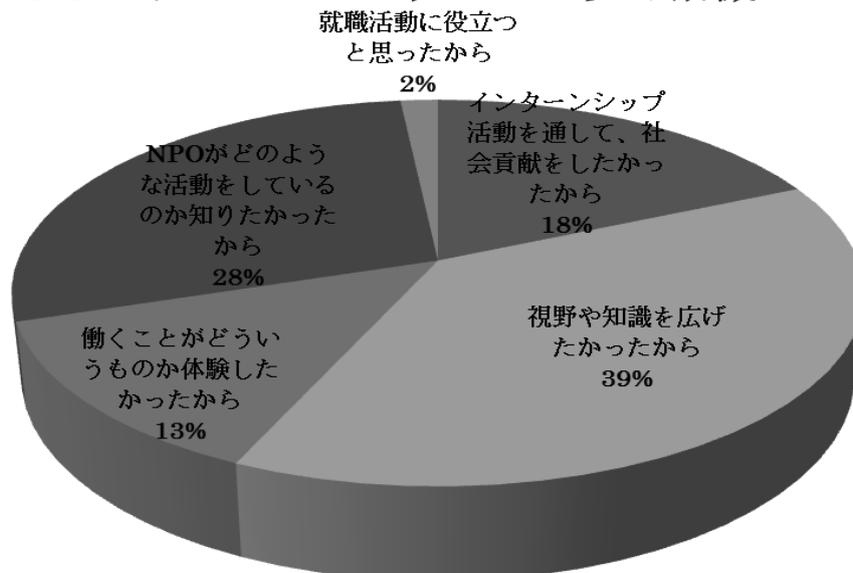
1. 参加者アンケートの概要

2011年夏季に行ったNPOインターンシップの参加者に対し、インターンシップに関するアンケート調査を行った。具体的には、「NPOインターンシップへの参加動機は何か?」、「NPOインターンシップを経験したことによって”仕事”に対する意識は変化したか?」、「NPOインターンシップを経験したことによって”NPO”に対する意識は変化したか?」、「NPOインターンシップの満足度はどうか?」の4点について、御回答頂いた。ここで示すアンケートの集計結果は、アンケートを回答頂いたインターンシップ生15名分のものである。15名の内訳としては、大学生11名、短期大学生1名、社会人3名である。具体的な集計結果を以下に示す。なお、アンケート表は巻末の参考資料に示してあるので、適宜参照されたい。

2. NPOインターンシップへの参加動機

NPOインターンシップへの参加動機をアンケートにより調査したところ、「視野や知識を広げたいから」が37%、「NPOがどのような活動をしているのか知りたかったから」が33%、「働くことがどういうものか体験したかったから」が15%、「インターンシップ活動を通して、社会貢献をしたかったから」が13%、「就職活動に役立つと思ったから」が2%であった。視野や知識を広げたい、NPOの活動について知りたいという動機で参加した割合は70%ほどであり、自分が知らない業界や物事への関心から今回のインターンシップに参加した人が多いことが分かる。

NPOインターンシップへの参加動機



3. 「仕事」に対する意識の変化

「NPO インターンシップを経験したことによって、”仕事”に対する意識は変化したか」をアンケートにより調査した。

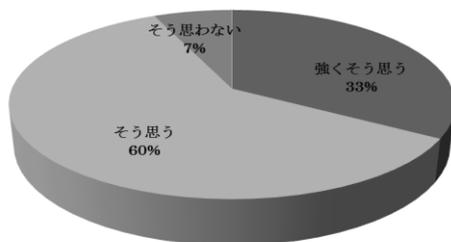
具体的には、

- ①働くことの実感・厳しさ・やりがいなど、働くことそのものに対する理解が深まったかどうか
- ②働く上で自分に足りないものがあつたかどうか
- ③仕事そのものに対して興味や関心が高まったかどうか
- ④コミュニケーション等、仕事を行う上で基本的な事柄の重要性を感じとることができたかどうか

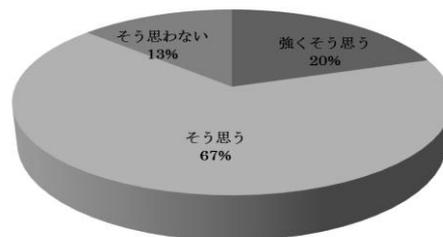
についてご回答を頂いた。

①に関しては、回答者の90%以上の方が「働くことがどういうことか実感できた」、「働くことの厳しさを理解することができた」、「働くことのやりがいや充実感を知ることができた」と答えており、今回のNPO インターンシップが「働くこと」そのものを理解する良い機会になったと考えられる。回答者の多くは学生であり、アルバイト等で労働を経験した人も少なくなかった。しかし、NPO インターンシップの受入先で行った業務はアルバイトで行うようなルーチン化された業務は少なく、自ら考えて行動しなければならない場面が多い。そのため、今までよりも自分で判断しなければならないことが多く、働くことの厳しさを感じた人が多かったと考えられる。

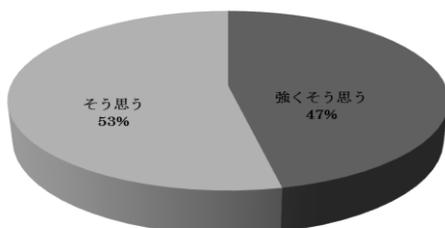
働くことがどういうことか実感できた



働くことの厳しさを理解することができた

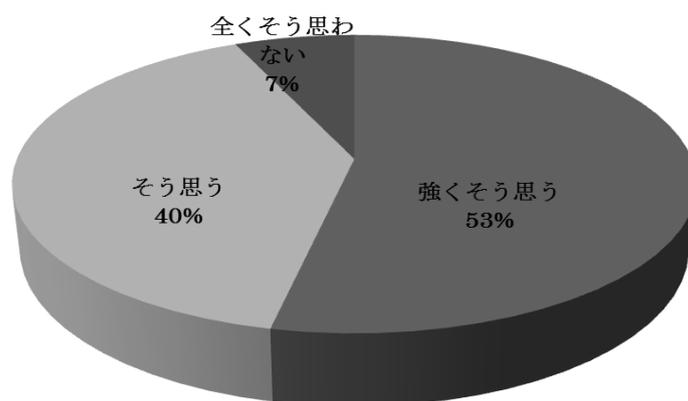


働くことのやりがいや充実感を知ることができた



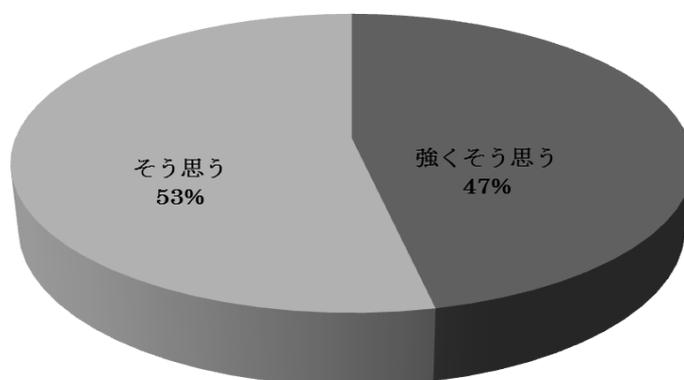
②に関して、回答者の 90%以上が、「自分に足りないものに気付くことができた」と回答しており、NPO インターンシップが参加者にとって、どのような点が課題で、学ぶ必要があるかを考える良い機会となった。今回の NPO インターンシップでは、業務を行った日は必ず業務報告をしてもらい、自分が行った作業を見直し、課題等を考えて頂くように配慮した。この点も自らの足りない点を考える一助になったのではないかと考えられる。

自分に足りないものに気付くことができた



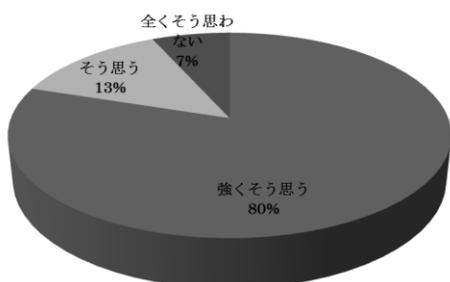
③に関して、全ての参加者が「仕事に対する興味や関心が高まった」と回答しており、特に学生にとっては、自分が将来働いている姿を考える良い機会になったのではないだろうか。インターンシップ生の多くが、自分がこれまで知らなかった強みを発見しており、将来の仕事を考える上で、選択の幅を広げる良い機会にもなった。

仕事に対する興味や関心が高まった

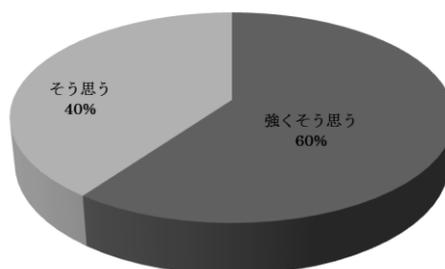


④に関しては、90%以上の参加者が、「仕事においてコミュニケーション能力やマナー、協調性などの大切さを感じた」と回答しており、これらの基本的なことが、仕事においてはかなり重要な部分を占めているということを理解する良い機会になったと考えられる。社会では、年齢や性格、考えが異なる人と同じ職場で働く必要があり、そういう人達と積極的に意思疎通をし、お互いに気持ち良く業務を行うためにも、このような基本的な能力がどうしても求められる。特に学生にとっては、就職する前に社会を体験できる良いきっかけになった。

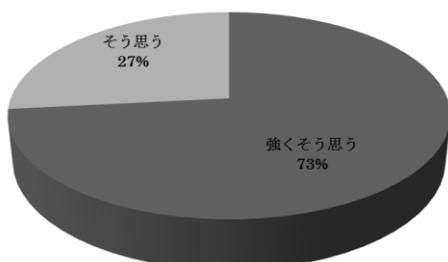
連携や協調性の大切さを感じた



マナーや常識の大切さを感じた



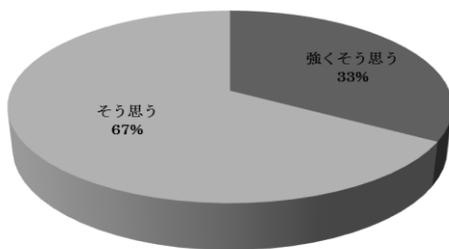
コミュニケーションの大切さを感じた



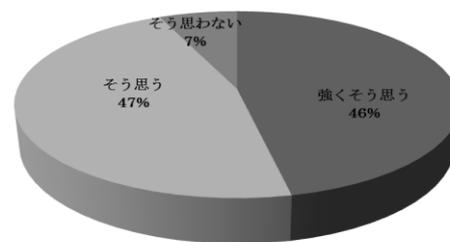
4. 「NPO」に対する意識の変化

「NPO インターンシップを経験したことによって、「NPO」に対する意識は変化したか」をアンケートにより調査した。参加者の 90%以上が、「NPO に対する理解が深まった」、「社会における NPO の役割を認識できた」と回答しており、NPO とはどのような組織で、何を目的に活動しているのかを理解する良い機会になった。また、すべての回答者が、「日常生活の中で NPO に関する出来事・ニュースに興味を持つようになった」と答えており、社会には解決すべき課題が多く存在していること、その社会課題を解決するための多くの NPO が関わっていることを身近に感じ取れるようになった良い機会であった。また、全ての回答者が「今後も機会があれば NPO の活動に関わっていきたい」と答えており、これからの将来を担う若者の社会貢献意識を高める貴重な機会となった。

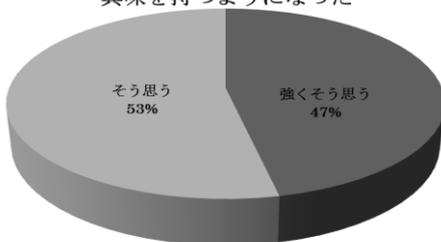
NPOに対する理解が深まった



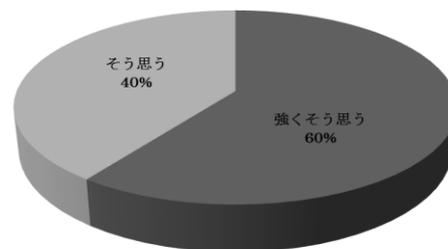
社会におけるNPOの役割を認識できた



日常生活の中でNPOに関する出来事・
ニュースに
興味を持つようになった



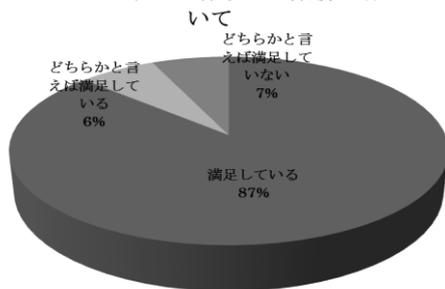
今後も機会があればNPOの活動に関わっ
ていきたい



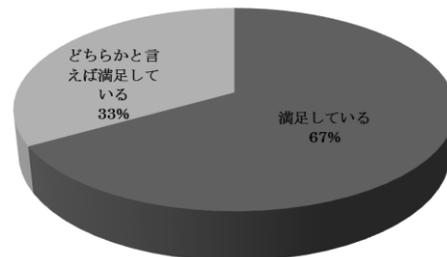
5. NPO インターンシップの満足度

今回の参加者の NPO インターンシップの満足度について、アンケートにより調査を行った。まず、インターンシップで体験した業務内容について、回答者の 84%が「満足している」、8%が「どちらかと言えば満足している」、8%が「どちらかと言えば満足していない」と回答した。一部の参加者は、受入団体との日程が合わず、インターンシップを行った日数が少なかったため、十分なインターンシップ体験ができなかった。また、インターンシップの説明会や、仕事の心構えやマナー、情報発信の方法などを学んだ研修会等については、69%が「満足している」、31%が「どちらかと言えば満足している」と回答しており、十分な説明会や研修を行うことができたと考えられる。また、今回のインターンシップを総合的に評価した場合、回答者の 69%が「満足している」、23%が「どちらかと言えば満足している」、8%が「どちらかと言えば満足していない」と回答している。したがって、今回の NPO インターンシップは参加者にとって大変有意義なものであったと言える。

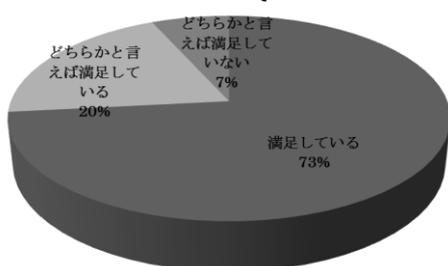
インターンシップで体験した業務内容について



事前指導（説明会・研修会など）について



今回のインターンシップを総合的に評価して



参考資料

1. 実施要項
2. インターンシップ生報告書様式
3. 受入団体報告書様式
4. 参加者アンケート様式

1. 実施要項

1) 趣旨

NPO や社会起業家についての認識が高まっている昨今ですが、実際に岡山でその活動を知ったり、参加する機会はまだまだ少ない現状です。NPO 側にとっても団体を担う若手のスタッフが増えなかったり、ボランティアが少なかったりといった課題があります。

大学生・若手社会人に対して、NPO の現場で実際の事業運営（スタッフとしての業務）を、責任を持って果たす経験から成長機会を提供し、団体の活性化とともに、NPO や社会起業を起こす、働く人材を増やし、NPO 全体の活性化や地域の活性化につなげていくことを目的とします。

2) 事業コーディネーター

特定非営利活動法人 岡山 NPO センター

3) 実施期間

9～10 月を中心として実施。その他、団体の事業実施スケジュールによる。

4) 募集期間

平成 23 年 8 月 1 日～8 月中旬

5) 実施期間

2 週間程度～2 ヶ月程度 ※業務内容による

6) 対象

大学、短期大学、専修学校の学生、若手社会人（おおむね 18 歳～35 歳）

7) 受け入れ先

岡山県内の NPO

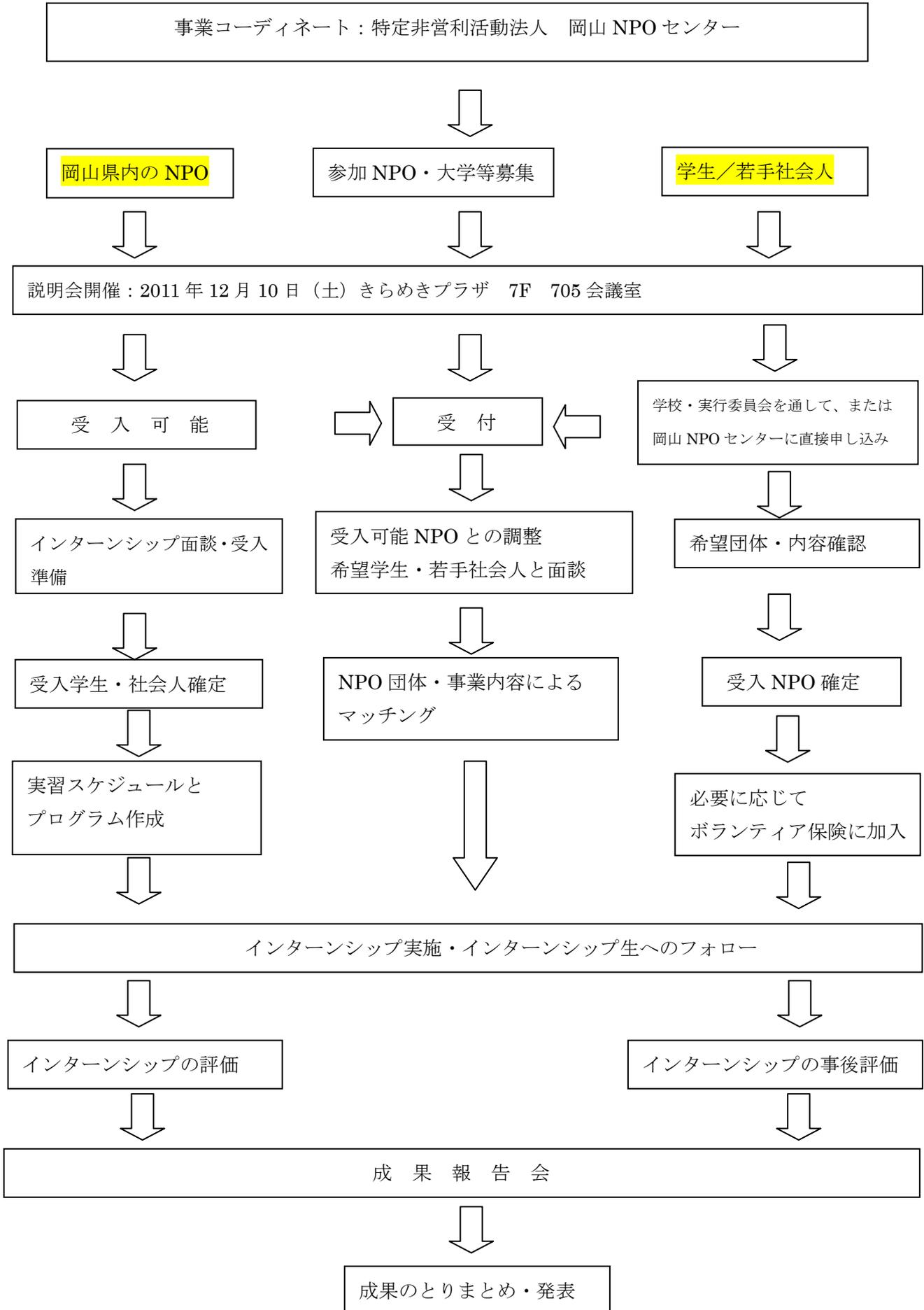
（今回対象としている NPO は、利益が目的ではなく、社会貢献を目的に活動する、市民活動団体や企業、NPO 法人です。）

8) 内容

①受け入れ NPO は、現在調整中ですが、決まり次第内容とともに「NPO インターンシップ」ブログにて掲載します。

主には、NPO インターンシップ実行委員会に参加している NPO、おかやまの公益活動ポータルサイト「NPOkayama」に掲載されている団体となります。（フローチャート参照）

NPO インターンシップ実施の流れ



②インターンシップ受け入れのためのプログラムについては、事業コーディネーターより提案し、事業コーディネーターと受入先、インターンシップ生の三者とで協議し、決定します。また、最初の日と最後の日には、団体概要や安全教育の説明、まとめなどミーティングを持つことが望ましいと考えられます。

③インターンシップ受け入れ時間は、受入先、インターンシップ生双方の要望を取り入れ柔軟に調整いたします。

④インターンシップ生は、実施期間終了後、2週間程度以内に当センターの指定する様式・方法にて報告書及びアンケートの提出をして下さい。

⑤インターンシップは、受入 NPO での就職を前提とするものではなく、また、インターンシップ実施後のインターンシップ生の採用を義務付けるものではありません。

⑥その他

インターンシップ実施期間中において、実施計画の変更に際しては事業コーディネーターが連絡を受け調整します。

8) 報酬等

原則として、交通費、食事代などは、様式②「インターンシップの概要」に準ずることとします。

9) 事故・損害、機密保持等

①実施期間中の学生の事故について受入先は責任を負わないこととします。学生教育研究災害傷害保険や学生教育研究付帯賠償責任保険など事前に学校の斡旋及び学生による加入が行われており、インターンシップ中に対応できる保険加入が行われている場合は、それを適応します。保険加入されていない場合は、ボランティア保険に加入を義務付けし、事故に備えるものとします。

10) 確認事項

双方で確認すべき最低限の事項を別紙にて紹介しますので、参考にしてください。

11) 様式集

本様式集はインターンシップ生と学校及び NPO がインターンシップを円滑にするために必要な書類の様式を例示しています。原則、提出とします。

様式①「インターンシップ実施に関する事業コーディネーターと NPO との覚書」

様式②「誓約書」※参加者が NPO に提出

様式③「インターンシップ報告書」

様式④「インターンシップ申込書」

※その他、実施終了後アンケートをご記入の上、ご提出いただきます。(様式は別途)

留意事項

1) 双方で確認すべき事項

1. 参加学生および若手社会人

氏名、大学・所属先、所属学部・学科、学年、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）

2. インターンシップのテーマと内容

参加の目的、期待する成果、インターンシッププログラム

3. 受け入れの条件

期間、勤務日、勤務時間帯、手当・食事代・交通費支給の有無、インターンシップ保険への加入など。

4. インターンシップ実施にあたっての責務

○大学・事業コーディネーター等

事前に学生への意識付け、マナー指導等の準備を行う。

○学生・若手社会人

受け入れ条件に沿ってインターンシップに参加する。

インターンシッププログラムに基づいた業務を誠実に遂行し、参加目的の実現を図る。

受け入れ NPO の規則・規範に従う。

知り得た秘密情報は外部に漏らさない。

○NPO

必要なオリエンテーションを提供する。

期間中の責任者を任命し、学生の安全を確保しつつ適宜助言、指導を行う。

大学等とゆうあいセンターに対し実施後の評価報告を提供する。

5. 事故・災害発生時の対応

NPO、大学等、保護者それぞれの連絡先と対応策を明記する。

万一に備え、ボランティア保険に加入する。

6. インターンシップの打ち切り

学生が上記責務を果たさなかった場合、NPO に対して業績、評判を損なうような行為があったときは、NPO は直ちにインターンシップを打ち切ることができる。

2011 年度 NPO インターンシップ事業（学生・若手社会人）

事業コーディネーターと受入先 NPO との覚書

特定非営利活動法人 岡山 NPO センター(以下、甲という)と「受入先 NPO」(以下、乙という)とは、表記事業の取り扱いについて、次の通り覚書を締結する。

1. インターンシップの概要

乙は甲が取りまとめた参加者（以下、参加者という）を対象にインターンシップの受入を「実施要項」のとおり行う。

2. 受入費用および経費の精算

インターンシップ受け入れに関する費用は、無料とし、甲乙参加者のいずれも支払わない。なお、参加者個人に帰属する物品等の購入に関する経費については、甲乙協議の上、参加者への負担要求をできるものとする。

3. 事故災害時の対応

参加者が研修中およびその往復途中に生じた事故により身体に傷害を被った場合、また、研修中およびその往復途中に他人へのケガまたは、他人の財物を損壊した場合の法律上の損害は、原則的にボランティア保険を適応し、その範囲を超える場合は参加者が負担するものとする。

4. 誓約書の提出

参加者は、インターンシップに先立ち乙に対し様式②「申込書兼誓約書」を提出する。

5. インターンシップの打切り

誓約書に違反する行為が生じた場合、乙は甲と協議の上研修を打ち切ることができる。

6. その他の対応

この覚書に定めのない事項については、甲乙協議の上決定する。

7. 覚書の効力

この覚書は、下記の署名日付よりインターンシップ終了日まで効力を持つものとする。

本覚書の締結を証するため本書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、それぞれ 1 通を保管するものとする。

平成 年 月 日

甲 特定非営利活動法人 岡山 NPO センター
代表理事 米良 重徳 印

乙 (団体名)
代表者役職・氏名 印

誓 約 書

年 月 日

(団体名)
代表者役職・氏名

印

参加者氏名

印

このたび、私が貴団体においてインターンシップをするにあたっては、
下記事項を遵守することを誓います。

記

1. インターンシップ期間中は、貴団体の就業規則およびこれに基づく諸規則またはそれに相当する定めに従います。
2. 貴団体の諸規則、規範を守り、インターンシップ期間中は管理・監督者の指示に従います。
3. 実習に際しては、次の事項を遵守する。
 - (1) 貴団体の名誉を毀損するような行動は行いません。
 - (2) 貴団体の営む事業を妨害するような行動は行いません。
 - (3) 実習中知り得た機密事項は一切外部に漏洩しません。
4. 故意または過失により貴団体に損害を与えたときは、直ちに弁償します。
5. 実習中に自己の不注意により万一災害を受けた場合は、貴団体に報告の上、自己の責任において処理します。

以上誓約いたします。

2. インターンシップ生報告書様式

氏名 _____ :

受入先団体 : _____

※お手数をおかけしますが、以下の各項目についてご記入をお願いいたします。

幅などは自由に変更いただいて構いません。

※それぞれ 150～250 字程度でご記入ください。

1. NPO インターンシップに参加しようと思った理由をお書き下さい。
2. 今回のインターンシップに対する満足度は何%でしょうか？
/100 %
3. あなたがインターンシップで行った活動内容を教えてください。箇条書きでお願いします。
4. あなたがインターンシップに参加したことによる具体的な成果を教えてください。箇条書きでお願いします。(〇〇ができた。〇〇が変わった。〇〇を考える機会になった。など)
5. インターンシップの中で、印象に残っていることや言葉を教えてください。

裏へ続く

6. インターンシップに参加してみて、今までよりも関心を持った事柄を教えてください。
7. インターンシップに参加したことで発見した自分の強み、学びを教えてください。
8. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
9. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識はどう変化しましたか？ インターンシップ中の出来事等を関連させ、具体的にご記入下さい。
10. これからインターンシップに参加する方へのメッセージをお願いします。

以上で記入は終わりです。
ご協力ありがとうございました。

3. 受入団体報告書様式

団体名： _____

記入者氏名： _____

※お手数をおかけしますが、以下の各項目についてご記入をお願いいたします。

幅などは自由に変更いただいて構いません。

※150～250字でご記入ください。

1. インターンシップの内容を教えてください。箇条書きをお願いします。 (学生担当業務は、どういう事業のどの部分か、ゴールは何だったか など)
2. 学生による具体的な成果を教えてください。箇条書きをお願いします。 (〇〇ができた。〇〇が変わった。〇〇を考える機会になった。 など)
3. 学生の強み、学生の成長を感じた点を教えてください。 (〇〇ができる点がすごい。以前は△△だったのに、□□できるようになった。 など)
4. インターンシップ生が団体の活動やスタッフに与えた影響・効果等を教えてください。
5. 当初のインターンシップの目標に対して、達成度は何%でしょうか？その理由もご記入ください。
6. 担当者の方の個人的な感想を教えてください。

4. 参加者アンケート様式

回の NPO インターンシップについて、以下の質問にお答えください。

このアンケートは次回以降のインターンシップ充実のための参考にさせて頂きたく実施するものです。

〆切：11月22日（火） 17:00 まで

お名前： _____

受入団体： _____

Q1. NPO インターンシップへの参加動機を教えてください（もっとも当てはまるものを一つだけ選んで下さい）。

- インターンシップ活動を通して、社会貢献をしたかったから
- 視野や知識を広げたかったから
- 働くことがどういうものか体験したかったから
- NPO がどのような活動をしているのか知りたかったから
- 就職活動に役立つと思ったから
- 知り合いに勧められたから
- その他（ _____ ）

Q2. NPO インターンシップを経験したことによって「仕事」に対する意識は変化しましたか？

以下の各項目について、右のチェックボックスの当てはまるものにチェックをお願いします。

	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
1. 働くことがどういうことか実感できた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 働くことの厳しさを理解することができた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 働くことのやりがいや充実感を知ることができた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 自分に足りないものに気付くことができた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 仕事に対する興味や関心が高まった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 連携や協調性の大切さを感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. マナーや常識の大切さを感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. コミュニケーションの大切さを感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 主体的に取り組むことの大切さを感じた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q3. NPO インターンシップを経験したことによって「NPO」に対する意識は変化しましたか？

以下の各項目について、右のチェックボックスの当てはまるものにチェックをお願いします。

	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
1. NPO に対する理解が深まった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 社会における NPO の役割を認識できた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 日常生活の中で NPO に関する出来事・ニュースに 興味を持つようになった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 今後も機会があれば NPO の活動に関わっていきたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

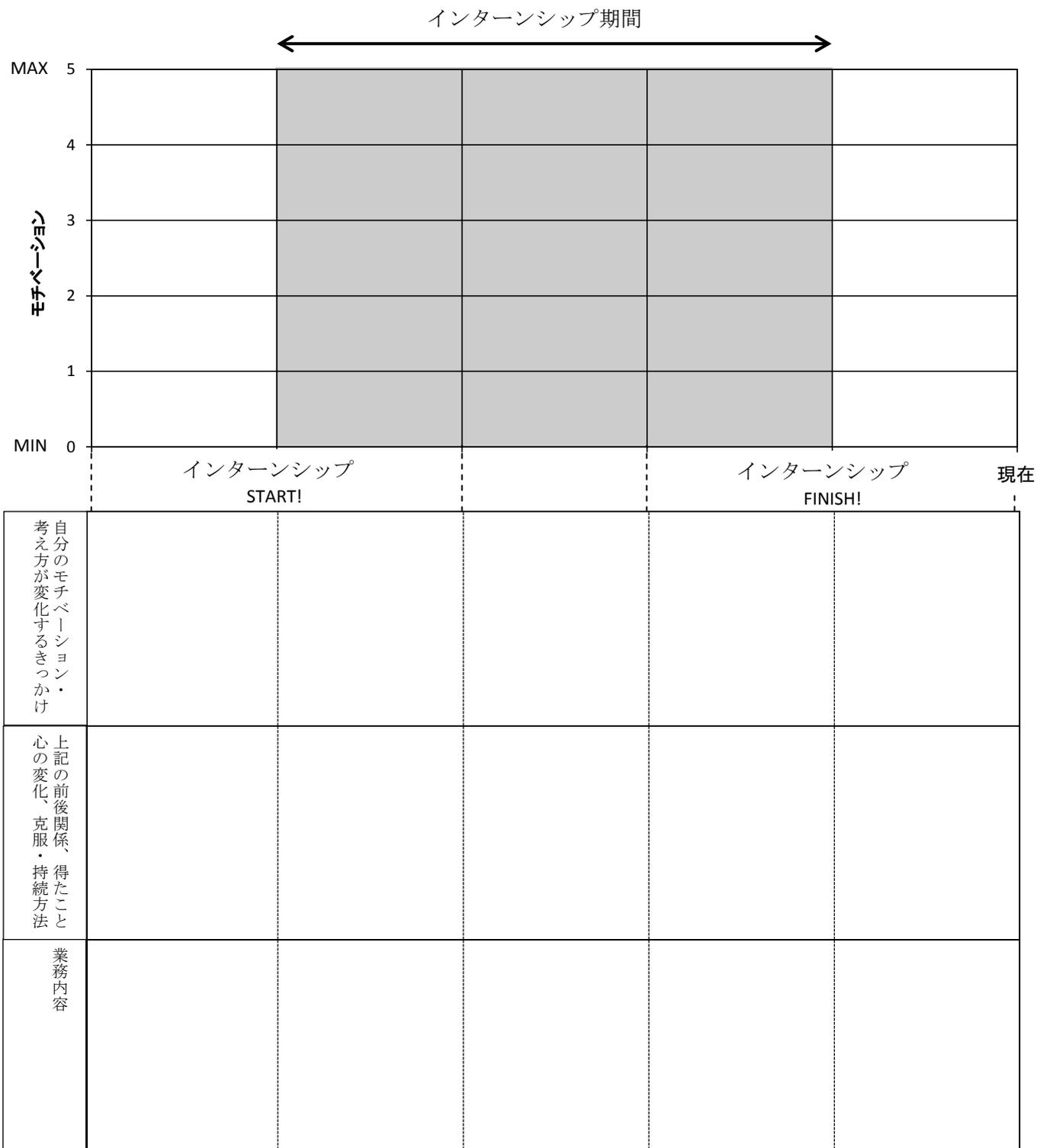
裏へ続く

Q4. インターンシップの満足度についてお伺いします。

以下の各項目について、右のチェックボックスの当てはまるにチェックをお願いします。

	満足 している	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば満足 していない	満足 していない
1. インターンシップで体験した業務内容について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 事前指導（説明会・研修会など）について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 今回のインターンシップを総合的に評価して	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q5. 以下のグラフにインターンシップ期間およびその前後のモチベーションの推移を記入し、下の表の各項目をご記入下さい（次ページに例を記載しています）。



今だからこそ、 社会を変える現場で インターンしよう！



「今、集落が最先端！」

* 中山間地の棚田再生に取り組む NPO で集落と農業の最前線に挑む社会起業家に出会う！



「社会に挑む女性リーダー！」

* 「内閣府特命担当大臣表彰」を受けたまちづくり NPO で、全国にネットワークを広げる女性リーダーに出会う！



「隠れていた課題！」

* ニュースや事件の裏に隠れている社会課題の解決に挑む NPO で社会の真実に出会う！

